工事番号	

（様式－１）

工　事　名	令和８年度（債務負担行為）安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事
施　工　箇　所	安曇野市　　穂高

金抜き設計書

設　計　大　要	施　工　方　法	請　負
■消防団詰所の新築工事 ・木造平屋建て　延べ面積　167.79m2 ・上記に伴う電気・機械設備工事一式 ・外構工事一式 ・ホースタワー移設	施　工　期　間	日間
	契約年月日	令和　　年　　月　　日
	竣工予定年月日	令和　9　年　7　月　16　日
	契約保証方法	金銭的保証
	・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、ｈ、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。	

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事						
内　訳　書						
A　共通仮設費		式	1.0			
B　直接工事費		式	1.0			
純工事費　計						
現場管理費		式	1.0			
工事原価　計						
一般管理費等		式	1.0			
工事価格　計						
消費税相当額		式	1.0			
設計工事費合計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
A　共通仮設費						
準　備　費	┐					
仮 設 物 費	│					
電力用水光熱費	│					
工 事 施 設 費	│					
環 境 安 全 費	├―――	式	1.0			
機 械 器 具 費	│					
屋外整理清掃費	│					
その他　試験調査費等	┘					
小　　計						
（積上仮設）						
仮囲い　本体	カラーコーンH700　ゴム製コーン ウェイト　　150日リース　　44m分	個	23.0			
	コーンバーL2000　　180日 リース　　44m分	個	22.0			
キャスターゲート	W6000*H1800　片開き　6ヶ月	箇所	1.0			
交通誘導警備員B		人	30.0			
VOC化学物質濃度測定（施工後測定）	ﾊﾟｯｼﾌﾞ法(拡散法) 6物質(ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｷｼﾚﾝ、 ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ)	回	1.0			
小　　計						
計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1　建築工事		式	1.0			
2　機械設備工事		式	1.0			
3　電気設備工事		式	1.0			
4　外構工事		式	1.0			
計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事						
1　直接仮設工事		式	1.00			
2　基礎工事		式	1.00			
3　木工事		式	1.00			
4　屋根工事		式	1.00			
5　金属製建具工事		式	1.00			
6　木製建具工事		式	1.00			
7　建材工事		式	1.00			
8　外壁工事		式	1.00			
9　左官工事		式	1.00			
10　塗装工事		式	1.00			
11　タイル工事		式	1.00			
12　内装工事		式	1.00			
13　雑工事		式	1.00			
小　　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1　直接仮設工事						
遣り方		m2	170.00			
墨出し		m2	170.00			
外部足場　本体	手摺先行式　3か月	m2	358.00			
養生ｼｰﾄ　本体	メッシュシート　3ヵ月	m2	358.00			
内部足場	脚立　並列　2ヵ月	m2	168.00			
躯体・仕上養生		m2	168.00			
清掃跡片付		m2	168.00			
竣工時清掃		m2	168.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
2　基礎工事						
根切り	オープンカット	m3	55.40			
残土処分	場内敷き均し	m3	54.50			
埋戻し		m3	0.90			
砕石地業	土間 再生材	m3	33.20			
床付け		m2	185.00			
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ敷	t=0.15	m2	185.00			
異形鉄筋　本体部						
異形鉄筋　SD295	D10	t	0.290			
異形鉄筋　SD295	D13	t	2.180			
異形鉄筋　SD295	D16	t	0.420			
異形鉄筋　玄関後施工部						
異形鉄筋　SD295	D13					
鉄筋加工組立		t	2.89			
鉄筋運搬		t	2.89			
機械運搬費	往復	式	1.00			

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=21　S=18　土間	m3	30.30			
	Fc=21　S=18　立上り上部ｺﾝ	m3	2.44			
	Fc=21　S=18　立上り下部ｺﾝ外	m3	8.35			
	Fc=21　S=18　立上り下部ｺﾝ内	m3	2.17			
	温度補正Fc=21--Fc=27	m3	43.26			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打・基礎ｺﾝﾎﾟﾝﾌﾟ打	m3	43.26			
ポンプ圧送	30m3～50m3	回	2.00			
合板型枠	普通	m2	83.00			
型枠運搬		m2	83.00			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	M12　L=400　@1820	本	43.00			
面木	標準15	m	16.90			
基礎気密パッキン　　W敷き	EPDM系ｺﾞﾑ発泡体　ﾚｰﾙ500　10m*4巻同等	ｹｰｽ	2.00			
合　計						

名　　称	摘　　要					単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
3　木工事										
構造材	材種	品等	厚	巾	長さ	数量	材積M3			
土台	桧	K D材	105	105	4000	25	1.10			
			105	105	3000	6	0.20			
梁桁	米松集成	E120F330	150	600	8000	2	1.44			
			150	600	8000	3	2.16			
			105	600	5000	5	1.58			
			105	600	4000	1	0.25			
			105	450	4000	9	1.70			
			105	450	3000	1	0.14			
			105	420	5000	1	0.22			
			105	420	4000	4	0.71			
			105	420	3000	1	0.13			
	米松	K D材	105	240	4000	6	0.60			
			105	240	3000	1	0.08			
			105	210	3000	3	0.20			
			105	150	4000	19	1.20			
			105	105	4000	2	0.09			
			105	105	3000	1	0.03			
	米松集成化粧	E120F330	120	420	6000	5	1.51			
母屋	米松	K D材	105	150	4000	6	0.38			
			105	150	3000	1	0.05			
			105	105	4000	27	1.19			
			105	105	3000	19	0.63			
大引	桧	K D材	105	105	4000	32	1.41			
登り梁	米松	K D材	105	150	4000	6	0.38			
			105	150	3000	4	0.19			

名　　称	摘　　要					単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
構造材	材種	品等	厚	巾	長さ	数量	材積M3			
管柱	杉	特一等	105	105	3000	37	1.22			
特殊柱	レッド 集成	E95F315	105	105	4000	24	1.06			
		E105F300	105	150	4000	12	0.76			
小屋束	杉	K D材	105	105	4000	18	0.79			
小 小 計										
羽柄材										
【加工】										
筋交い	米松	K D材	45	90	4000	32	0.52			
			45	90	3000	24	0.29			
間柱	杉	K D材	45	105	4000	7	0.13			
			45	105	3000	14	0.20			
			30	105	4000	23	0.29			
			30	105	3000	44	0.42			
垂木	米松	K D材	45	120	4000	407	8.79			
			45	120	3000	157	2.54			
小 小 計										
【材出し】										
間柱	杉	加工無	45	105	3000	19	0.27			
			30	105	3000	33	0.31			
仮筋	杉	K D材	30	105	4000	55	0.69			
小屋貫	杉	1等	18	90	4000	70	0.46			
破風	杉	K D材	25	180	4000	18	0.32			
野縁	赤松	K D材	30	40	4000	420	2.02			
胴縁	赤松	K D材	18	45	4000	300	0.96			
小 小 計										

名　　称	摘　　要					単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
合板	材種	品等	厚	巾	長さ					
【加工】										
床合板	構造用針葉樹合板	F ☆☆☆☆	24	910	1820	枚	46.00			
【材出し】										
屋根合板	構造用針葉樹合板	F ☆☆☆☆	12	910	1820	枚	167.00			
小　小　計										

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
【プレカット加工】						
1階		坪	50.90			
ポーチ		坪	1.25			
小　小　計						
【手加工等作業】						
落し込み根太加工(@910 ・ @1000)		坪	21.50			
横架材サンダ、-仕上げ		m	30.00			
角穴引き本ロ”ルト穴深彫り		箇所	32.00			
大梁、長尺材等ロボット直接投入加工(7mま		本	6.00			
大梁、長尺材等ロボット直接投入加工(8mま		本	5.00			
横架材短尺(機械加工)		本	9.00			
登梁 両端仕口加工(材成90～180mm)		本	10.00			
登梁 合掌仕口手加工(勾配3.0寸以下)		箇所	6.00			
登梁上下斜めほぞ加工(機械)		箇所	22.00			
特殊間取り・特殊構造形態対応による検討料金		式	1.00			
小　小　計						
筋かい加工		本	56.00			
間柱加工		本	117.00			
垂木加工		本	665.00			
合板加工24・28mm		枚	14.00			
合板加工24・28mm間柱・垂木・HD ・隅木欠き		枚	36.00			
小　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
金物						
一般接合金物		式	1.00			
運搬費						
材木等運搬費	3.0トンユニック車	回	11.00			
小 小 計						
小 計						
大工手間		式	1.00			
普通作業員		式	1.00			
諸経費		式	1.00			
建て方大工手間		m2	170.00			
釘・ビス	スクリュー釘　75	ｋｇ	160.00			
防蟻処理		m2	170.00			
建方クレーン費		台	1.00			
法定福利費		式	1.00			
小 計						
合 計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
4　屋根工事						
篏合式立平葺き	SGL　ﾕﾅｲﾄ　t=0.4　ﾎｯﾄﾒﾙﾄ充填	m2	231.00			
下葺き材	ｺﾞﾑ改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　t=1.0	m2	231.00			
軒先唐草	SGL　ﾕﾅｲﾄ　t=0.4	m	28.20			
ケラバ唐草	〃	m	36.00			
鼻隠し破風巻　1段目	〃	m	64.20			
〃　2段目	〃	m	64.20			
換気棟	SGL　ﾕﾅｲﾄ　t=0.4　ﾘｯﾁﾍﾞﾝﾂ182	m	14.00			
棟端部納め		ヶ所	2.00			
雪止金物	ｺﾈｸﾄ	m	28.20			
軒天　角波張り	SGL　ﾕﾅｲﾄ　t=0.35	m2	51.10			
見切り縁	〃	m	68.60			
軒樋	GL鋼板　t=0.35	m	28.20			
落し口	自在ﾄﾞﾚﾝ　φ75	ヶ所	5.00			
竪樋	GL鋼板　t=0.35	m	26.50			
エルボ		ヶ所	10.00			
運搬・梱包費		式	1.00			
荷揚げ費		式	1.00			
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
5金属製建具工事						
サッシ・ドア						
AD-1	断熱玄関ドア D2仕様 ヴェナートD30手動錠 両袖FIX D2仕様 C10 N左勝手万ット枠アングル付H2プラチナステン　同等	ヶ所	1.00			
取り付け費		ヶ所	1.00			
AD-2	車庫室内入口 防火ドアGシリース、コンコード 手動錠 外引込 み C10N左勝手オーダー　1695*2195　同等	ヶ所	1.00			
取り付け費		ヶ所	1.00			
AW-01・03	エピソードⅡ:縦ﾆり+FIX　16511	ヶ所	2.00			
取り付け費		m2	4.00			
AW-02	エピソードⅡ:引違テラスタイプ　16020-2	ヶ所	1.00			
取り付け費		m2	3.50			
AW-04	エピソードⅡ:すべり出し　07405	ヶ所	1.00			
取り付け費		m2	0.50			
AW-05	エピソードⅡ:FIX　16505	ヶ所	2.00			
取り付け費		m2	2.00			
搬入費		式	1.00			
小　計						
オーバースライダードア　3.15*3m	軽量オーバースライディングドア スチール0. 3197*3000　　同等	台	3.00			
	・急降下防止装置装備品　・スタンダード型　・手動バランス式					
	水圧解錠装置	ヵ所	3.00			
	丸型明り窓アクリル3mm 570x150	枚	12.00			
	三方枠スチール製1.6 t 標準色焼付(アクリル)	組	3.00			
	三方枠下地	組	3.00			
取付工事費　本体		式	1.00			
運搬費		式	1.00			
諸経費	検査費共	式	1.00			
小　計						
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
6木製建具工事						
WD-1（WC）	1階 トイレ ﾄﾞﾚﾀｽB-IP ｱｳﾄｾｯﾄ引戸　錠有 TT 左勝手　同等	セット	1.00			
取り付け費		ヵ所	1.00			
WD-1	1階 キッチン ﾄﾞﾚﾀｽB-IPｱｳﾄｾｯﾄ引戸　錠無 TT 左勝手　同等	セット	1.00			
取り付け費		ヵ所	1.00			
WD-3	1階 収納 ﾄﾞﾚﾀｽB-FTクローゼットドア　（H特寸）　同等	セット	3.00			
取り付け費		ヵ所	3.00			
小　計						
ドア枠・窓枠						
AD-1	ぴったり３方枠ノンケ縦勝１１７　同等　　1235*2330	セット	1.00			
AD-2	ぴったり３方枠ノンケ縦勝１３２　同等　　1695*2330	セット	1.00			
AW-02	ぴったり４方枠ノンケ縦勝１０２　同等　　1690*2030	セット	1.00			
AW-01・03	ぴったり４方枠ノンケ縦勝１０２　同等　　1690*570	セット	2.00			
AW-04	ぴったり４方枠ノンケ縦勝１０２　同等　　1235*1170	セット	2.00			
AW-05・05'	ぴったり４方枠ノンケ縦勝１０２　同等　　1690*570	セット	2.00			
建具取付工事費		式	1.00			
小　計						
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要		単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
7建材工事							
（断熱工事）							
基礎内用押出発泡ポリスチレンフォーム	3種b （熱抵抗値3.58） 40mm厚×455mm幅×1820mm 3*6	スタイロフォームエース 同等	m2	5.10			
上記打ち込み手間			m2	5.10			
土間下用押出発泡ポリスチレンフォーム	3種b （熱抵抗値1.07） 30mm厚×910mm幅×1820mm長	スタイロフォームエース 同等	m2	27.50			
上記張り手間			m2	27.50			
屋根用押出発泡ポリスチレンフォーム	3種b （熱抵抗値2.68） 40mm*2＝80厚×455mm幅×1820mm長 3*6	スタイロフォームエース 同等	m2	124.00			
上記施工手間			m2	124.00			
壁用押出発泡ポリスチレンフォーム	3種b （熱抵抗値1.79） 40mm厚×455mm幅×1820mm長 3*6	スタイロフォームエース 同等	m2	76.80			
上記施工手間			m2	288.00			
屋根用高性能グラスウォール	(熱抵抗値2.80)/16kg/m3 430*105	ハウスロンZERO（HZS）同等	m2	77.00			
上記施工手間			m2	77.00			
外壁用高性能グラスウォール	(熱抵抗値2.80)/16kg/m3 430*105	ハウスロンZERO（HZS）同等	m2	108.00			
上記施工手間			m2	122.00			
気密ｼｰﾘﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ 材工	50mm幅（屋根・サッシ・垂木等） ブチルテープ（片面）		m	280.00			
発砲硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	一液型簡易発泡ウレタン(充填専用タイプ) ヘンケル SUM-525同等		本	2.00			
３Ｋ気密バンド（W張り仕様）	基礎土台用特殊発泡ゴム（EPDM）10mm×30mm×5m	nitoms G0090 同等	巻	14.00			
法定福利費			式	1.00			
合　計							

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
8外壁工事						
外壁上部	SGL鋼板仕上					
	篏合式立平（外壁専用）W300　SGL ｺﾅｲﾄ t=0.4	m2	81.30			
	取り合い水切り　〃	m	57.10			
	見切縁　〃	m	61.50			
	出隅コーナー　〃	m	7.30			
	先端キャップ　〃	ヶ所	115.00			
	面戸	ヶ所	115.00			
法定福利費		式	1.00			
小　計						
外壁下部	窯業サイディング					
	サイディング張り　無塗装板 t=14	m2	107.00			
	シーリング	m2	96.40			
	土台水切り　SGL ｺﾅｲﾄ t=0.35	m2	50.20			
	副資材	m2	1.00			
	運搬・梱包費	m2	1.00			
	荷揚げ費	m2	1.00			
	外装仕上げ　遮熱アート　PTM工法	m2	107.00			
	下地調整材　ｱｰﾄﾌｨﾗｰ　ｺﾃ塗り	m2	107.00			
	サイディング目地処理　ﾀﾞﾌﾞﾙﾒｯｼｭ工法	m2	96.40			
法定福利費		式	1.00			
小　計						
防虫通気材	防虫通気材　フクビ化学：防虫通気材　BT18K　62m	本	35.00			
透湿防水ｼｰﾄ	透湿防水ｼｰﾄ　フクビ化学：ｽｰﾊﾟｰｴｱﾃｯｸｽKD30　1m*50m/本　188.3	本	4.00			
小　計						
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
9左官工事						
塗床（車庫）下地	コンクリート金鏝仕上	m2	91.10			
合　計						
10塗装工事						
壁塗装（車庫）	ＡＥＰ仕上　ケイカル板面　素地拵えB共	m2	153.00			
塗床（車庫）	カラクリート（同等）	m2	91.10			
合　計						
11タイル工事						
玄関						
玄関ﾎﾟｰﾁ土間仕上　（立上り共）	磁器ﾀｲﾙ　300角　アレス同等	m2	4.00			
ﾀｲﾙ（内装）	磁器ﾀｲﾙ　300角　アレス同等	m	4.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
12内装工事						
化粧天井材（内装）	調湿ロックウール吸音板　12×303×606　ダイケンクリアトーン12ｓⅡ　同等	m2	50.90			
車庫天井材（内装）	不燃ジプトーン　t=9	m2	92.80			
床板材（内装）	あづみの桧ナチュラルVコート　抗ウイルス塗装　1820*114*15　同等	坪	19.00			
床板材（内装）	CF　1.8mm	m2	10.00			
上がり框	タモ30*90*2950　VCL色オイル塗装品加工	本	1.00			
巾木	MDF	m	57.70			
天井下地材（内装）	PB　9.5×910×1820	m2	50.90			
壁下地材（内装）	PB　12.5×910×1820	m2	178.00			
壁下地材（内装）	ｹｲｶﾙ板　12×910×1820　突きつけ張り	m2	153.00			
壁ビニルクロス張り	量産クロス	m2	178.00			
鋼製束	JOTO　YM-2438T同等	カ所	32.00			
テレビカウンター	woodone棚板　集成ﾊﾟｲﾝ3000*300*24　同等	枚	2.00			
	woodone棚板　集成ﾊﾟｲﾝ3000*450*24　同等　　棚板受材共	枚	1.00			
	塗装：オリーブオイル	式	1.00			
	取り付け費用	式	1.00			
車庫収納棚	ラワン合板t=12加工　受け加工	カ所	8.00			
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
13雑工事						
建具枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系　15*10	m	37.20			
住宅用火災警報器（洋室）	煙式	ヶ所	1.00			
ブラインド　25mm　ビル用ﾊﾞﾈｼｬﾝﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ横型 ﾄｰｿｰ　ﾆｭｰｽﾍﾟｰｼｰ	AW1・3 1.1*1.65*1.1＝2.0㎡　　*2	m2	4.00			
ブラインド　25mm　ビル用ﾊﾞﾈｼｬﾝﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ横型 ﾄｰｿｰ　ﾆｭｰｽﾍﾟｰｼｰ	AW2 2*1.65*1.1＝4.0㎡　　*1	m2	4.00			
ブラインド取り付け費用		式	1.00			
小　計						
玄関　長靴用ｼｭｰｽﾞﾎﾞｯｸｽ	コクヨ　SX-N44Tf1　同等	カ所	2.00			
床点検口	アルミ製目地枠　600角	カ所	1.00			
車止めブロック　100*600*190	OK式ﾊﾞｲｺﾝ製ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ　標準型19kg　同等　　設置工事無	カ所	6.00			
フック金物	LANP　ｽﾃﾝﾚｽ鋼製ﾌｯｸﾊﾝﾄﾞﾙ　2H-50S　同等	ケ	30.00			
ライニングカウンター板	woodoneNZﾊﾟｲﾝ笠木板（集成材155*24*2900）塗装　同等	枚	1.00			
フック掛け用下地板	woodoneNZﾊﾟｲﾝ笠木板（集成材155*24*3900）無塗装　同等	枚	2.00			
	大工設置費用（塗装共）	式	1.00			
ポスト	T13型	台	1.00			
	大工設置費用	式	1.00			
小　計						
サイン看板工事	安曇野市消防団第９分団第１部 14文字：SUS　HL　t=3切文字　文字高さ＝200　取付	文字	14.00			
	取り付け費	式	1.00			
カギ番人プラス　壁付け型	プッシュボタン式キーボックス（壁 付け形設置）イデン：カギ番人PS6同	個	1.00			
	取り付け費	式	1.00			
小　計						
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事						
機械設備工事						
1.衛生機器設備工事		式	1.0			
2.給水設備工事		式	1.0			
3.排水設備工事		式	1.0			
4.屋外水道排水設備工事		式	1.0			
5.冷暖房・換気設備工事		式	1.0			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1.衛生機器設備工事						
衛生機器						
マーブルライトカウンター	参考TOTO　MLDAL1200BHPA13Y・T6SM2・TL348CU/MX201	式	1.00			
パブリック用電気温水器	参考　TOTO　REKB25A2・RHE22H-50N・TL348CU/T76D・TH752-2R・RHE708R	セット	1.00			
マイクロ波センサー壁掛小便器セット	参考　TOTO　UAXU11A・UAUN81NA2W・UTR143	式	1.00			
洋風便器	参考　TOTO　CES9F11・紙巻器YH600FMR	式	1.00			
一般鏡	参考　TOTO　YH3580AC	枚	1.00			
システムキッチン	参考　TOTO　KSCB210RR7GUHNPGW・電気温水器REKB25A2・カップボード含む	式	1.00			
機器設置工事		式	1.00			
試運転調整費		式	1.00			
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
2.給水設備工事						
2-1　給水取出し工事						
資材費						
水道用サドル付分水栓	ビニル管用Φ50×20	個	1.00			
サドル付分水栓用防蝕シート	Φ50	個	1.00			
ポリエチレン管	Φ20	m	3.00			
メーター用PE	Φ20	個	2.00			
フレキシブルジョイント	Φ20×600	本	1.00			
停水用PC止水栓	Φ20×13	個	1.00			
量水器BOX（鋳鉄製）		基	1.00			
水道用識別マーカー		個	1.00			
埋設シート	W=150	m	1.00			
埋設シート	W=75	m	3.00			
配管工費						
分水建込み工	ビニル管50×20mm	箇所	1.00			
ポリエチレン管据付工	Φ20	m	3.00			
ポリエチレン管切断工	Φ20	口	1.00			
ポリエチレン管継手工	Φ20	口	2.00			
ねじ込み接合工	Φ20	口	2.00			
止水栓取付工	PP用Φ20	箇所	1.00			
量水器ボックス据付工		箇所	1.00			
管明示シート工		m	4.00			
官庁申請手続き費						
道路占用・道路使用許可・道路掘削申請費	上下水道分	式	1.00			
法定福利費		式	1.00			
小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
2-2　宅内給水配管工事						
配管工費						
水道用耐衝撃性硬質ビニル管布設工	HIVP20（地中配管）	m	37.00			
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD20（地中配管）	m	4.00			
ポリブデン管布設工	Φ13（保温厚10mm）	m	19.00			
給水ヘッダー取付	16×13　4口	個	1.00			
メーター用片落しジョイント	20×13	個	1.00			
フレキシブルジョイント	20×600	本	1.00			
NEJ	Φ20	個	1.00			
ねじ込み接合工	Φ20	口	2.00			
不凍栓取付費	Φ20（材工共）	本	1.00			
不凍栓ボックス		箇所	1.00			
不凍立水栓取付費	H=1500（材工共）	箇所	1.00			
単水栓取付工	Φ13（材工共）	個	1.00			
スリーブ工		式	1.00			
通水試験費		式	1.00			
申請検査手数料	図面作成費含む	式	1.00			
仮設水道取付費	水道料金含む	式	1.00			
管路掘削・埋戻し工	保護砂・人肩運搬含む	式	1.00			
法定福利費		式	1.00			
小　計						
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
3.排水設備工事						
3-1　公共桝取り出し工事						
資材費						
塩化ビニル支管　90°	200-150	個	1.00			
ゴム輪受口自在曲管	Φ150	個	1.00			
取付管用ゴム輪受口直管	SRB　Φ150	本	1.00			
マルチタイプ　公共桝	150P-200×1.0	個	1.00			
防護蓋	Φ200　T-8	個	1.00			
内蓋	Φ200	個	1.00			
埋設シート	W=150	m	3.00			
配管工費						
支管取付工（硬質塩化ビニル管）	200-150	箇所	1.00			
硬質塩化ビニル管布設工	Φ150	m	3.00			
硬質塩化ビニル管切断工	Φ150	口	1.00			
硬質塩化ビニル管継手工	Φ150	口	3.00			
塩化ビニル桝設置工	1.0m以下	箇所	1.00			
防護蓋設置工	Φ200	箇所	1.00			
管明示シート工		m	3.00			
土工費						
舗装切断工		m	5.00			
舗装版取壊し工	BH=0.13	m2	2.10			
アスファルト塊運搬工	2ｔDT　7.0Km以下	m3	0.09			
AS処分費		t	0.22			
機械掘削工	BH=0.13	m3	4.70			
発生土運搬費	2ｔDT　7.0Km以下	m3	4.70			
発生土処分費		m3	4.70			
管路埋め戻し工	砂	m3	2.20			
管路埋め戻し工	RC40	m3	2.00			

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
下層路盤工	H=20ｃｍ　RC40	m2	2.10			
上層路盤工	H=11ｃｍ　粒調砕石25-0	m2	2.10			
表層工（人力）	再生密粒度13F・PK-3	m2	2.10			
区画線設置	15ｃｍ	m	1.00			
宅内埋戻工	発生土	m3	1.80			
舗装本復旧工事						
表層工		式	1.00			
不陸整正		m2	5.40			
アスファルト（再生密粒度13F）		t	0.60			
アスファルト乳剤	プライムコート　PK-3	L	7.00			
区画線設置	15ｃｍ	m	3.00			
法定福利費		式	1.0			
小　計						
3-2　宅内排水設工事						
硬質塩化ビニル管布設工	VU100（地中配管）	m	14.0			
インバート桝設置	YS45　H=501～800mm	組	1.00			
インバート桝設置	90L　H=～500mm	組	1.00			
インバート桝設置	目皿トラップ桝100-200	組	1.00			
硬質塩化ビニル管布設工	VP100（屋内一般配管）	m	8.00			
硬質塩化ビニル管布設工	VP75（屋内一般配管）	m	9.00			
硬質塩化ビニル管布設工	VP50（屋内一般配管）	m	6.00			
床上掃除口取付	COA100	個	1.00			
床上掃除口取付	COA75	個	1.00			
低位吸気弁取付	Φ50	箇所	2.00			
マルチ公共桝削孔・接合工	200×100	箇所	1.00			
スリーブ工	先行配管	式	1.00			

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
排水設備申請検査手数料	図面作成費含む	式	1.00			
管路掘削・埋戻し工	保護砂・人肩運搬含む	式	1.00			
法定福利費		式	1.00			
小　計						
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
4.屋外水道排水設備工事						
硬質塩化ビニル管布設工	VP75（地中配管）	m	2.00			
硬質塩化ビニル管布設工	VP50（地中配管）	m	1.00			
プロピレン浸透桝	Φ300　蓋共	セット	1.00			
機械掘削工	BH=0.13	m3	1.70			
発生土運搬工	2ｔDT　7.0ｋｍ以下	m3	1.60			
発生土処分費		m3	1.60			
吸出し防止設置		m3	8.60			
単粒砕石埋め戻し工		m3	1.60			
発生土埋め戻し工		m3	0.15			
法定福利費		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
5.空調設備工事						
5-1　冷暖房設備工事						
ACR-1 ルームエアコン	既存移設品　　2組					※旧詰所より移設
	壁 掛 型					
	冷房能力 ： 2.5(0.6～3.3)ｋｗ					
	暖房能力 ： 3.2(0.6～7.1)ｋｗ					
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ					
同上室外機用架台	溶融亜鉛ﾒｯｷ平地架台 H=300	個	1.00			
機器据付費	設置用ケミカルアンカーM10×140共	式	1.00			
総合調整		式	1.00			
冷媒用被覆銅管	屋内一般（隠蔽） φ6.35 保温厚8mm	m	8.00			
冷媒用被覆銅管	屋内一般（隠蔽） φ9.52 保温厚20mm	m	8.00			
冷媒用被覆銅管	屋外架空（露出） φ6.35 保温厚8mm	m	9.00			
冷媒用被覆銅管	屋外架空（露出） φ9.52 保温厚20mm	m	9.00			
空調ﾄﾞﾚﾝ用結露防止層付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	屋内一般（隠蔽） ACD20P	m	1.00			
空調ﾄﾞﾚﾝ用結露防止層付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	屋内一般（隠蔽） ACD25P	m	5.00			
ドレン用硬質塩化ビニル管 ｶﾗｰﾊﾟｲﾌﾟ	屋外架空（露出） VP30V	m	3.00			
保温工事	屋外露出 冷媒ﾗｯｷﾝｸﾞSUS E_2・(ｲ)・VI	m	9.00			
ﾊｳｼﾞﾝｸﾞｴｱｺﾝ用内機電源線・伝送線	EM-EEF2.0mm-3C	m	17.00			
ﾊｳｼﾞﾝｸﾞｴｱｺﾝ用内機ｱｰｽ線	EM-IE2.0mm	m	17.00			
小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
5-2　換気設備工事						
FV-1 天井埋込換気扇	低騒音形 インテリア格子タイプ	台	2.0			
	２４時間換気機能付 定風量タイプ					
	ダクト径 ： φ１５０					
	風　　量 ： ４６０m³/h					
	静　　圧 ： １５０Ｐａ					
	電　　源 ： 単相100V 60Hz					
	天吊金具 コントロールスイッチ					
	ステンレス製深型フード(ｷﾞｬﾗﾘ付)					
FV-2 天井埋込換気扇	低騒音形 定風量２４時間換気機能付	台	1.0			
	ダクト径 ： φ１５０					
	風　　量 ： ３００m³/h					
	静　　圧 ： ６５Ｐａ					
	電　　源 ： 単相100V 60Hz					
	天吊金具 コントロールスイッチ					
	ステンレス製深型フード(ｷﾞｬﾗﾘ付)					
FV-1 レンジフードファン	ブース型（深形）自然給気タイプ	台	1.0			
	電気式シャッター付					
	ダクト径 ： φ１５０					
	風　　量 ： ５７５m³/h					
	電　　源 ： 単相100V 60Hz					
	レンジフードファン用側板					
	ステンレス製深型フード(ｷﾞｬﾗﾘ付)×２					

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
FP-1 有圧換気扇	低騒音形 排気タイプ	台	1.0			
	羽 根 径 ： φ４５０					
	風　　量 ： ６，３７０m³/h					
	電　　源 ： 単相100V 60Hz					
	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ 鉄線製ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ					
	風圧式鋼板製ｼｬｯﾀｰ 木枠					
	ｽﾃﾝﾚｽ製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ(防鳥網付)					
給気グリル	フィルター付風量調整形	台	2.0			
	ダクト径 ： φ１５０					
	ステンレス製深型フード(ｷﾞｬﾗﾘ付)					
機器据付費		式	1.0			
総合調整		式	1.0			冷暖房設備に含む
換気ダクト						
スパイラルダクト	φ150	m	12.0			
保温工事	屋内隠蔽 N・(イ)・XI 150	m	4.0			
保温工事	屋内隠蔽 N・(ア)・XI 150	m	1.0			
小　計						
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事						
電気設備工事						
1.幹線設備工事		式	1.00			
2.電灯設備工事		式	1.00			
3.コンセント設備工事		式	1.00			
4.弱電設備工事		式	1.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1.幹線設備工事						
電灯分電盤	屋内樹脂製・壁掛型	m	1.00			
ｽｯｷﾘﾎﾟｰﾙ	6.3m引込開閉器盤、計器板共　　ｽｯｷﾘﾎﾟｰﾙ　XDSA1270A	基	1.00			
EM電線	EM-IE5.5°　(天井内)	m	10.00			
”	EM-IE5.5°　(FEP内)	m	50.00			
EMｹｰﾌﾞﾙ	EM-CET38°　(天井内)	m	10.00			
”	EM-CET38」 (FEP 内)	m	50.00			
波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	FEP65(地中埋設)	m	45.00			
ハンドホール	H1-6	基	1.00			
接地工事費	D種	箇所	1.00			
電力申請費	中部電力	式	1.00			
土工事	根切り、埋戻し、ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ、残土処理 他					建築工事に含む
基礎工事費	ｽｯｷﾘﾎﾟｰﾙ用 φ950×H1000					建築工事に含む
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
2.電灯設備工事						
LED照明器具	A402　　オーデリック　XL501002R4H 相当品	台	9.00			
〃	A402W　　オーデリック　XG505002P4B 相当品	台	10.00			
〃	B100　　オーデリック OD261886R 相当品	台	2.00			
〃	B100S　　オーデリック OD261738R 相当品	台	3.00			
〃	B100SF　　オーデリック OD261967R 相当品	台	1.00			
〃	C201　　オーデリック　OB255181R 相当品	台	1.00			
〃	D60W　　オーデリック　OD261796R 相当品	台	6.00			
〃	E60W　　オーデリック　OG254799LCR 相当品	台	4.00			
〃	F400W　　オーデリック　XG454037 相当品	台	2.00			
避難口誘導灯	C級　　パナソニック　ＦＡ１０３１２ＣＬＥ１＋ＦＫ１０３００ 相当品	台	2.00			
通路誘導灯	C級　　パナソニック　ＦＡ１０３１２ＣＬＥ１＋ＦＫ１０３１６ 相当品	台	1.00			
赤色灯	直付　　パナソニック　ＮＮＦ２０２４７Ｚ 相当品	台	1.00			
ｶﾗｰEﾎﾟｰﾙ	6.3m	基	1.00			
EMｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6-2C（管内）	m	15.00			
〃	EM-EEF1.6-2C（天井内）	m	55.00			
〃	EM-EEF1.6-3C（管内）	m	5.00			
〃	EM-EEF1.6-3C（天井内）	m	180.00			
〃	EM-EEF2.0-2C（管内）	m	1.00			
〃	EM-EEF2.0-2C（天井内）	m	10.00			
EMｹｰﾌﾞﾙ	EM-EE2.0-3C（管内）	m	1.00			
〃	EM-EEF2.0-3C（天井内）	m	40.00			
〃	EM-CE3.5°-3C	m	60.00			
合成樹脂可とう電線管	PF16（隠ぺい）	m	15.00			
〃	PF22（隠ぺい）	m	5.00			
波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	FEP30（地中埋設）	m	50.00			
ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	四角中浅形 塗代付	個	20.00			
埋込ｽｲｯﾁ 新金属P	1P15A×1	個	1.00			
〃	1P15A×3	個	2.00			

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
〃	1P15A×2・PL×2	個	2.00			
換気扇ｽｲｯﾁ	機械設備支給品	個	4.00			
〃	機械設備支給品 24時間	個	1.00			
消防申請手続費	消防検査立会い共	式	1.00			
土工事	根切り、埋戻し、ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ、残土処理他					建築工事に含む
基礎工事費	ｶﾗｰEﾎﾟｰﾙ用 φ700×H950					建築工事に含む
合　計						
3.コンセント設備工事						
EMｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6-2C（管内）	m	10.00			
〃	EM-EEF1.6-2C（天井内）	m	5.00			
〃	EM-EEF2.0-3C（管内）	m	40.00			
〃	EM-EEF2.0-3C（天井内）	m	245.00			
〃	EM-EEF2.6-3C（管内）	m	5.00			
〃	EM-EEF2.6-3C（天井内）	m	20.00			
合成樹脂可とう電線管	PF16（隠ぺい）	m	65.00			
〃	PF22（隠ぺい）	m	3.00			
ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	四角中浅形 塗代付	個	38.00			
埋込ｺﾝｾﾝﾄ 新金属P	2P15A×2 E付	個	20.00			
〃	2P15A×1 EET付	個	1.00			
〃	2P15A×2 EET付	個	5.00			
〃	2P15A・20A兼用 EET付(125V)×1	個	2.00			
〃	2P20A×1 E付	個	2.00			
〃	2P30A×1 E付	個	1.00			
防水ｺﾝｾﾝﾄ 鍵付き	2P15A×2 EET付	個	2.00			
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
4.弱電設備工事						
端子盤	将来用ﾌﾘｰﾎﾞｯｸｽ	面	1.00			
UHFｱﾝﾃﾅ	壁面用 20素子ｸﾗｽ	基	1.00			
BS/CSｱﾝﾃﾅ	φ450	基	1.00			
増幅器		個	2.00			
ﾃﾚﾋﾞ端子		個	2.00			
ﾃﾚﾋﾞﾄﾞｱﾎﾝ	親機+玄関子機 1対1形	台	1.00			
EMｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE0.9-2C（管内）	m	5.00			
〃	EM-AE0.9-2C（天井内）	m	10.00			
〃	EM-S-5C-FB（管内）	m	10.00			
〃	EM-S-5C-FB（天井内）	m	15.00			
合成樹脂可とう電線管	PF16（隠ぺい）	m	5.00			
〃	PF22（隠ぺい）	m	15.00			
波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	FEP40（地中埋設）	m	45.00			
埋設標識ｼｰﾄ	W150 ﾀﾞﾌﾞﾙ	m	40.00			
ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	四角中浅形 塗代付	個	5.00			
防雨入線ｶﾊﾞｰ		個	3.00			
ﾉｽﾞﾙﾌﾟﾚｰﾄ		個	1.00			
土工事	根切り、埋戻し、ｻﾝﾄﾞｸｯｼｮﾝ、残土処理他					建築工事に含む
合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事						
外構工事費						
1　造成工事		式	1.0			
2　ＣＰホース乾燥塔移設工事		式	1.0			
合　　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1　造成工事						
1-1　耕土剥ぎ取り・搬出処理		式	1.0			
1-2　側溝整備工事（市道乗り入れ部）		式	1.0			
1-3　擁壁工事		式	1.0			
1-4　地先境界ﾌﾞﾛｯｸ工		式	1.0			
1-5　フェンス工		式	1.0			
1-6　雨水浸透桝設置		式	1.0			
1-7　舗装工		式	1.0			
1　合　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1-1　耕土剥ぎ取り・搬出処理						
鋤取り	深さ300mm程度　新営工事補正無し	m3	299.00			
積込	BH0.45m3 排ｶﾞｽ対型(第1次基準値)	m3	299.00			
建設発生土運搬	ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 ＤＩＤ区間無し　７．５㎞以下 良 好 引取税含 中間値	m3	299.00			
発生土処分費		m3	299.00			
1-1　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1-2　側溝整備工事（市道乗り入れ部）						
舗装版切断工	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 5cm	m	32.30			
舗装版破砕(ﾊﾞｯｸﾎｳ直接掘削・積込)	5cm 排出ｶﾞｽ対策型1次基準	m2	9.50			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬(舗装版破砕工)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻 DID地区なし 5km 運搬路面状況 良好	m3	0.50			
AS処分費		t	1.20			
排水構造物工　U型側溝撤去	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU形 JIS A 5372 300B 300×300×600	m	31.70			
とりこわし殻積込	排出ｶﾞｽ対策型1次基準	m3	2.90			
構造物とりこわし殻運搬　ＤＴ１０ｔ積級	DT10t積級 BH積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)・二次製品(参考)	m3	2.90			
床掘り	土砂（小規模）	m3	9.50			
基面整正		m2	19.00			
基礎砕石工	10cm 排出ｶﾞｽ対策型2次基準 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 40mm以下	m2	15.90			
排水構造物工	OSU300横断ﾀｲﾌ　1000kg／個以下	m	9.00			
排水構造物工	蓋版据付 グレーチング蓋　据付 40kg／枚以下	枚	9.00			
排水構造物工	OSU300縦断タイプ　1000kg／個以下	m	22.70			
埋戻工	排出ｶﾞｽ対策型1次基準 標準	m3	2.90			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	40mm以下	m3	3.50			
上層路盤工(車道)	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 40mm以下	m2	9.50			
表層工(歩道部)(人力)	5cm 車道・路肩 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 砂散布有り ⑤再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 密粒度(13F)[再生材混入率50%以下]	m2	9.50			
1-2　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1-3　擁壁工事						
市道境界部（Sa）	**逆L型擁壁　H＝1300**					
床掘り	土砂（小規模）	m3	17.10			
基面整正		m2	22.90			
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	13.60			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工（普通L型擁壁　H＝1.3m）	擁壁の高さ1.0m～2.0m以下 勾配自在逆L型擁壁（ﾌﾗｯﾄ壁）q=10KN/m2	m	22.70			
乗り入れ部（Sc）	**逆L型擁壁**					
床掘り	土砂（小規模）	m3	55.00			
基面整正		m2	41.10			
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	88.80			
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工	擁壁の高さ2.5m以下 勾配自在普通L型擁壁（ﾌﾗｯﾄ壁）q=10KN/m2	m	28.00			
1-3　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1-4　地先境界ﾌﾞﾛｯｸ工						
床掘り	土砂（小規模）	m3	55.00			
基面整正		m2	41.10			
構内舗装工事(側溝類)	構内舗装工事 ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石 120×120×600mm 施工規模100 材工共	m	90.80			
1-4　小　計						
1-5　フェンス工	H＝1.1m　基礎：180*180*450					
床掘り	土砂（小規模）	m3	6.50			
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	5.70			
基礎砕石工	10cm 排出ｶﾞｽ対策型2次基準 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 40mm以下	m2	14.50			
外構工事(ﾌｪﾝｽ工事)	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ朝日PCﾌｪﾝｽ(300g亜鉛めっき鉄線) A型 径3.2×56mm H-120cm 18×18×45cm同等品	m	113.00			
1-5　小　計						
1-6　雨水浸透桝設置	浸透層3.0m*3.0m、深さ2.15m					
根切り	つぼ 布掘(深さ2.5m程度)	m3	58.10			
埋戻し		m3	56.50			
単粒度砕石3号	40~30mm	m3	57.80			
雨水浸透桝	500*500	箇所	3.00			
OK透水シート	2m*50m	本	4.00			
土工事(根切り.埋戻し.盛土.発生土処理等)	土工事 発生土処理(残土) 場内敷きならし 施工規模200m3 機械・手間のみ	m3	58.10			
土工機械運搬	ﾊﾞｯｸﾎｳ 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.45m3 引取税含 中間値	回	1.00			
1-6　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
1-7　舗装工						
構内舗装工事	構内舗装工事 車道部ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 密粒度ｱｽｺﾝ A-5-15(合材･路盤材=再生材) 材工共	m2	246.0			
路床整正	500m2以上1000m2未満 排ｶﾞｽ対型(第1次基準値) 中間値	m2	573.0			
路盤材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 車道部 15cm	m2	573.0			
路盤材敷きならし(厚さ15cm)	500m2以上1000m2未満 排ｶﾞｽ対型(第1次基準値) 中間値	m2	573.0			
路盤材締固め(厚さ15cm)	500m2以上1000m2未満 排ｶﾞｽ対型(第1次基準値) 排ｶﾞｽ対型(第1次基準値) 中間値	m2	573.0			
舗装機械運搬	振動ﾛｰﾗ 2.4~2.8ｔ 中間値	回	1.0			
舗装機械運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ 2.0~4.5m 中間値	回	1.0			
1-7　小　計						

名　　称	摘　　要	単位	数　量	単　価	金　　額	備　　考
2　ＣＰホース乾燥塔移設工事						
既設ポール資機材収り外し		式	1.00			
ポール周囲掘削		式	1.00			
根枷取り外し		台	2.00			
抜柱工事		式	1.00			
埋戻し(埋戻し用土含む)		式	1.00			
ホール分割作菜及び、積な込み運縫		式	1.00			
建柱市損恃		式	1.00			
高所作業車損料		式	1.00			
遼柱及び機器収付脅(両・利用不可部品含む)		式	1.00			
試装謂整費		式	1.00			
諸経費(法定幅利費含む)		式	1.00			
2　合　計						

位置図

令和８年度（債務負担行為）
安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事



現　場　説　明　書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

１．件名（工事名称）

令和８年度（債務負担行為）
安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

２．工事場所：　安曇野市　穂高

２．工事概要：　・消防団詰所の新築工事（木造平屋建て　延床面積：167.79 ㎡）
・上記に伴う電気・機械設備工事一式
・外構工事一式
・ホースタワー移設工事一式　ほか

４．工期　　契約日　から　令和９年７月 16 日まで

５．一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。」）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

６．本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所･面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理･Ｐｈ 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共

用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3)工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
(4)夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
(5)周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
(6)感染症対策は十分に講じること。
(7)各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。
(8)残土関係
本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。
なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。
○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
共和興業(株)	指定	3.4ｋｍ	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。
~~(9)この工事は執務並行型の工事である。~~
(10) 本工事は、「安曇野市週休２日工事実施要領」の通期の週休２日工事の対象である。

７．工事請負契約書（案）に関する事項について
(1)第 39 条（債務負担行為に係る契約の特則）関係
各会計年度における請負代金の支払限度額の割合は、次のとおりとする。
令和８年度　40％
令和９年度　60％

~~７．本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

８．安全対策関係
①交通誘導警備員
受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第４条の規定によ

り公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

９．工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10．その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

１．保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

２．各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1)公共事業労務費調査等

(2)資材調査、建設副産物実態調査等

３．工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

４．被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

５．工事実績情報サービス（CORINS）の登録について

(1)請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事実績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2)登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すこと。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

①工事受注時契約締結後10日以内

②登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③工事完成時工事完成後10日以内

６．施工体制台帳に係る書類について

(1)工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2)「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3)次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・１日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

７．主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

(1)請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）

(2)自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

(3)エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

(4)工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

８．産業廃棄物等の取扱い

(1)廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。

(2)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(3)しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

９．再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ラージリサイクル法)に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10．安全対策関係

(1)工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。

(2)安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

(3)足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によ

り、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

(1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。

(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。

(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。

(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」いう。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。

②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。

③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輌及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輌からの資機材等の引き渡しを受けないと。

⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輌を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当っては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~

~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~

~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。~~

14. ~~アスベスト建材使用箇所等の事前調査~~

~~(1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。~~

~~㋑報告書の記載内容~~

~~①アスベスト材料の種別~~

~~②アスベスト形状、飛散可能性の有無~~

~~③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率~~

~~なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。~~

~~(2)監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。~~

15. 建設業退職金制度について

(1)工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2)工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

(3)請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後１ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1)工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2)工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3)下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ｉ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平

成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

〇添付書類

・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）

・工事打合わせ記録簿（当月分）

・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。

②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ．完成写真を公表すること。

ロ．完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはＡ４版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号第 20 条の２第２項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

［変更請負額］＝｛［変更設計工事価格］×［当初請負比率］｝※1＋［消費税相当額］

当初請負比率：［当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額］／［当初設計額の工事価格］

※1 有効桁上位４桁、５桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和８年４月１日適用版

令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団

第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

（建築）

No	図名	No	図名	No	図名	No	図名
A- 00	表紙	E- 00	表紙	M- 00	表紙		
A- 01	図面リスト	E- 01	電気設備工事特記仕様書	M- 01	機械設備工事特記仕様書		
A- 02	特記仕様書-1	E- 02	盤結線図	M- 02	配置図(給水・排水)		
A- 03	特記仕様書-2	E- 03	幹線・外灯設備図	M- 03	平面詳細(給排水図・屋内配管)		
A- 04	特記仕様書-3	E- 04	照明器具姿図	M- 04	給水・排水 アイソメ・取出し断面図・浸透桝（図面）		
A- 05	特記仕様書-4	E- 05	電灯設備図	M- 05	冷暖房・換気設備 機器表		
A- 06	概要書　内・外仕上表	E- 06	コンセント設備図	M- 06	換気設備 平面図		
A- 07	内部仕上表	E- 07	弱電設備図	M- 07	冷暖房設備 平面図（既存移設）		
A- 08	案内図・平面図・求積図						
A- 09	配置図・敷地求積図						
A- 10	敷地現況図・求積表						
A- 11	土地利用計画平面図1						
A- 12	土地利用計画平面図2						
A- 13	仮設計画・足場図						
A- 14	立面図						
A- 15	省エネ計算用求積図						
A- 16	矩計図						
A- 17	平面詳細図						
A- 18	基礎伏せ図・基礎部分詳細図						
A- 19	キープラン・建具表1						
A- 20	キープラン・建具表2						
A- 21	キープラン・建具表3（オーバースライディングドア詳細図）						
A- 22	天井伏図・屋根伏図						
A- 23	ＣＰホース乾燥塔図（参考）						
A- 24	展開図						
A- 25	外構詳細図						
S- 01	構造図01：構造計算書　壁量・偏芯率　（別途計算書）						
S- 02	構造図02：構造計算書　接合金物　（別途計算書）						
S- 03	構造（プレカット）図01						
S- 04	構造（プレカット）図02						
S- 05	構造（プレカット）図03						
S- 06	構造（プレカット）図04						
S- 07	構造（プレカット）図05						
S- 08	構造（プレカット）図06						
S- 09	構造（プレカット）図07						

PR NAME 令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団
第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

DW NAME 図面リスト

DATA 20261010

SCALE

DW NO. A-01

建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　　安曇野市穂高5638-6

2．敷地面積（㎡）　　996.65 ㎡

3．工事種目　　新築工事

建 物 別	種 別	構 造	階 数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
消防団統合詰所	新 築	木 造	1	12.74	15.015	182.84	167.79

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に　印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、・印の付いたものを適用する。
- ・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- ・印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（．．）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（別．．）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。

章	項 目	特 記 事 項	
1 一般共通事項	1.適用基準等	・建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		・敷地調査共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		・建築構造設計基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
		・安曇野市建築工事の手引	安曇野市企画総務部財産管理課監修
		・公共建築改修工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
		・木造建築工事標準仕様書	国土交通省大臣官房営繕部監修（最新版）
		・建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）	建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
	2.品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による　（1.2.2） ※風速（Vo=　　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ※積雪区分　建告示第1455号　別表（　　）	
	3.電気保安技術者	※適用する　　・適用しない　（1.3.3）	
	4.施工条件明示項目	・建築物の外構及び下水道工事については、現場で整合させること　（1.3.5）	
	5.発生材の処理等	※別紙解体工事仕様書による　・構外搬出適正処理　・現場説明書による　（1.3.8） また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの	
	6.特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	
	7.技 能 士	※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　（1.5.2） ・適用しない	

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・とび
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	・型枠施工　・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業）　・とび
ｺﾝｸﾘｰﾌﾟﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ﾌﾞﾛｯｸ建築 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・ﾀｲﾙ張り
木工事	・造作大工
屋根及びとい工事	・板金施工（内外装板金作業）　・かわらぶき　・ｽﾚｰﾄ施工
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）・建築板金
左官工事	・左官
建具工事	・建具製作　・ｻｯｼ施工　・ｶﾞﾗｽ施工　・自動ﾄﾞｱ施工
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工　・ｻｯｼ施工　・ｶﾞﾗｽ施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
排水工事	・給排水（建築配管作業）
植栽工事	・造園
その他の工事	・畳製作　・家具製作　・樹脂接着剤注入施工　・自動ﾄﾞｱ施工

8.設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
9.設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL	
10.化学物質の濃度測定	測定方法　※ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　・ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　（1.5.9） 検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者 測定物質 ※ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ﾄﾙｴﾝ　※ｷｼﾚﾝ　※ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ｽﾁﾚﾝ 測定個所(室) 計　個所 ※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指針値	

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備 考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

11.完成図等	※作成する　（1.7.1～1.7.3）(表1.7.1) ※完成図（※設計図書で示したもの全て　・標仕表1.7.2による　・監督員の指示による） 作成方法　※原図　用紙　（※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰA1　・　　） 作図方法（※CADで作成し出力　・　　） ・マイクロフィルム（ﾌｧｲﾙｶｰﾄﾞ付） ※製本（原図の青焼き、見開きA3版（1部）） ※CADデータ（※CD-R（2部）　・　　） ※保全に関する資料（2部）	
12.完成写真	下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。	

分 類・規 格	撮 影 箇 所 数	部 数	写真のサイズ（mm）
※ カラー写真	外部（ 4 ）内部（ 3 ）	※2 ・	※ ｷｬﾋﾞﾈ版　・ﾀｰﾋﾞｽ版
・ パネル（木製枠）	外部（　）内部（　）	※2 ・	※ 半切　・ 全紙
・ カラースライド	外部（　）内部（　）	※1 ・	24×36以上
※ 電子データ	外部（　）内部（　）	※2 ・	※428万画素以上 ※350dpi以上

電子データは、ﾌｫﾙﾀﾞ3ｹﾀﾝのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者

13.建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする また、銘柄欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。	
14.化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ｴﾎﾟｷ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はﾌｪﾉｰﾙ樹脂ﾌﾟﾘﾝﾌﾟﾚｸﾞ材及びﾌｪﾉｰﾙ樹脂ｺﾞｰﾄﾞｺｱﾗﾐﾈｰﾄｼｰﾄを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、畳床、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 規 制 対 象 外 ①JIS及びJASの「☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用 d．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用 e．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用 f．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用 第 三 種 ①JIS及びJASの「☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE2規格品 ④旧JASのF☆☆規格品	

2 仮設工事

1.監督員事務所	※設ける　・設けない　（2.3.1） 規模　※10㎡程度　・20㎡程度　・（　　）㎡程度	
2.工事用水	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　※利用できない　（2.3.1）	
3.工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　※利用できない　（2.3.1）	

3 土工事

1.埋戻し及び盛土	種別　・A種　※B種　・C種　・D種　（3.2.3）(表3.2.1)	
2.建設発生土の処理	※構外搬出適切処理　（3.2.5） ・構内の造成に利用　・構内の指定場所にたい積　・構内の指定範囲に散きならし	

4 地業工事

1.既製コンクリート杭地業	種類　（4.3.1）(4.3.2) ※高強度プレストレストコンクリート杭（建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの） ・	

	杭径（mm）	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備 考
試験杭					
本 杭					

先端部の形状　※開放型　・閉そく平たん　（4.3.2）
杭の継手　建築基準法に基づく指定機関において性能評定を受けた継手をしようしてもよい。
（4.3.6）
杭頭の処理　※ 切断しない　・　（4.3.7）
施 工 法　（4.3.3～4.3.5）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの）
・セメントミルク工法
・打込み工法

2.場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　（4.5.3）(表4.5.1) （・A種　・B種）かつFc＝（　　）N/㎟以上 鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　（4.5.3） セメントの種類　※高炉セメントB種　・　（4.5.3） 掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　（4.5.4） ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　（4.5.5） ・拡底杭工法（※安定液使用　・　） 孔壁測定　・行う（　　）　・行わない　（4.5.4）	
3.砂利地業	※再生クラッシャラン　・切込み砂利及び切込み砕石　（4.6.3）	
4.床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　（4.6.5）	
5.地盤改良等	六価クロム溶出試験　※行う　・行わない	

5 鉄筋工事

1.鉄筋の種別	（5.2.1）(表5.2.1)	

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295	※D16以下　・
・SD345	※D19以上　・
・	

2.鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　（5.3.4）	
3.鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　（5.3.5） ・耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。	

施 工 箇 所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※ 10　・

4.既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭の杭頭補強	・A形　・B形　※図示　（別1.1）	
5.最上階柱頭補強	※行う　・行わない　（別2.1）	
6.帯筋	※H形（ロは除く）　・　（別2.2）	
7.壁開口部の補強	一般壁　・A形　※B形　・図示　（別4.2）(別表4.3)(別表4.4) 耐震壁　※ 図示　・	
8.貫通孔の補強形式	※H形　・MH形　・M形　（別7.1）(別表7.1～別表7.3)	
9.機械吊上げ用フック	・A種　・B種　・C種　（　　ヶ所）　（別7.3）	
10.圧接完了後の試験	※ 超音波探傷試験　・引張試験　（5.4.9）	

6 コンクリート工事

1.普通コンクリートの設計基準強度	（6.1.4）	

設計基準強度Fc（N/㎟）	施 工 箇 所
※ 21	建物躯体（建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む）
・ 18	

2.ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの種別	※ Ⅰ類　・Ⅱ類　（6.1.5）(6.4.1)(6.4.2)(表6.1.1)	
3.スランプ	工作物のスランプ値は15又は18cmとする	
4.セメントの種類	（6.3.2）(6.13.2)(6.16.2)(表6.3.1)	

セメントの種類	施 工 箇 所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て
・ 高炉セメントB種	※ 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭 ・

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

5.骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　（6.3.3）(6.5.4) ※A　・B（※コンクリート中のアルカリ総量 R(＝3.0kg/m3以下）	
6.混和材料	※混和剤　・混和材　（6.3.5）(6.4.8)	
7.無筋コンクリート	設計基準強度　※ 18N/mm2　（6.14.3）	
8.コンクリート躯体表面の処理	外装タイル仕様張り面の躯体表面の処理 MCR工法は、せき板面にMCR工法用気泡ｼﾞｪｲﾑｼｰﾄ張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N/㎟以上かつ2.5分/㎡以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※ 20mm　・ ※施工範囲は図示による	
9.型枠の種別	塗装の有無　※無　・有　・オーバーレイ　（6.9.3） 材質　※複合合板　・針葉樹合板　・南洋材合板 厚さ　※12mm　・	

7 鉄骨工事

10.断熱材兼用型枠	適用及び適用箇所について（特記仕様書 19.14による）	
11.Eｺﾝの品質管理	打ち込み量50m53以上となるｺﾝｸﾘｰﾄ工事においては担当技術者を配置し、監督職員に報告すること。 供試体には、請負者がサインしたQC版（供試体型枠側面に張り付ける確認版）を入れる。	
1.鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ・監督職員の承諾する製作業者　（7.1.3） ※建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。	
2.入熱、パス間温度の接合条件	適用箇所　※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・図示 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示	
3.施工管理技術者	※適用する　・適用しない　（7.1.3）(7.1.4)	
4.鋼材	鋼材の材質　（7.2.1）(7.2.2.4)(表7.2.1)	

種 類 の 記 号	使 用 箇 所	規 格 等
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品

5.高力ボルト	※トルシア形高力ボルト　・ＪＩＳ形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト （7.2.2）(7.12.4)	
6.溶接部の試験	ＡＯＱＬ　※4.0%　・2.5%　（7.6.11） 検査水準　※第6水準　・図示　（7.6.11）(表7.6.2)	

試験の種別		試 験 方 法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11(b)による ・ 図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

7.耐火被覆	（7.9.2～7.9.7）	

種 別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8.アンカーボルトの保持及び埋込み方法	・構造用アンカーボルト（※図示　・　　）　（7.10.3）(表7.10.1) ・建方用アンカーボルト（・A種　※B種　・C種）	
9.柱底均しモルタル工法	※A種　・B種　（7.2.9）(7.10.3)(表7.10.2) 無収縮モルタル	

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルフォミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝１：１

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から３分以内の値は　８±２秒
ブリージング	練混ぜ２時間後のブリージング率：２．０%以下
凝結時間	凝結開始時間　１時間以上 終結時間　１０時間以内
無収縮性	材齢７日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢３日　25.0 N/㎟以上 材齢２８日　45.0 N/㎟以上
付着強度	材齢２８日　3.0 N/㎟以上
塩化物量	０．３０kg/m3以下
試験方法	(1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。 (2)塩化物量は、JIS A 5308「ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ」付属書5（規定）「ﾌﾚｯｼｭｺﾝｸﾘｰﾄ中の塩化物ｲｵﾝ濃度試験方法」による。

10.溶融亜鉛めっき工法	（7.12.3）(表14.2.2)	

亜鉛めっき種別		
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

安曇野市

検印欄

工事名	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	年月日 20260210
図面名称	特記仕様書（１）	図面番号 A- 2

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1.建築用コンクリートブロック　補強コンクリートブロック造　(8.2.2)
※空洞ブロック16　・空洞ブロック16-Ｗ

帳壁及び塀　※標仕表8.3.1及び下表による　・　(8.3.2)

適用箇所		厚さ(mm)
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁		・
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2mを越える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100
		・

2.ＡＬＣパネル　(8.4.2～8.4.6)(表8.4.2)(表8.4.3)

種　類	許容荷重(N/㎡)	厚さ(mm)	取付け工法(種別)
・外壁パネル	・1180　・1960	※100　・	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ
・間仕切パネル		※100　・	・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ
・屋根パネル	・980	※100　・	※Ｆ種(標仕8.4.5による)
・床パネル	・2350　・3530	※100　・150	

・床パネルの耐火性能（　・1時間　・2時間　）
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
※20　・　(8.4.3)
伸縮目地への耐火目地材の充てん　・適用する　(8.4.4)

3.押出成形セメント板（ＥＣＰ）　(8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法種別
・外壁パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ａ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			・Ｂ種
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			
・間仕切パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ｂ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			・Ｃ種
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			

耐火性能　・有り（　　）　・無し

9 防水工事

1.アスファルト防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.8)

種　別	施工箇所
※ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	床型枠用損製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト　※３種　・４種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※２５　・　(9.2.2)
ただし、ノンフロンのものとする。
立上り部の保護
・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。
・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板（厚さ　15mm）　(9.2.5)
製造所　　評価名簿による

2.改質アスファルトシート防水　種別　・ＡＳ－１　・ＡＳ－２　厚さ（　）　(9.3.2～9.3.4)(表9.3.1)
施工箇所　・

3.合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		・シルバー	※非歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		・カラー	・軽歩行
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・			

4.塗膜防水　(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種　別	施工箇所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー
		・カラー
・Ｙ－１	地下外壁防水	Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２		※適用する　・適用しない

Ｘ－１の脱気装置
・設ける　材質（　　）　設置数量（　　㎡当たり１箇所）

(1～4についての保証)　防水工事施工者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

5.シーリング　下表以外は、標仕表9.6.1による。　(9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ＣＯＮ－ＣＯＮ	ポリウレタン系
建具	変成シリコン系
ライニング	シリコン系

10 石工事

1.天然石張り　石の品質　(10.2.1)
床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　　）
壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　　）
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類

2.テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)
表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

3.壁の石張り工法　外壁石張り　(10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　　）
・乾式工法
石裏面処理　※行わない　・行う（・小口共）
裏打ち処理　※行わない　・行う
ドレンパイプ　※ステンレスＳＵＳ３０４　・
内壁石張り　(10.4.2)(10.4.3)(10.5.2)(10.5.3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
石裏面処理　※行わない　・行う（・小口共）
裏打ち処理　※行わない　・行う

4.床及び階段の石張り　床石張りの表面処理　※行わない　・行う　(10.6.2)
階段石張りの裏面処理　※行わない　・行う　(10.1.5)
屋内のワックス掛け　※行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1.陶磁器質タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	釉薬 無釉	釉薬 施釉	吸水率 有	吸水率 無	色 標準	色 特注	備　考
床	150×150	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
腰壁	75×75	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、扉風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※ 外壁タイル　・　　）

2.張り付け用材料　既製調合モルタル　(11.2.3)

保水率(%)	単位容積質量(kg/ｌ)	接着強さ(N/mm²) 標準時	接着強さ(N/mm²) 温冷繰返し後	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm)2
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・Ｆ☆☆　(11.2.3)

3.壁タイル張りの工法　内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り　(11.3.3)(表11.3.2)
外装タイル　・ 密着張り　・ マスク張り
躯体表面の処理　・行わない　※ 行う
※ ＭＣＲ工法（６章コンクリート工事による）又は高圧水洗（ﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ下地）工法
施工範囲　※図示　・
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5による
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　　）　(11.2.1)

4.陶磁器質タイル型枠先付け工法　(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.9.3[材料](b)(2)または金属製ﾀﾗｲﾙ
・目地裏工法	・二丁掛タイル	先付け用パネル
・桟木法	大型タイル	・

12 木工事

1.木材の品質　※標仕12.2.1による　・信州木材認証製品又は同等品　・市販品　(12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（　　）

2.樹　種　※標仕表12.2.3による　(12.2.1)(表12.2.3)
・代用樹種を適用しない箇所（　　）

3.集成材等　(12.2.2)

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※２種	※たも・なら・しおじ	
・構造用集成材	※１等　・２等	・	
・造作用集成材	※１等　・２等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

4.接 着 剤　接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性とする。　(12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用い
た接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

5.防腐・防蟻処理　行う箇所（　　）　(12.2.8)(12.2.9)
防腐処理　※行う（※標仕12.2.8(C)による　・図示　）　・行わない
防蟻処理　・行う（※図示　・　　）　・行わない
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。
（クロルピリホスを含むものを添加しないこと）

6.防虫処理　行う箇所（　　）　(12.2.10)

7.床板張り　フローリング及び縁甲板張り床　(12.2.3)(12.7.1)(表12.7.1)

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

8.建築材料　クロルピリホスをあらかじめ添加したものを使用しないこと。ただし、発散するおそれがないものとし
て、国土交通大臣が認める材料についてはこの限りでない。

13 屋根及びとい工事

1.金属板葺き　(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	材　種	塗装種別	板厚(mm)
・瓦棒葺（心木なし）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板	※フッ素	※0.4
・立はぜ葺（・立平　・あり掛）	及び鋼帯（GSLCOR-20-AZ150）	・GL鋼板	・0.5
・横葺（・定尺　・長尺）	・		
・			

下葺材料　※アスファルトルーフィング940　・

2.折板葺　(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形		
形状(mm)	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板　厚　※0.6　・0.8　・		
材　料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(GSLCOR-20-AZ150)・		
軒先面戸板	※有り　・無し		
断熱材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）　・無し		
耐火性能	※３０分耐火　・無し		

(1及び2についての保証)　・長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出
すること。
・上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10
年）を提出すること。

3.とい　材　種　※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　(13.5.2)(表13.5.1)
・ステンレス鋼板　・表面処理鋼板
鋼管製といの防蝕　※標仕表13.5.5 による　(13.5.3)(表13.5.5)
防露材のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種
掃 除 口　※有り（図示）　・無し

14 金属工事

1.ｽﾃﾝﾚｽの表面仕上げ　(14.2.1)

種　類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て（ステンレスタラップは除く）
・No.2B程度	
・鏡面仕上げ	
・	

2.ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理　(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	施工箇所
・Ｂ－１種（無着色）	
・Ｂ－２種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・	

3.鉄の亜鉛めっき　(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

4.軽量鉄骨天井下地　天井のふところが屋内1.5m以上、屋外が 1.0 m以上の場合の補強　(14.4.4)
※標仕14.4.4(h)による補強　・図示
耐震性を考慮した補強　・図示
屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　・図示

5.金属成形板張り　(14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し	※アルミニウム製			・Ｂ－１種
	・ロール	・			・Ｂ－２種（　　）
・パネル形	※プレス	・			・
	・				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

6.ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木　(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備　考
・２５０形	1．6以上	※Ａ－１又は	固定方法及び隣	隅角部及び突当たり部等の役物
・３００形	1．8以上	Ｂ－１種	隔は品質計画で	は本体製造所の仕様による。
・３５０形	2．0以上	・Ｂ－２種	定めたもの	
・１００形		（　　）		
・				

7.手すり及びタラップ　(14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
・手すり	※ステンレスＳＵＳ３０４	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種
	・アルミ	内部　※Ｅ種
	※ステンレスＳＵＳ３０４	※研磨無し　・
・タラップ	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種
		・

15 左官工事

1.モルタル塗り材料　吸水調整材　(15.2.2)

全面形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm2）	界面破断率（%）
表示値　±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤　(JIS A 1404による試験)

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
ｾﾒﾝﾄ重量の5%以下	JIS R5201の試験　8において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以下	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

安全性　膨張性のひび割れおよびそりがないこと。JIS R5201の試験9

2.床ｺﾝｸﾘｰﾄの直均し仕上げ　下表以外は、標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)

施　工　箇　所	平　た　ん　差（mm）	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	１mにつき１０以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	３mにつき７以下	

3.仕上塗材仕上げ　(15.5.2)(表15.5.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・
	・可とう形外装薄塗材Ｓi	・
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	・
	・内装薄塗材Ｌ	・
	・内装薄塗材Ｓi	・
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・複層塗材Ｓi	耐候性　※３種　・
	・複層塗材Ｅ	上塗材　溶媒　※水系　・溶剤系
	※複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系　・
	・複層塗材ＲＳ	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＣＥ	・メタリック
	・防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※行う
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建築内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※規制対象外　・第三種

防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

4.珪藻土　JIS A 6909（建築用仕上塗材）により、製造所において指定された色及びつや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。

16 建具工事

1.見本の製作等　・特殊な建具の仮組（建具番号：　　）　(16.1.4)

2.防犯建物部品　・適用あり　(16.1.6)

(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

3.ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　外部に面する建具 LIXIL ハイブリッド窓Ⅱ（複層ガラス（熱貫流率：1.44W/（㎡・k））） 同等品

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施　工　箇　所
・Ａ種	Ⓢ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	※図示
・Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ⓦ－５	１００	

表面処理　※Ｂ－１種　・Ｂ－２種（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）　(表14.2.1)
防音ドアセット　・防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット　・断熱サッシ　・適用する　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　）
屋内建具
表面処理　※Ｃ－１種又はＢ－１種　(表14.2.1)
・Ｃ－２種又はＢ－２種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4.鋼　戸　防 虫 網
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316)　・合成樹脂製　(16.2.3)
形　式　※外部可動式　・固定式

5.鋼製建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.3.2)(表16.3.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
耐風圧性　(16.3.2)(表16.2.1)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
特定防火設備の戸　・適用する
標準型鋼製建具　・適用する　(16.3.6)

6.鋼製軽量建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
標準型鋼製軽量建具　・適用する　(16.4.5)

7.ｽﾃﾝﾚｽ製建具　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.5.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
耐風圧性　(16.5.2)
※適用する（適用箇所は建具表による）　・適用しない
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・　(16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　(16.5.5)
特定防火設備の戸　・適用する　(表16.5.1)

8.木製建具　かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　(16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く)　・鳥の子　(表16.6.3)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量の等級　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

9.建具用金物　マスターキー　※製作する　・製作しない　(16.7.4)
建築用金物　**(16.3.6)(16.4.6)**
錠前類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける　(16.7.2)
吊り金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）　・ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ

10.自動ドア開閉装置　(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	※熱線スイッチ　・マットスイッチ　・電子マットスイッチ
種類　・SSD-1　・SSD-2	・光電スイッチ　・タッチスイッチ　・音波スイッチ
・DSD-1　・DSD-2	・光線反射スイッチ　・電波スイッチ　・押ボタンスイッチ
・スイングドア	・ペダルスイッチ　・多機能便所スイッチ
・SWD-1　・SWD-2	

※凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

11.自閉式上吊り引戸装置　材料　※SUS304アルミニウム製等防錆性能を有するもの
・製造所標準仕様による　(16.9.2)(16.9.3)
性能等　※標仕16.9.1による
・製造所標準仕様による

12.重量ｼｬｯﾀｰ　(16.10.2)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.10.2)(表16.10.1)
危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・ｼｬｯﾀｰの二段降下方式
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｶｰﾃﾝ　※設ける　・設けない　(16.10.2)

13.軽量ｼｬｯﾀｰ　開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.11.2)(表16.11.1)
ｽﾗｯﾄ　材質　※JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)又はJIS G3318
(塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)　(16.11.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(16.11.4)
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304（厚さ1.0mm）　(表16.11.2)
耐風圧性能　（　　）N/㎡

14.ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　(16.12.2)(16.2.3)

ｾｸｼｮﾝ材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式	・ｽﾀﾝﾄﾞｰﾄﾞ型	・溶融亜鉛めっき鋼板
・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ	・ﾁｪｰﾝ式	・ﾛｰﾍﾞﾝﾄﾞ形	※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（SUS304）
・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・電動式	・ﾊｲﾌﾗｲ形	
		・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	

耐風圧性能　（　　）N/㎡

安曇野市

工事名	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	年月日	20240210
図面名称	特記仕様書（２）	図面番号	A- 3

検印欄

16 建具工事

⑮ ｶﾞﾗｽ

※建具表による (16.13.2)(16.13.5)

・ガラスブロック

表面形状	呼び寸法(mm)	色　調	防火性能
・正方形	・	※クリア　・熱線反射	※無し
・長方形		・乳白　・カラー（　　）	・有り

⑯ ｶﾞﾗｽ留め材及び溝

ｶﾞﾗｽ留め材 (16.13.2)(表9.6.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)

標仕16.13.3以外のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具及び鋼ｻﾞｽの場合は（社）日本建築学会JASS17ｶﾞﾗｽ工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

17.ｶﾞﾗｽ用ﾌｨﾙﾑ

名　称	種　類	張り面	性　能　等
※ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　JIS　A5759による

17 カーテンウォール工事

1.ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の種類 (17.2.2)

種　類	規　格　等
※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の方式

・方立方式

・ﾊﾟｯﾁﾌｨｯﾁ方式（・単純２辺支持構造　・ＳＳＧ構造）

・ﾊﾟﾈﾙ方式

・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ方式

・小型ﾊﾟﾈﾙ組み合わせ方式（・ﾊﾟｯﾁﾌﾞｳ方式　・ﾕﾆｯﾄ方式）

ｼｰﾘﾝｸﾞ材及びｶﾞﾗｽ取付材料 (9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	主成分による区別	耐久性による区別
金　属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

補強用ガスケット　※適用しない (17.2.2)

・適用する　（施工箇所：　　）

断 熱 材　※適用しない (17.2.2)

・適用する　（種類：　　厚さ(mm)：　　施工箇所　※図示）

製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)

種　別	色 彩 等
・Ａ－１種　・Ｂ－１種	無着色
・Ａ－２種　・Ｂ－２種	※ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ｸﾞﾚｰ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ　・
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）ｺｰﾄ（　　）ﾍﾟｰﾀ

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること

・正圧（　　）N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

主要部材のたわみ

支点間距離（ｈ）	たわみ量	状　態
※４ｍ以下	※ ｈ（１／１５０）＝ｈ かつ絶対量２０㎜以下	※各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・４ｍを超える	・	

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

構 造 種 別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※ｈ（１／１００）×ｈ以上 ・	※部材の脱落、ｶﾞﾗｽの破損及び主要部材に有害な歪が起こらない。ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度。
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	※ｈ（１／２００）×ｈ以上 ・	

水 密 性　・Ｗ－４　・Ｗ－５　・ (17.1.3)

気 密 性　Ａ－３　・Ａ－４　・ (17.1.3)

耐火性能　※適用しない　・適用する（　　時間、施工箇所：図示）

映像誤整　※行わない　・行う（建具表による）

製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2.ＰＣカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。

コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)

※標仕17.3.2による。

・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆ$0）	所用スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)

下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付ボルト	※Ｅ種　・	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
取付けボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※Ｅ種　・	※Ａ種　・

シーリング材料 (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

施　工　箇　所	シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板開目地			

耐久目地材　・適用する　※図示

断 熱 材　※適用しない

・適用する　（種類：　　厚さ(mm)　　施工箇所：※図示）

製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施　工　部　位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付ブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること

・正圧（　　）N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

構　造　種　別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	区　間
鉄骨造	※ｈ（１／１００）×ｈ以上 ・	※部材が損傷せず破壊荷重もしない。ガラス等の破損もない。シーリングは補修程度。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ｈ（１／２００）×ｈ以上 ・	

18 塗装工事

①材　料

屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 (18.1.3)

※規制対象外　・第三種

②建装業者（保　証）

・日本塗装工業会の会員　・監督職員の承認する業者

※塗装業者、請負者連名の保証書（３年）を提出すること。

3.素地ごしらえ

木部の素地ごしらえ (18.2.2)(表18.2.1)

種別　（・Ａ種　・Ｂ種　）

鉄鋼面の素地ごしらえ (18.2.3)(表18.2.2)

種別　（・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種　）

亜鉛メッキ鋼面の素地こしらえ (18.2.4)(表18.2.3)

種　別	施工部位別及び塗料種別
・Ａ　種	鋼製建具及び、２液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝﾜﾆｽ塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂ﾜﾆｽ塗りの場合
・Ｂ　種	Ａ種、Ｃ種以外
・Ｃ　種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ (18.2.5)(表18.2.4)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

コンクリート面及びＡＬＣパネル面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.5)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

2-UE、2-ASE、2-FUEの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.6)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ (18.2.7)(表18.2.7)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

4.錆止め塗料塗り

鉄鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1)(表18.3.3)

種　別　屋 外（※Ａ種 JIS Ｋ　　）　屋 内（※Ｂ種 JIS Ｋ5621　・Ａ種　　）

仕上種別　見掛り部 ※ Ａ種　　・見隠れ部 （※Ｂ種　　・　　）

亜鉛メッキ面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.2)(表18.3.4)

種　別　鋼製建具 ※Ａ種　　その他 ※Ｂ種

19 内装工事

①張 着 剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種 (19.2.2)(19.3.3)(19.8.2)

※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

2.ビニル床シート張り

(19.2.2)

種　類	記　号	色　柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　） (19.2.3)

3.ビニル床タイル張り

(19.2.2)

種　類	記　号	厚さ(mm)	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＣＴ	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟　質）	ＣＴＳ	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	ＨＴ	・	
・			

4.帯電防止床ﾀｲﾙ張り

(19.2.2)

種　類	厚さ(mm)	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2.0　・	体積抵抗値（JIS K6911による）1.0×1059Ω
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	以下、又は導えい抵抗値（JIS A1454による）
・	・	1.0×105150Ω未満

5.ﾋﾞﾆﾙ幅木

高さ（mm）　・60　※75　・100　・330（階段ささら） (19.2.2)

6.ﾙｰﾍﾞｯﾄ敷き

・繊じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・Ａ種	・カットパイル	人体帯電圧	※単一色（無地）	
・Ｂ種	・ループパイル	※3kV以下	・柄物（標準品）	
・Ｃ種	・カット、ループパイル併用	・	・	

・タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	※3kV以下
・カット、ループ併用	・		・

・タイルカーペット (19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	種類	種類	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種	※500×500	※6.5	
・カットパイル	第二種	・	・	
・カット、ループ併用				

帯電性　・人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ敷設範囲）

7.合成樹脂塗床

(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.7)

種　別	仕上げの種類	総塗布量
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ	0.5kg/㎡
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ	
・水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗り床材	※防塵仕上げ　・	0.25kg/㎡

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

8.ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り

(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

種　別	樹　種	工　法	仕上塗料
※天然木化粧複合フローリング	※なら　・ひのき	※釘どめ工法（Ｃ種）	※有
・単層フローリング	・	・	・無
・	・	・	・

ホルムアルデヒド放散量の等級　※規制対象外　・第三種

9.畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

下地の種類	畳の種別	備　考
標仕表12.5.1による床組	※Ｂ種　・	
ポリスチレンフォーム床下地	※Ｃ種　・	

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする。

10.ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの

畳下地　厚さ(mm)　※４０　・６５　・８０　(不燃)

フローリング類　厚さ(mm)　※８０　・９５　(不燃)

11.せっこうボードその他ボード張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF	・15　・20　・25　・
・ﾛｯｸｳｰﾙ	0.8FK	タイプ２（無石綿）（・６　・８　・　）
・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・）
・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（※12(不燃)　・15　・19　・）
・せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃）　・12.5（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード	GB-D	9.5（※準不燃　・不燃） 12.5（不燃）　幅440程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材付き
・化粧せっこうボード（木目）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・普通合板（難燃処理）		
・ラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2　6.0
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・素地MDF(RS)　・化粧MDF(・DV　・DO　・PC) ・3　・7　・9　・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18
・ハードボード（素地）	HB	・素地　・RMH-HB　・RS-HB ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	IB	・T-IB　・A-IB　・S-IB ・9　・12　・15　・18

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.6.1)

※適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）

・適用しない

12.吸音材

(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード３２Ｋ	GW-B	※25　・

13.壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	防火性能の級別	備考
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃　・準不燃　・難燃	

素地こしらえ (表18.2.4)(表18.2.7)

モルタル面、プラスター面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうボード面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級 (19.8.2)

※規制対象外　・第三種

14.断熱材

(19.9.2)(19.9.3)

種　類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※２種ｂ　・	※一般部　・	※25　・	ノンフロンのもの
	※３種ｂ（ｽﾀｯﾌﾟ留付）	・地盤部分　・	※25　・	・ｽﾀｯﾌﾟ
・現場発泡断熱材（吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ）	※Ａ種１　・	※断熱材補修部分 ・一般部　・	※15　・	ノンフロンのもの ※難燃性
		製造所　評価名簿による		
・断熱材兼用型枠	本質系 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ系 ・ﾌﾞﾗｽﾀｯﾌﾟ系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗＝厚さ／熱伝導率＝0.676以上（㎡･K／W）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの。		

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、ﾌｪﾉｰﾙﾎｰﾑ、ユリア樹脂又はパラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量の等級

※規制対象外　・第三種

15.浴室天井

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は縁付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

16.単板羽目板

材種　※信州産唐松（信州木材認証製品又は同等品）

・信州産杉　（信州木材認証製品又は同等品）

・

20 ユニット及びその他工事

1.フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止ビニル床タイル
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止ビニル床タイル
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止ビニル床タイル
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

スロープ及びボーダー　※ 製造所の標準仕様　・図示

コンセント等の取付け対応　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）

コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：ﾊﾟﾈﾙ１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%　・

空調用吹き出しパネル　※ 無し

・ 有り　（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2.可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	仕上げ	遮音性能	防火性能
※パネル式	・	※鋼板	※メラミン樹脂又は	・あり	・あり
・スタッド式		（※0.6　・0.8）	アクリル樹脂焼付	（　）	
・スタッドパネル式			・	・なし	・なし

3.移動式間仕切

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36dB以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による

遮音性能はJIS6512の遮音試験に準拠する

4.ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ

表面仕上げ材　※メラミン樹脂化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き） (20.2.5)

・ ポリエステル樹脂系化粧板

足形状　※幅木型　・足金物型

5.階段滑止め

材種　ステンレスＳＵＳ３０４ (20.2.6)

形状　ビニルタイヤ入り

両端フラットエンド　・無　※有（・ステンレスＳＵＳ３０４　※ビニル製）

幅（mm）　約３５

取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法

6.階段手すり

※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径約45mm）

・ビニル製ハンドレール（幅約50mm）

7.黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

	種　類	寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
			・緑　・黒	
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
			・白	

⑧鏡

寸法(mm)　・図示 (20.2.9)

厚さ(mm)　※5

⑨表示

衝突防止表示　※ 図示（市販品　※ステンレス製　径約３０㎜　・　　） ◯サイン工事 (20.2.10)

（・両面　・片面）

・ 無し

表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210 による

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

安曇野市

検印欄

工事名	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	年月日	20240210
図面名称	特記仕様書（３）	図面番号	A- 4

20 ユニット及びその他工事

10. 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ
・煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材 (20.2.11)
最高使用温度 ・400℃ ・650℃
・ｷｬｽﾀﾌﾞﾙ耐火材
工法 ※こて押さえ (20.2.11)
最高使用温度 ※400℃

11. ブラインド (20.2.12)

形式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12. ロールスクリーン 防炎性能 ※有り ・無し (20.2.13)

操作方式	幅(mm)	高さ(mm)	材種	品質	備考

13. カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式		装置			ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	紐引	手引			

14. カーテンレール 材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 (20.2.14)
形式 ・片引き ・引分け（※間幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス
・ 市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ（mm） ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
色彩 ※Ｂ－１ ・Ｂ－２（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

16. 耐震スリット

方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※２０×１０ ・	※２０×１０ ・

17. 止水板 形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
寸法

18. 天井点検口 材質 アルミニウム製（※額縁タイプ ・目地タイプ）

19. 床点検口 材質 アルミニウム製 受け枠（※アルミ製 ・ステンレス製）

20. 損製書架及び物品棚

種 類	規 格 等	JISによる種類
・損製書架	JISS 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・損製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

21. 鍵箱 市販品
形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

22. 靴ふきマット 市販品
材質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

23. 流し台ユニット

種 類	寸法（L=mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 ・1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※ 600 ・ 700 ・	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ ※有り	(ｾﾝｼｮﾘﾓﾃｨﾝｸﾞⅠ型)
・つり戸棚	※1200 ・ 900 ・ 600		・
・水切り棚	※1200 ・ 900 ・	ｽﾃﾝﾚｽ製 ※１段式	※市販品

24. 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製 ・
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

25. 洗面カウンター 材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・人工大理石（品質 ※図示）
奥行き（mm） ・約450 ・約600

26. 防煙垂れ壁
・固定式

材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種 類	材 質	高さ(mm)	備 考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27 誘導用及び注意喚起用床材 ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）
・レジンコンクリート製
屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・ ）

28. 旗竿 材 質 ※アルミニウム合金製
形 式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ（m） ・6 ・8 ・10 ・12
操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

29. 旗竿受金物 材種 ステンレス製SUS304

30. フェンス ※ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス

31. 屋外掲示板 照明器具 ※有り ・無し
施 錠 ※有り ・無し

32. 車止め支柱 ステンレス製（上下式鎖内蔵型） 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm
※ スプリング付き ・ スプリング無し

33. 収納・収納家具 材 質 ※図示 ・
形状・寸法 ※図示
ホルムアルデヒド放出量の等級 ※規制対象外 ・第三種

34. エキスパンション・ジョイント金物 材質 ・アルミ ・ステンレス
クリアランス ・50 ・100 ・150 ・
耐火性能 ・有り（ ） ・無し
防水型 ※適用する ・適用しない

21 排水工事

1. 排水管 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材 種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種 ・２種）	B形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	※ＶＰ ・ＶＵ	
・ﾘﾌﾞﾗｲﾝ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管	・ＲＳ－ＶＵ ・ＲＳ－ＶＰ	

車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1)(21.3.3)
・砂基礎（地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

2. 排水桝及びふた 鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種 類	適用荷重
・水封形 ・密閉形（テーパー・パッキン式）	・T－２用 ・T-6用
・簡易気密形（パッキン式） ・中蓋付密閉形	・T-14用 ・T-20用

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・桝ふた用	・T－２用		
	ボルト固定 ※無し ・図示	・かさ上げ用	・T－６用	※普通目	※平形
		・U字溝用	・T－14用	・細目	・凹凸形
			・T－20用		

3. 浸透管及び浸透桝 製造所

4. その他の材料 地業の材料 ※種仕4.6.2による (21.2.3)
コンクリート発注強度 ※18N/mm2 ・ (21.2.3)
鉄筋の種別 ※SD295A ・ (21.2.3)(表5.2.1)
埋戻し土 ※B種 ・ (21.2.3)(表3.2.1)

22 舗装工事

1. 盛土に用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2. 遮断層及び凍上抑制層の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ (22.2.2)(22.2.3)
・凍上抑制層 ※再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・切り込み砂利 ・砂

3. 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/m3（目標ＣＢＲ ※5以上 ・ ）

4. 路床土の支持力比試験 ※行う （※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5)

5. 路床締固め度の試験 ※行う (22.2.5)

6. 砂の粒度試験 ※行う

7. 路盤材料 ※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０） (22.3.3)
・クラッシャラン（Ｃ－４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ－４０）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8. 路盤の締固め度の試験 ※行う

9. アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し ・有り	・

カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（１３）	※密粒度アスファルト混合物（１３Ｆ）
	・細粒度アスファルト混合物（１３）	・細粒度ギャップアスファルト混合物（１３Ｆ）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（２０）	

シールコート ※行わない ・行う（施工範囲 ） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

10. コンクリート舗装 早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)
厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)

11. 透水性アスファルト舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)(22.6.6)

12. 排水性アスファルト舗装 アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.2)
※改質アスファルトⅠ型 ・改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)(表22.7.3)

適用時期	種 類
下記以外	ＰＫＲ－Ｔ１
冬 期	ＰＫＲ－Ｔ２

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)

13 ブロック系舗装 ・コンクリート平板舗装（コンクリート平板は、JIS A5371の平板) (22.8.2)(22.8.3)

種 類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N）	※300角	※ ６０	※砂
・透水平板（P）			・モルタル

23 植栽工事及び屋上緑化工事

1. 樹木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20 ・	※B種 ・	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工 法	整備範囲
・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	・薬張りの範囲
・7以上～12未満	※ 80 ・100	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※ 60 ・80	・C種	・図示
・3未満	※ 50	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。
ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植え込み用土で盛土を行う。

2. 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客 土（※畑土 ・黒土） (23.3.2)

3. 土壌改良材 ※適用する (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
パーク堆肥
有機物の含有量（乾物）：70%以上
炭素窒素比（C/N比）：35以下 窒素全量（現物） ：0.5%以上
陽イオン交換容量（乾物）：70meq/100g以上 リン酸全量（現物） ：0.2%以上
pH ：5.5～7.5 アルカリ全量（現物） ：0.1%以上
水分 ：55～65%
幼植物試験の結果 ：生育阻害その他の異常を認めない
発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
ヒ素 ：0.005%以下 炭素窒素比（C/N比） ：20以下
カドミウム ：0.0005%以下 pH ：8.5以下
水銀 ：0.0002%以下 水分 ：50%以下
ニッケル ：0.03%以下 窒素全量（現物） ：0.8%以上
クロム ：0.05%以下 リン酸全量（現物） ：1.0%以上
鉛 ：0.01%以下 アルカリ全量（現物） ：15%以下
有機物の含有量（乾物）：35%以上

4. 支柱材 ※杉、ひのき又はから松（皮はぎもの、間伐材 ※加圧式防腐処理 (23.3.2)
・真竹（良質な2年生以上）

5. 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

6. 芝張り 種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)
工法 ・目地張り ・べた張り

7. 枯補償等 新植樹木の枯補償の期間 ※１年 ・ (23.3.4)
移植樹木の枯損処理の期間 ※１年 ・ (23.3.6)
芝及び地被類の枯補償の期間 ※１年 ・ (23.4.7)(23.3.4)

8. 屋上緑化 植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示 ・管理型
保水・排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土
樹木の樹種、寸法、株立数、寸法等 ※図示 ・
透水層、保水層及び排水層等
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
工法 (23.5.4)
支柱 ・設置する （種類 ・図示 ・ ）
かん水装置 ・設置する （工事区分は図示による）

14. 路面標示用塗料 JIS K5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・１種	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して
・２種	加熱		・	・	・	5%以下
※3種1号	溶融	粉体状				

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種 類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※普通ブロック（N）	車道部 ※８０ ・	※標準品
・透水性ブロック（P）	歩道部 ※６０ ・	・
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・緑生ブロック（V）	※８０ ・１００	

インターロッキングブロック（JIS A 5371）

項 目		品 質 ・ 性 能
材料	セメント	JIS R 5210 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、JIS R 5211 高炉ｾﾒﾝﾄ、JIS R 5212 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ、JIS R 5213 フライアッシュセメント、白色ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長 さ	幅	厚 さ
普通タイプ	±３	±３	±３
透水性タイプ	±３	±３	＋５～－１
植生用タイプ	±３	±３	±３

曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	５．０以上
	透水性タイプ	３．０以上
	植生用タイプ	４．０以上
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	１×１０5-5２ 以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	３２．０以上
	透水性タイプ	１７．０以上

・舗石舗装（石材は、JIS A 5003の2等品） (22.8.2)(22.8.3)

種 類	厚さ（mm）	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※８０～１００ ・	※うろこ張り	※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・	・	・	・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

24 工事現場の環境改善・建設副産物及びISO 14001関係

①工事現場の環境改善について
工事現場のイメージアップ
・仮囲い周辺の美化 ・
地域住民への情報提供
・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成
地域住民とのコミュニケーション
・現場見学会の開催 ・
住民に対する災害防止関係
・現場出入口周辺への誘導員の配置 ・

②産業廃棄物の取扱いについて
(1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。
(2)廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
(3)廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を実として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。
(4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、ﾏﾆﾌｪｽﾄA票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。
（ B2票及びD票はﾏﾆﾌｪｽﾄ交付後90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。）

③再生資源利用促進計画書等について
「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という。）に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。
また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。

対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事現積が１千万円以上の工事

④ＳＯ 14001関係
(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。
(2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。
「参考資料」：平成12年３月24日付、建設省技調発第49号、同建設発第10号（改正平成13年4月20日）
「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」
(5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

⑤過積載の禁止 資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

25 その他

①保険等 (1)本建築引渡しまで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。
(2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

②その他 (1)墓石団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

(2) 工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。
（ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。）
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター（JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。
なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
① 工事受注時 契約締結後１０日以内
② 登録内容の変更時 変更契約締結後１０日以内
③ 工事完成時 工事完成後１０日以内
（ 連絡先：(財) 日本建設情報総合センター ℡03-3505-2973 ）

(3)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。

(4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。
また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
※施工体制台帳に記載すべき内容
・建設業法施行規則 第１４条の２第１項に掲げる事項
・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名

(5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。
・交通整理員、ガードマン
・産業廃業物処理業者
・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手）
・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの
・クレーン等の運転オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）

(6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。

(7)施行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

③不具合の確認 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で担当課長あて報告する。
（施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。）

安曇野市

検印欄

工事名	令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	年月日	20240210
図面名称	特記仕様書（４）	図面番号	A- 5

工　事　概　要			(在来軸組工法)	
工 事 名 称	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事			
建 築 場 所	安曇野市穂高5638-6			
用 途 地 域	第一種住居専用地域		床 面 積	施 工 面 積
防 火 地 域	法２２条地区	一階	169.86㎡	
敷 地 面 積	996.65㎡			
建 築 面 積	182.84㎡			
建 ぺ い 率	18.35%≦60.00%			
容 積 率	17.57%≦200.00%	合計	169.86㎡	

工 事 範 囲	本図面．及び仕様見積書に記載なき事項．総て別途工事とする

特 記 事 項	

外　部　仕　上　表		認定番号
屋　根	SGL鋼板t=0.4縦葺（立平ﾛｯｸ20型350　同等）　勾配：　15/100（SGL鋼板：日鉄鋼板　SGLユナイト） 構造用合板　12×910×1820　　　　ゴムアスシート敷	不燃材料 NM-8697
軒　裏	軒裏：SGL鋼板　角波張り	不燃材料 NM-8697
外　壁	上部：SGL t=0.4立平張り　＠＝300　　　　通気胴縁	不燃材料 NM-8697
	下部：アクリルシリコン樹脂塗材ローラー塗り仕上 無塗装サイディング板　t＝14　　　　通気胴縁	不燃材料 NM-2390
玄関 玄関ポーチ土間	床　：磁器タイル　150＊300角	
屋根断熱材	詰所側：押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40+40(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 3種 熱抵抗値2.8 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼) 高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105充填(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8)	
	車庫側：押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 3種 熱抵抗値1.4 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)	
壁断熱材	詰所側：押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 3種 熱抵抗値1.4 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼) 高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105充填(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8)	
	（車庫側：押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40加工パッキン）	
基礎断熱材	布内側：押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞB種Ⅲt=40+40 (ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡB3種　熱抵抗値2.8)	
外部建具	居室部：アルミ樹脂複合サッシ（PG仕様） YKK ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO(熱貫流率1.76以下)・ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO-B(熱貫流率1.9以下)同等	
	車庫部：アルミ樹脂複合サッシ（PG仕様） YKK ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO(熱貫流率1.76以下)	
	防火設備（サッシ）：アルミ樹脂複合サッシ（PG仕様） YKK ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO(熱貫流率1.76以下)　認定番号：　EB-3425	防火設備 EB-3425
	玄関ﾄﾞｱ：断熱玄関ドア YKK　ｳﾞｪﾅｰﾄ　D30　手動錠　4.5尺　両袖FIX	
	防火ﾄﾞｱ：手動錠　外引込みﾀｲﾌﾟ YKK 断熱ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ｺﾝｺｰﾄﾞS30 C10N 同等　認定番号：　EB-2869-1	防火設備 EB-2869-1

内　部　仕　上　表

階	部　屋　名	床		壁		天　井		備　考
		仕　上	下　地	仕　上	下　地	仕　上	下　地	
				※別紙　内部仕上表参照				

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	概要書　内・外仕上表	DATA	20260707
SCALE		DW NO.	A-06		

No	階数	室名	床下地	床	床塗装	巾木	巾木塗装	壁下地	壁	壁塗装	壁下地仕様	壁仕上仕様	天井下地	天井	天井塗装	廻縁	天井下地仕様	天井仕上仕様	天井高 CH mm	室内面積 A ㎡	有効採光 L㎡ 必要採光L㎡	有効換気V㎥ 必要換気V㎥	有効排煙S㎡ 必要排煙S㎡	評価法令	カーテン ブラインド	備考
1	1F	車庫	コンクリート金鏝直押え	塗床仕上 鉱物骨材配合散布型美装床仕上材		モルタル仕上		ケイ酸カルシウム板 t＝12 t＝12 3*6	AEP仕上	AEP		不		不燃ジプトーン 不燃化粧せっこうボード t=9.5 直張り				不	3,600	92.75						
2		玄関	構造用合板 T=24 T=24 3*6	タイル貼り INAX：アレス 9*150*300		モルタル仕上		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス				PB t=9.5 3*6	調湿ロックウール吸音板 クリアトーン9ラインアート303*606 t=9					2,490	6.21						
3		玄関ホール	構造用合板 T=24 T=24 3*6	ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 15*303*1818		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス				PB t=9.5 3*6	調湿ロックウール吸音板 クリアトーン9ラインアート303*606 t=9					2,340	3.11						
4		詰所	構造用合板 T=24 T=24 3*6	ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 15*303*1818		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス				PB t=9.5 3*6	調湿ロックウール吸音板 クリアトーン9ラインアート303*606 t=9					2,340	50.93						
5		収納1	構造用合板 T=24 T=24 3*6	ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 15*303*1818		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス					ジプトーン 化粧せっこうボード t=9.5 直張り					2,340	1.66						
6		収納2	構造用合板 T=24 T=24 3*6	ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 15*303*1818		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス					ジプトーン 化粧せっこうボード t=9.5 直張り					2,340	1.66						
7		収納3	構造用合板 T=24 T=24 3*6	ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 15*303*1818		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス					ジプトーン 化粧せっこうボード t=9.5 直張り					2,340	1.66						
8		キッチン	構造用合板 T=24 T=24 3*6	CF t＝2.3		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス			不	PB t=9.5 3*6	ビニルクロス仕上 Aクラス				不	2,340	5.18						
9		WC	構造用合板 T=24 T=24 3*6	CF t＝2.3		巾木 4000*30*6		PB 910*2400 t=12.5	ビニルクロス仕上 Aクラス				PB t=9.5 3*6	調湿ロックウール吸音板 クリアトーン9ラインアート303*606 t=9					2,340	4.66						
10																			–	–						
11																			–	–						
12																			–	–						
13																			–	–						
14																			–	–						
15																			–	–						
16																			–	–						
17																			–	–						
18																			–	–						
19																			–	–						
20																			–	–						
21																			–	–						
22																			–	–						
23																			–	–						
24																			–	–						
25																			–	–						
26																			–	–						
27																			–	–						
28																			–	–						
29																			–	–						
30																			–	–						
31																			–	–						
32																			–	–						
33																			–	–						
34																			–	–						
35																			–	–						
36																			–	–						
37																			–	–						
38																			–	–						
39																			–	–						
40																			–	–						

特記事項　※ 全電化仕様　　※ 排煙 S4:告1436-4-イ 適 ※ 内装仕上使用建築材料 全てF☆☆☆☆以上（天井裏等の下地材等もF☆☆☆☆以上）使用　　※ ブラインド：b カーテン：k

Ⅰ.準:準不燃材(以上) 不:不燃材

Ⅱ.防火材料リスト　1.PB9.5-準不燃 第2015号 2.PB12.5-不燃 第1003号 3.無機質壁紙 ①級/壁装材料-第0006号 4.塗料/基材同等-第0001号 5.ジプトーンt=9.5-準不燃 第2016号 6.不燃ジプトーンt=9.5-不燃 第1004号 7.ダイライトMS9・MS12-準不燃（個）第2897号 8.ダイライトMK9.5・MS12.5-準不燃（個）第2861号
9.エコボード（ダイライトJD）-準不燃(個)第2974号 10.チャフウォール（カルシウムペイント:KP）-不燃 NM－0162 11.チャフウォール（シリカウォール:SW）-準不燃 建設省告示第1231号適合 6H64287号 12.ケイ酸カルシウム板t＝4、6～12、15-不燃 NM-3522

Ⅲ.防火構造認定番号　1.イソバンドBL2種35-防火構造 大臣認定 PC030BE-9362 2.建告1359 ＜木造等下地-屋外側＞PB12+亜鉛鉄板（耐水PB12.5+カルバリウム鋼板t=0.35≧12mm） ＜木造等下地-屋内側＞PB9.5（PB12.5≧9.5mm）

Ⅳ.建設省告示第1100号 耐力面認定品　1.PB12.5-JIS A6901 2.ダイライトMS9-2.5倍・MS12-3.0倍 建設省富住発第9号 3.ダイライトMK9.5-1.5倍・MK12.5-2.0倍 建設省富住発第14号 4.サーモプライt=4.0-2.0倍 建設省認定東住指第567号

Ⅴ.排煙関係法令　S1:令126の2-1-2 S2:令126の2-1-4 S3:告1436-4-ロ S4:告1436-4-イ S5:令126の2-1-1 S6:令126の2-1-3 S7:告1436-4-ハ(1) S8:告1436-4-ハ(2) S9:告1436-4-ハ(3) S10:告1436-4-ハ(4) S11:令126の2-1 S12:告1436-4-ニ S13:告1436-4-ロ

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	内部仕上表	20260707		A-07

穂高2283号線

隣地境界線

延焼の恐れのある部分線 3m

N

建設地：安曇野市穂高5638-6

敷地面積：996.65 ㎡

詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m

収納1
.66 M2

収納2
.66 M2

収納3
.66 M2

詰所
50.93 M2

キッチン
5.18 M2

WC
1.66 M2

玄関
ホール
3.11 M2

玄関
6.21 M2

収納棚

車庫
92.75 M2

安曇野市消防ポンプ車

安曇野市可搬ポンプ積載車

IH調理器具

防火設備※
認定番号：EB-2197
網入複層（型・透明）

防火設備※
認定番号：EB-2170
網入複層（型・透明）

防火設備※
防火ドア認定番号：
外引込み 無採光
EB-2869-1

水圧解錠装置付

53930.8 mm

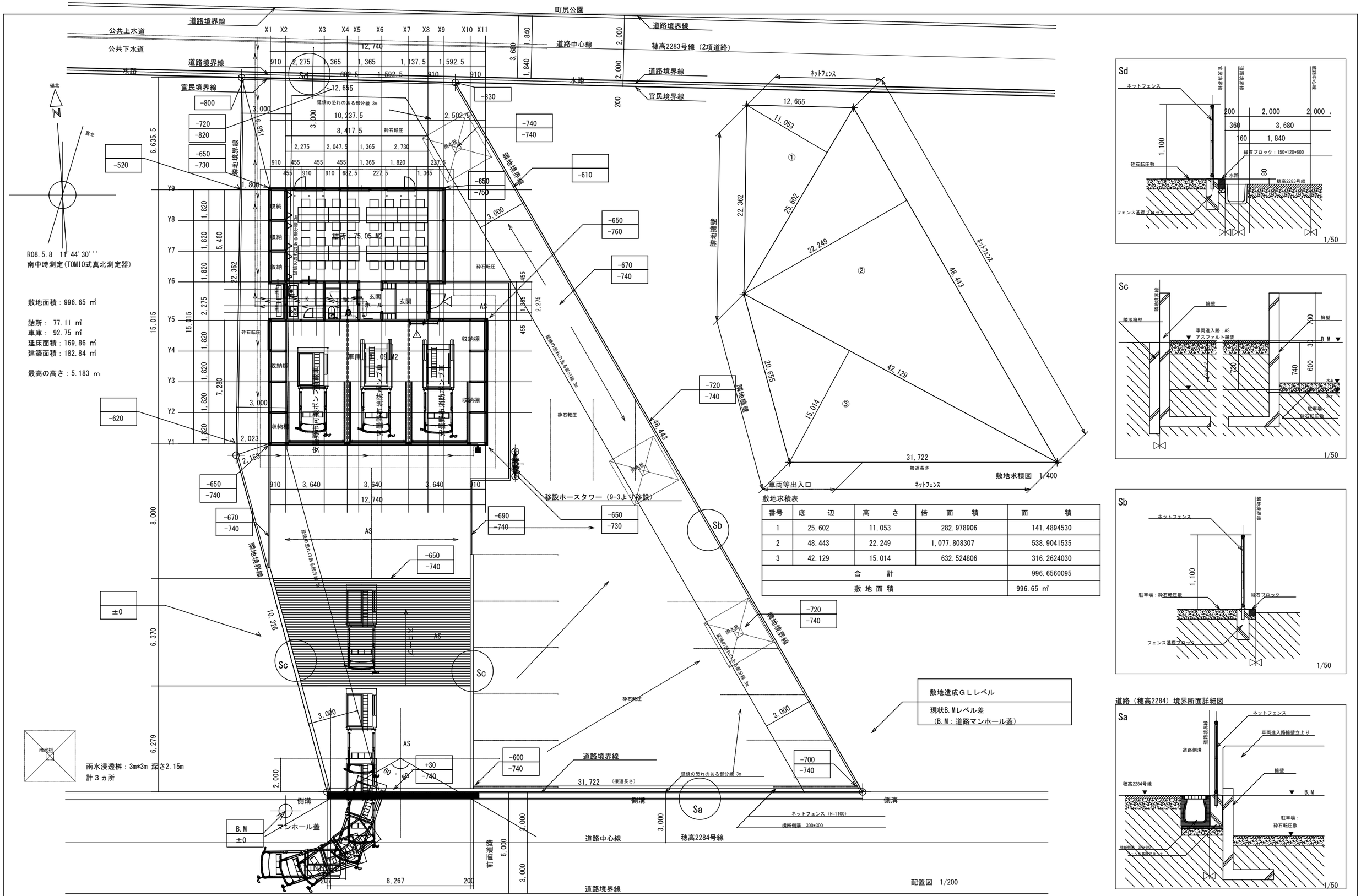
k1 k2 k3 k4 k5

詰所 77.05 M2

② 玄関

車庫 92.75 M2

PR NAME	令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	案内図・平面図・求積図	DATA	20260313	SCALE 1/100	DW NO. A-08



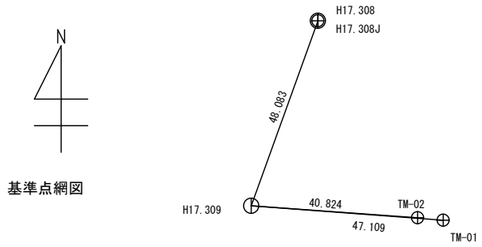
敷地求積表

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	25.602	11.053	282.978906	141.4894530
2	48.443	22.249	1,077.808307	538.9041535
3	42.129	15.014	632.524806	316.2624030
合　計				996.6560095
敷地面積				996.65 ㎡

道路（穂高2284）境界断面詳細図

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	配置図・敷地求積図	20260430	1/200 1/400・1/50	A-09

地番	~~A　5638-2~~ B　5638-6	地積測量図
土地の所在	安曇野市穂高	



基準点網図

【作成者のﾊﾟﾗﾒｰﾀ変換による：測地成果2011】

測量の基準			既知点の名称及び座標値				
測地系	既知点	座標変換	点名	X座標	Y座標	標識	備考
世界	図根多角点	有	H17.309	38,139.885	-55,292.400	金属標	器械点
世界	図根多角点	有	H17.308	38,185.127	-55,276.063	金属標	後視点
世界	登記基準点	無	H17.308J	38,185.110	-55,276.070	金属標	TS値
世界	登記基準点	無	TM-01	38,136.350	-55,245.424	金属標	TS値
世界	登記基準点	無	TM-02	38,136.963	-55,251.681	金属標	TS値

平面直角座標による求積表

地番	A　5638-2					
筆界点	X座標（Xn）	Y座標（Yn）	点間距離	境界標種別	座標値種別	備考
sPL233	38,182.061	-55,285.848	18.533	金属プレート標	実測値	TS値
CC36	38,180.316	-55,267.397	31.994	コンクリート標	実測値	TS値
CC35	38,151.939	-55,252.621	7.996	コンクリート標	実測値	TS値
P76	38,144.750	-55,249.120	1.142	プラスチック標	実測値	TS値
P75	38,143.626	-55,248.917	5.833	プラスチック標	実測値	TS値
P74	38,137.798	-55,248.673	10.337	プラスチック標	実測値	TS値
sP73	38,138.382	-55,258.993	0.357	プラスチック標	実測値	TS値
P72	38,138.707	-55,259.141	0.862	プラスチック標	実測値	TS値
P71	38,138.456	-55,259.966	0.352	プラスチック標	実測値	TS値
PP28	38,138.108	-55,260.017	4.758	プラスチック標	実測値	TS値
sALP234	38,138.447	-55,264.763	48.443	プラスチック標	実測値	TS値
sPL233	38,182.061	-55,285.848		金属プレート標	実測値	TS値
計算方法	２Ｆ＝Σ｛Xn（Yn＋1　－　Yn－1）｝					
倍面積	1557.141659					
面積（㎡）	778.5708295					
地積	778　㎡					

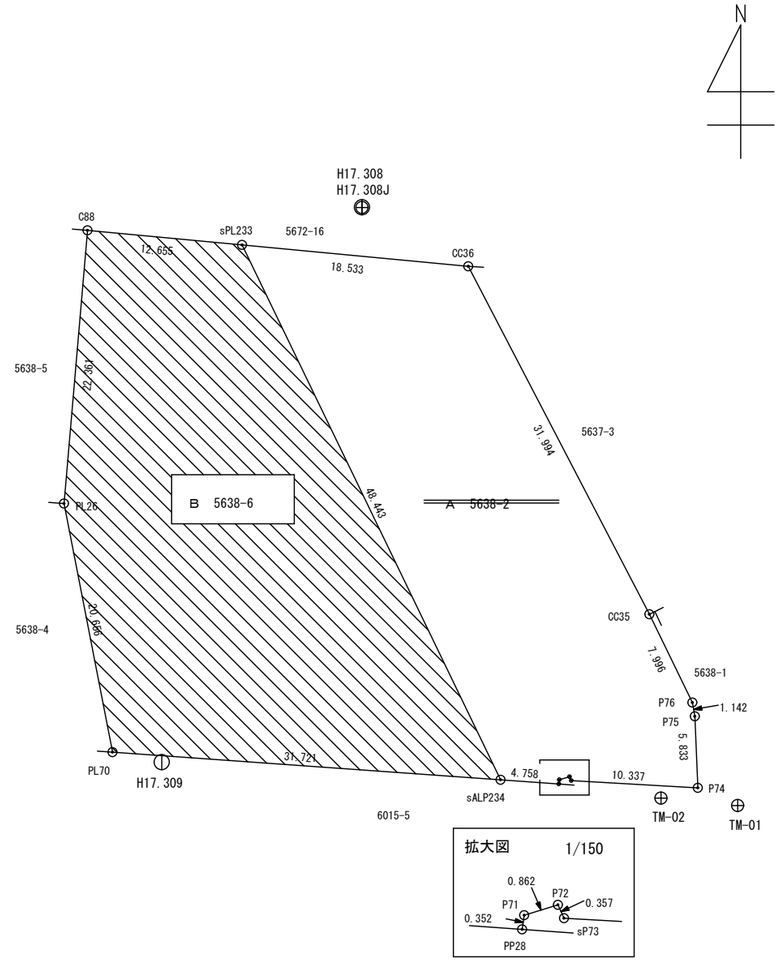
地番	B　5638-6					
筆界点	X座標（Xn）	Y座標（Yn）	点間距離	境界標種別	座標値種別	備考
C88	38,183.251	-55,298.447	12.655	コンクリート標	実測値	TS値
sPL233	38,182.061	-55,285.848	48.443	金属プレート標	実測値	TS値
sALP234	38,138.447	-55,264.763	31.721	プラスチック標	実測値	TS値
PL70	38,140.699	-55,296.404	20.656	金属プレート標	実測値	TS値
PL26	38,160.972	-55,300.365	22.361	金属プレート標	実測値	TS値
C88	38,183.251	-55,298.447		コンクリート標	実測値	TS値
計算方法	２Ｆ＝Σ｛Xn（Yn＋1　－　Yn－1）｝					
倍面積	1993.319365					
面積（㎡）	996.6596825					
地積	996　㎡					

合計面積　　1775.2305120 ㎡

☆筆界点名の先頭に"s"のあるものは新設標識である

測量年月日	令和　7 年　10 月　10 日
座標系	Ⅷ系

「令和6年能登半島地震のため、任意座標として取り扱うものである」



PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	敷地現況図・求積表（B 5638-6　地積測量図）	20260710	1/500	A-10

敷地面積：996.65 ㎡

詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m

R08.5.8 11°44'30'''
南中時測定(TOMI0式真北測定器)

雨水桝

雨水浸透桝：3m*3m 深さ2.15m
計３ヵ所
（※詳細は計算書による）

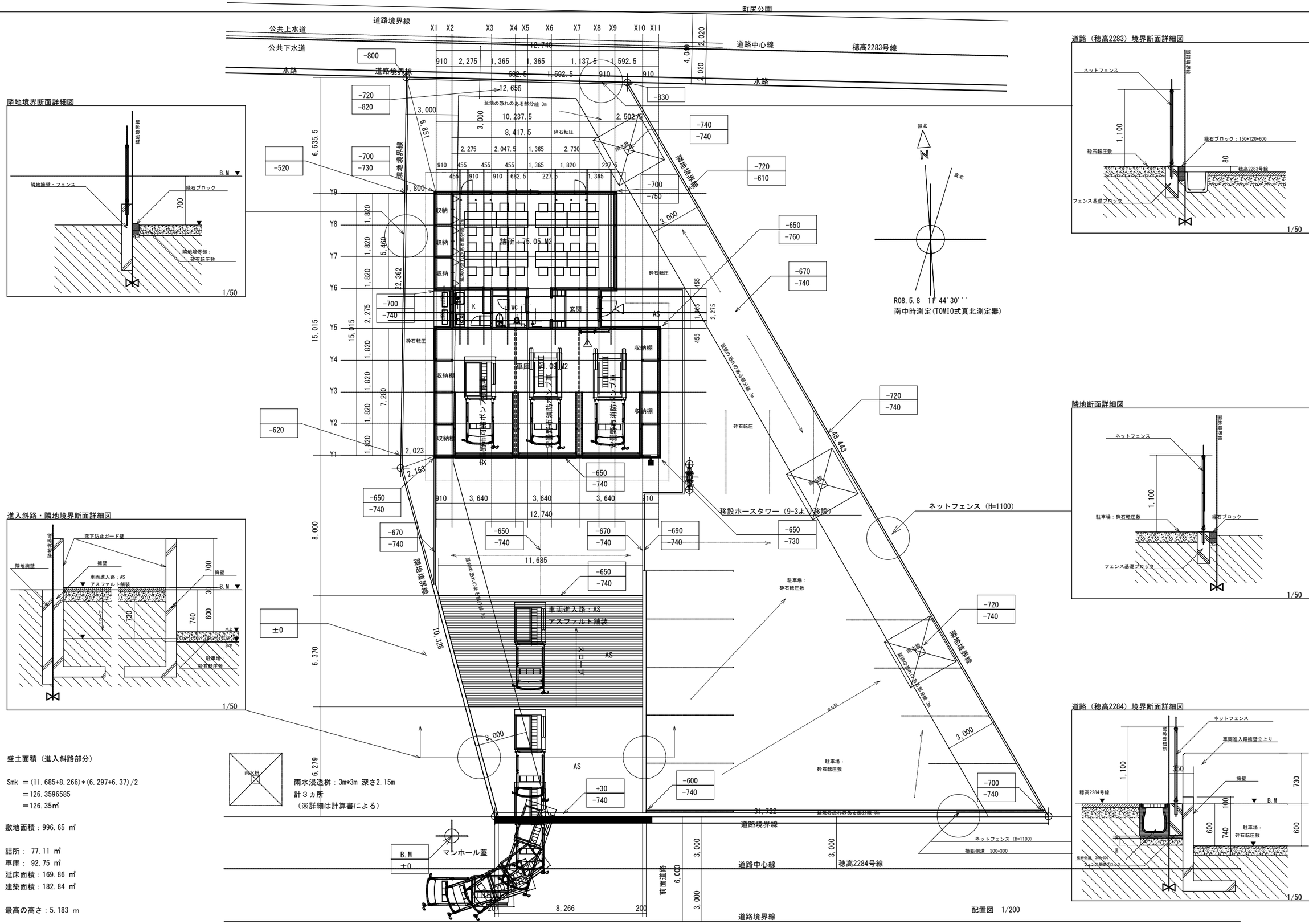
配置図 1/200

1/50

1/50

1/50

PR NAME	令和８年度（債務負担行為） 安芸野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	土地利用計画図1	DATA	20260430	SCALE	1/200	DW NO.	A-11



隣地境界断面詳細図

進入斜路・隣地境界断面詳細図

道路（穂高2283）境界断面詳細図

隣地断面詳細図

道路（穂高2284）境界断面詳細図

盛土面積（進入斜路部分）

Smk ＝(11.685+8.266)*(6.297+6.37)/2
＝126.3596585
＝126.35㎥

敷地面積：996.65 ㎡

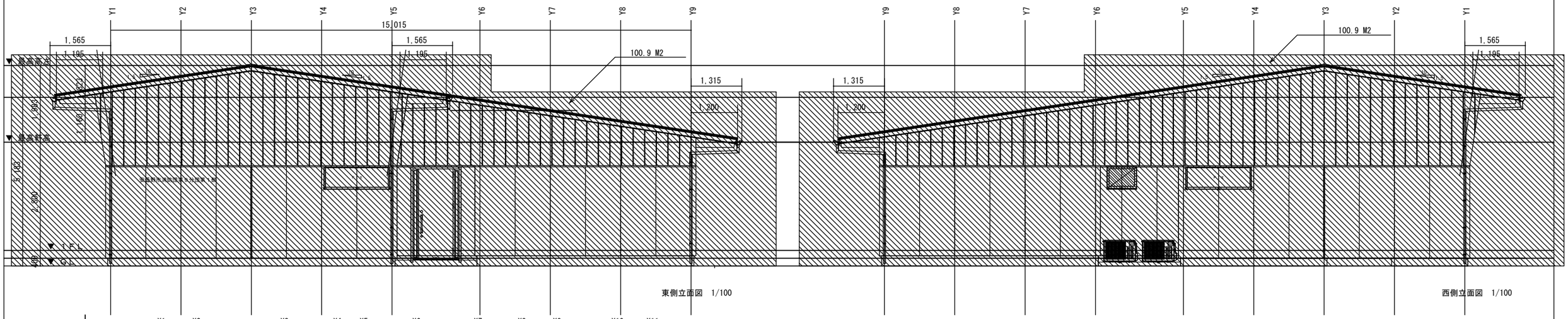
詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m

雨水浸透桝：3m*3m 深さ2.15m
計３ヵ所
（※詳細は計算書による）

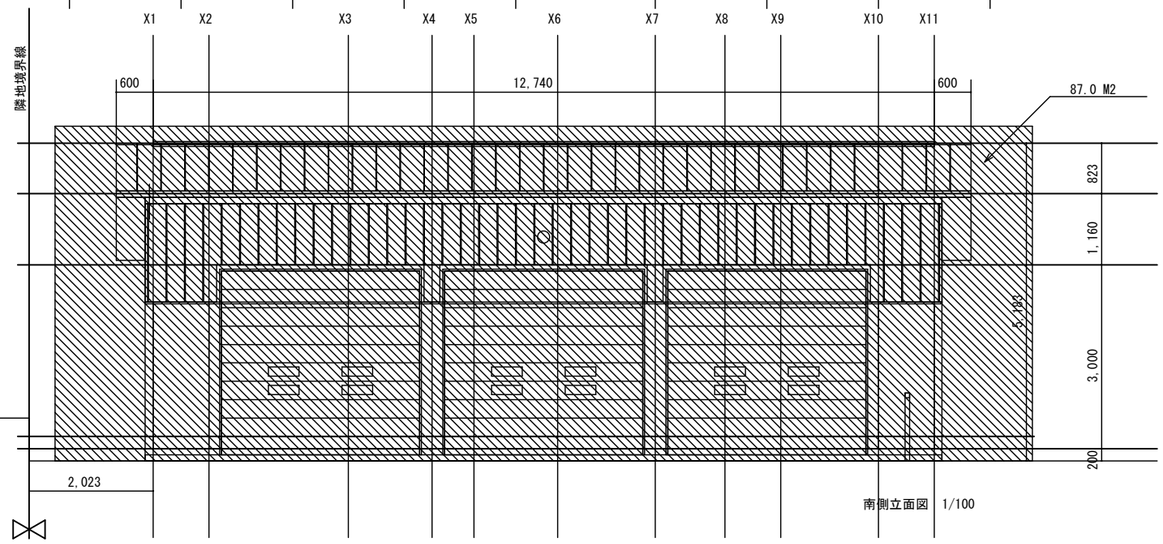
配置図 1/200

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	土地利用計画図2	20260430	1/200 1/50	A-12

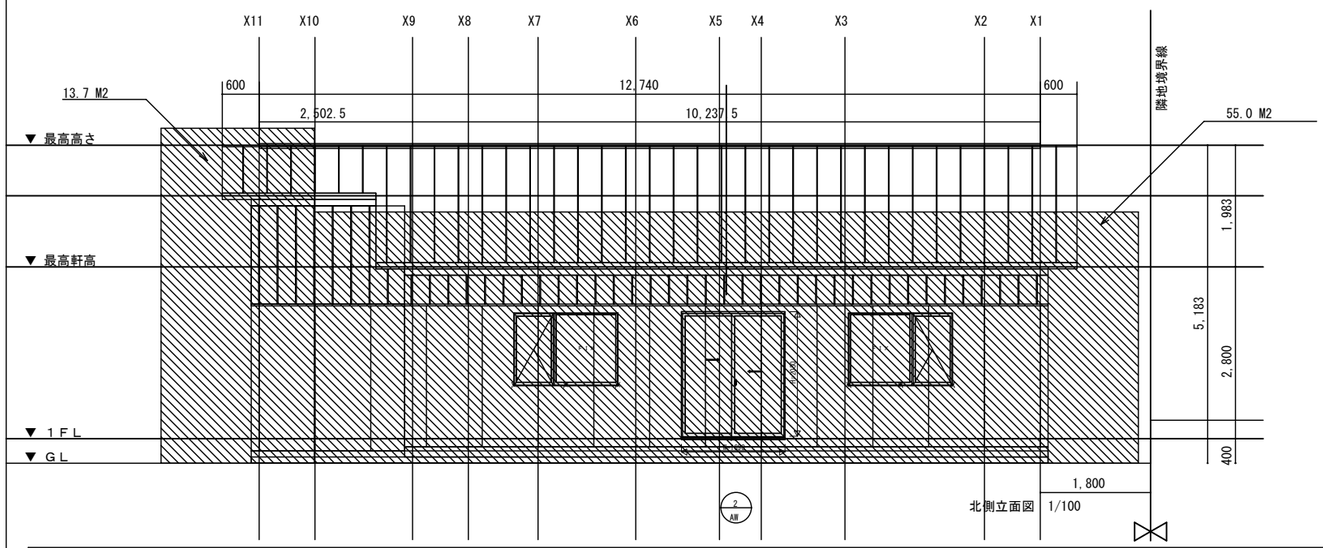


東側立面図　1/100

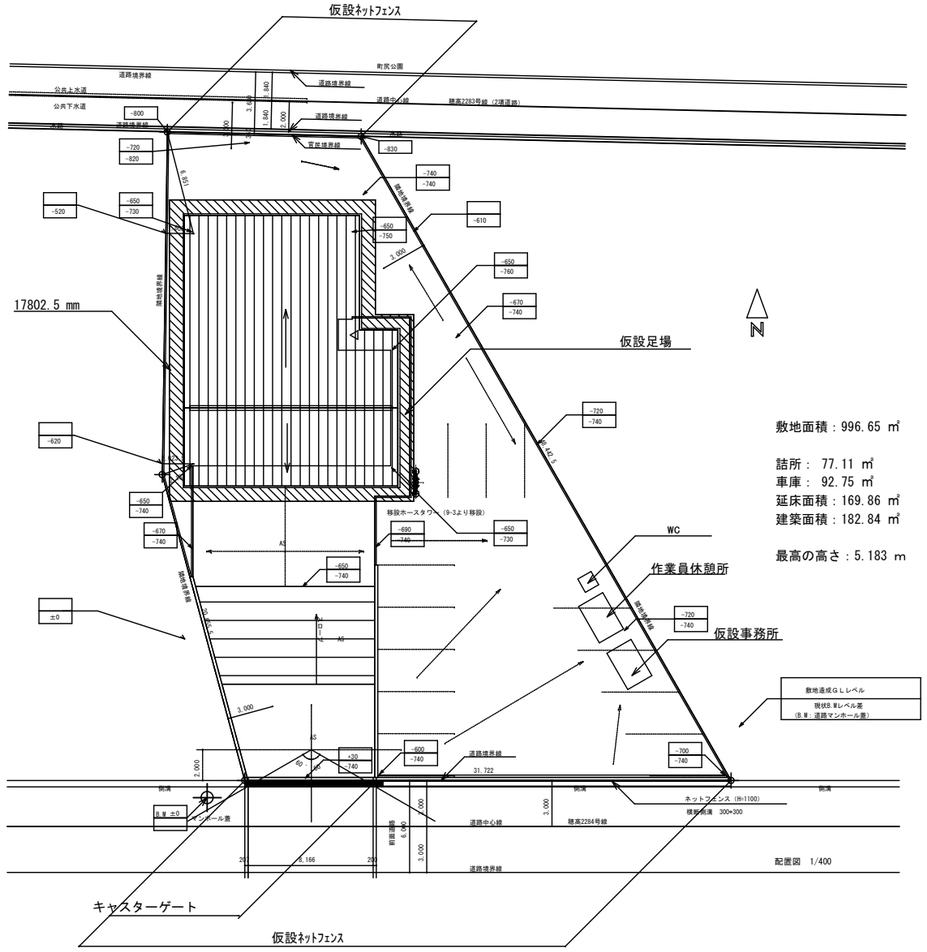
西側立面図　1/100



南側立面図　1/100



北側立面図　1/100

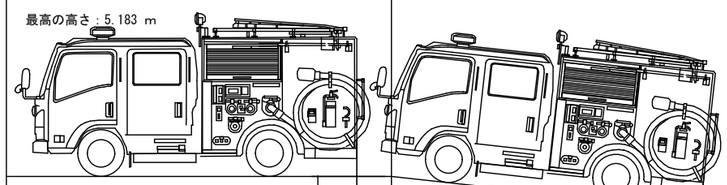


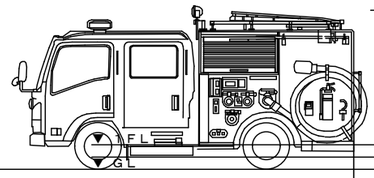
PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	仮設計画・足場図	DATA	20260516	SCALE 1/100	DW NO. A-13

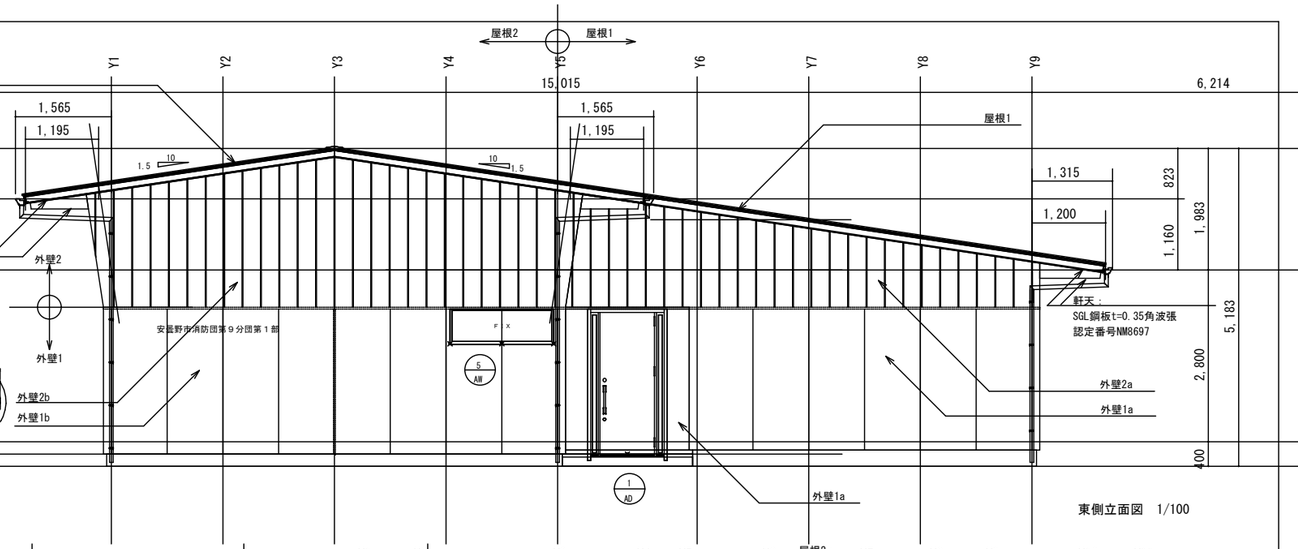
敷地面積：996.65 ㎡

詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5,183 ㎜

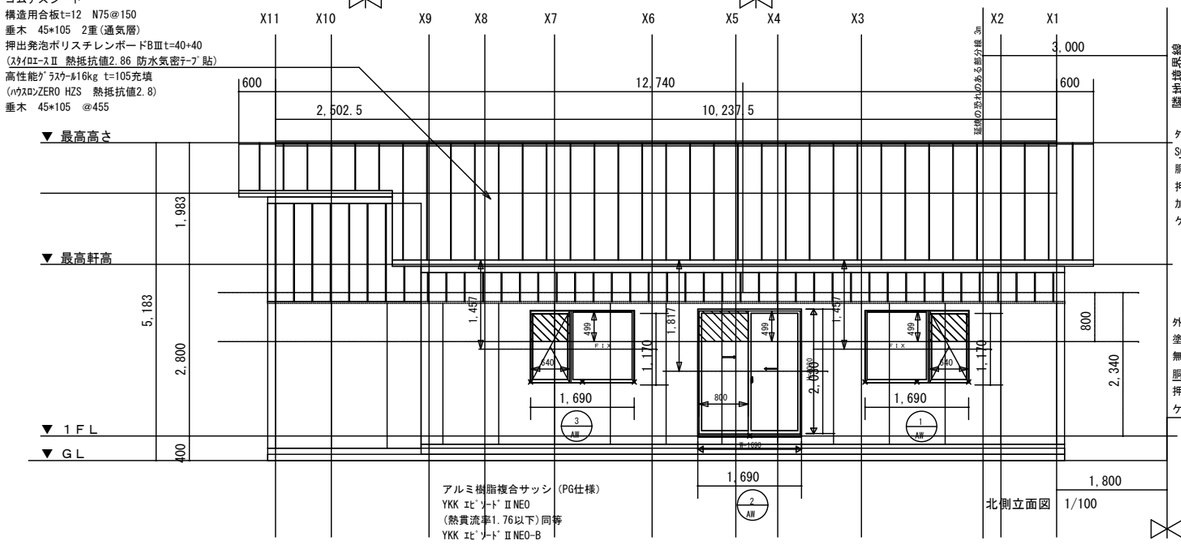






東側立面図 1/100

屋根1：
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350 同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12 N75@150
垂木 45*105 2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40+40
(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 熱抵抗値2.86 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS 熱抵抗値2.8)
垂木 45*105 @455



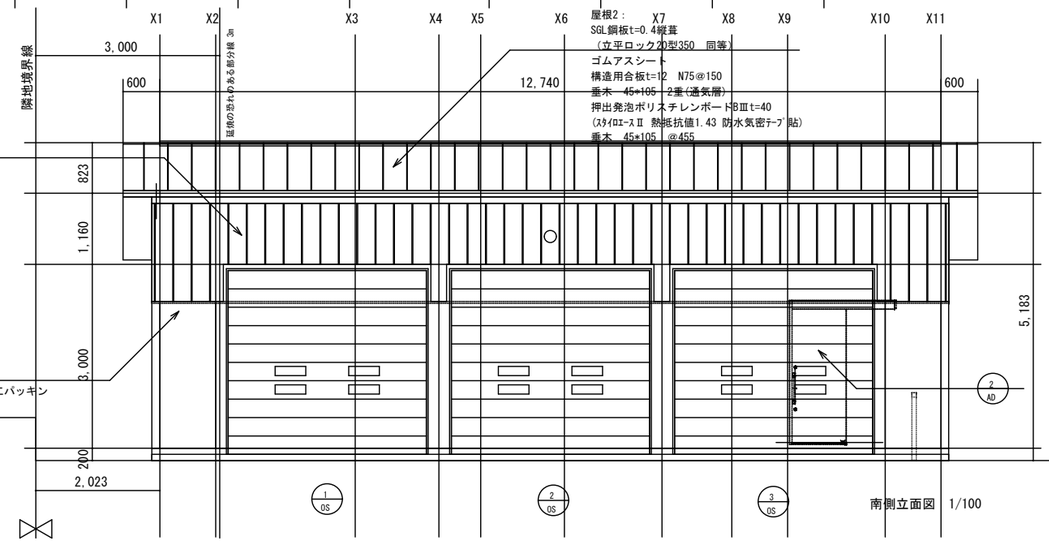
アルミ樹脂複合サッシ（PG仕様）
YKK ｴﾋﾞｿｰﾄﾞⅡNEO
（熱貫流率1.76以下）同等
YKK ｴﾋﾞｿｰﾄﾞⅡNEO-B
（熱貫流率1.9以下）同等

北側立面図 1/100

隣地境界線

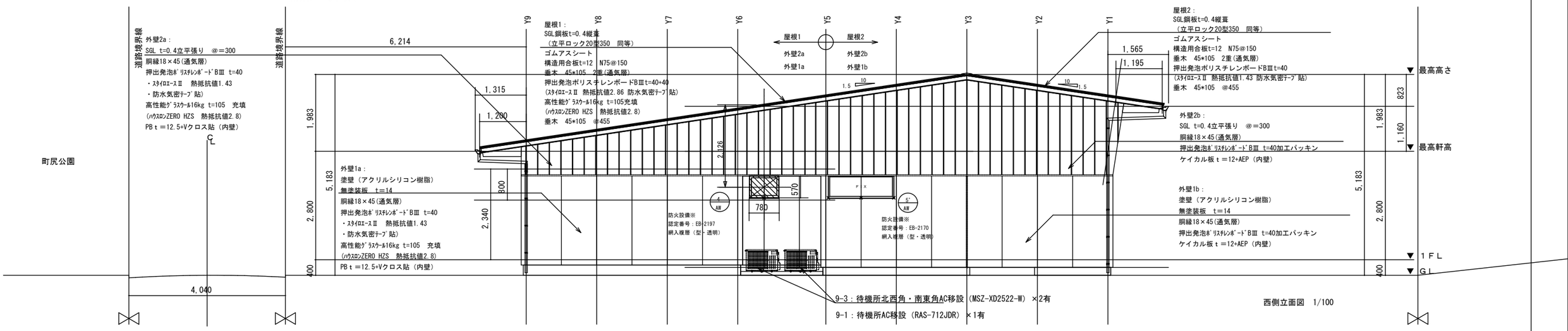
外壁2b：
SGL t=0.4立平張り @＝300
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ t=40
加工パッキン
ケイカル板ｔ＝12+AEP（内壁）

外壁1b：
塗壁（アクリルシリコン樹脂）
無塗装板 t＝14
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ t=40加工パッキン
ケイカル板ｔ＝12+AEP（内壁）



屋根2：
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350 同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12 N75@150
垂木 45*105 2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40
(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 熱抵抗値1.43 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
垂木 45*105 @455

南側立面図 1/100



外壁2a：
SGL t=0.4立平張り @＝300
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ t=40
・ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 熱抵抗値1.43
・防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105 充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS 熱抵抗値2.8)
PBｔ＝12.5+Vクロス貼（内壁）

外壁1a：
塗壁（アクリルシリコン樹脂）
無塗装板 t＝14
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ t=40
・ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ 熱抵抗値1.43
・防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105 充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS 熱抵抗値2.8)
PBｔ＝12.5+Vクロス貼（内壁）

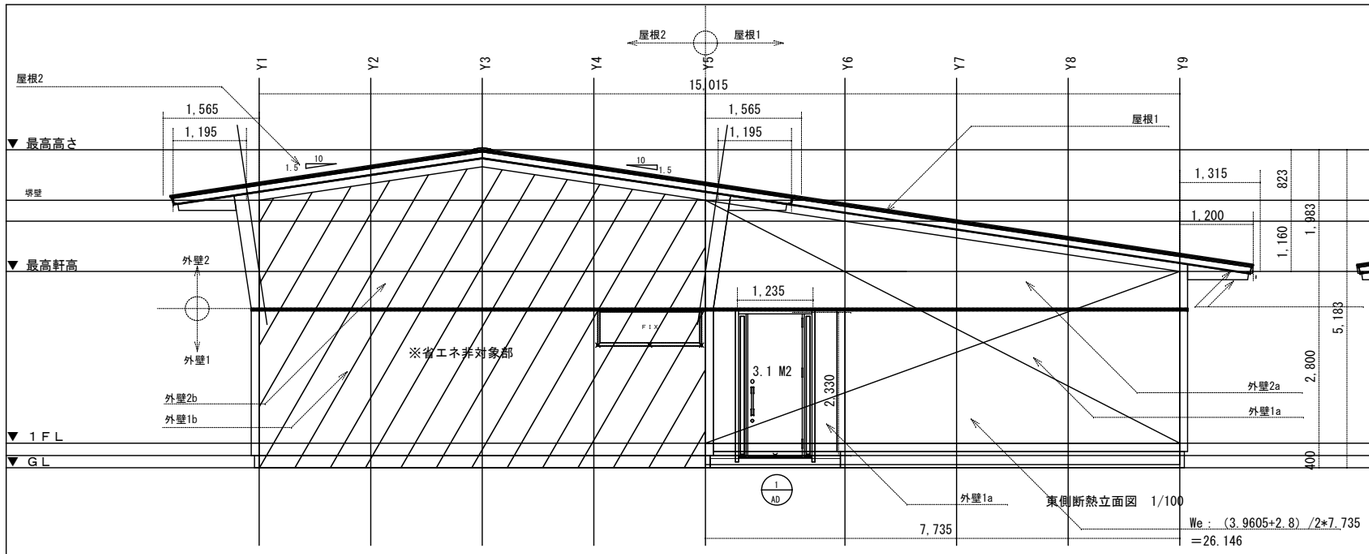
防火設備※
認定番号：EB-2197
網入複層（型・透明）

防火設備※
認定番号：EB-2170
網入複層（型・透明）

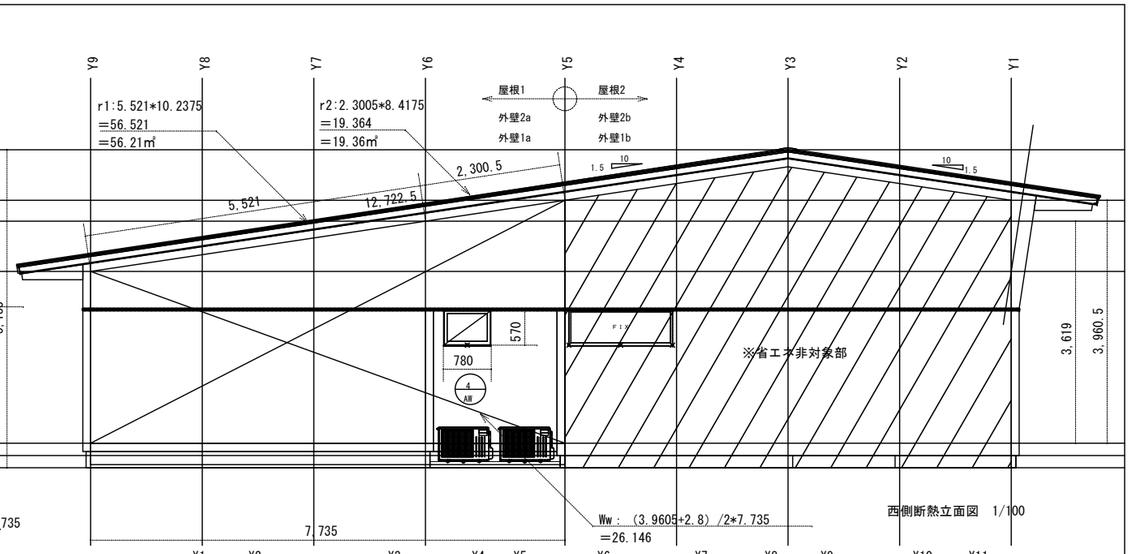
9-3：待機所北西角・南東角AC移設（MSZ-XD2522-W）×2有
9-1：待機所AC移設（RAS-712JDR）×1有

西側立面図 1/100

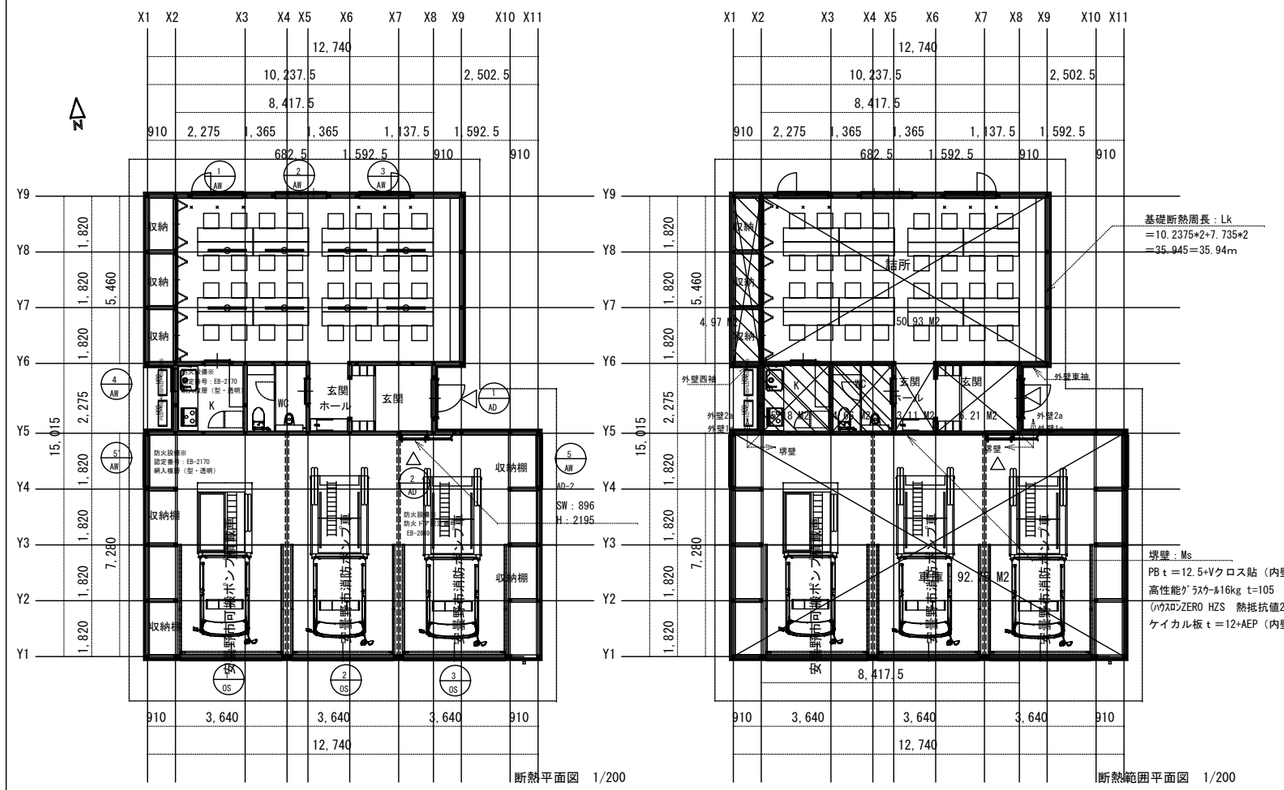
PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	立面図	20260516	1/100	A-14



東側断熱立面図　1/100



西側断熱立面図　1/100



断熱平面図　1/200

基礎断熱周長：Lk
＝10.2375*2+7.735*2
＝35.945＝35.94m

堺壁：Ms
PBｔ＝12.5+Vクロス貼（内壁：詰所）
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105　充填
（ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8）
ケイカル板ｔ＝12+AEP（内壁：車庫）

断熱範囲平面図　1/200

非空調コア部

LED照明器具（26.6w）

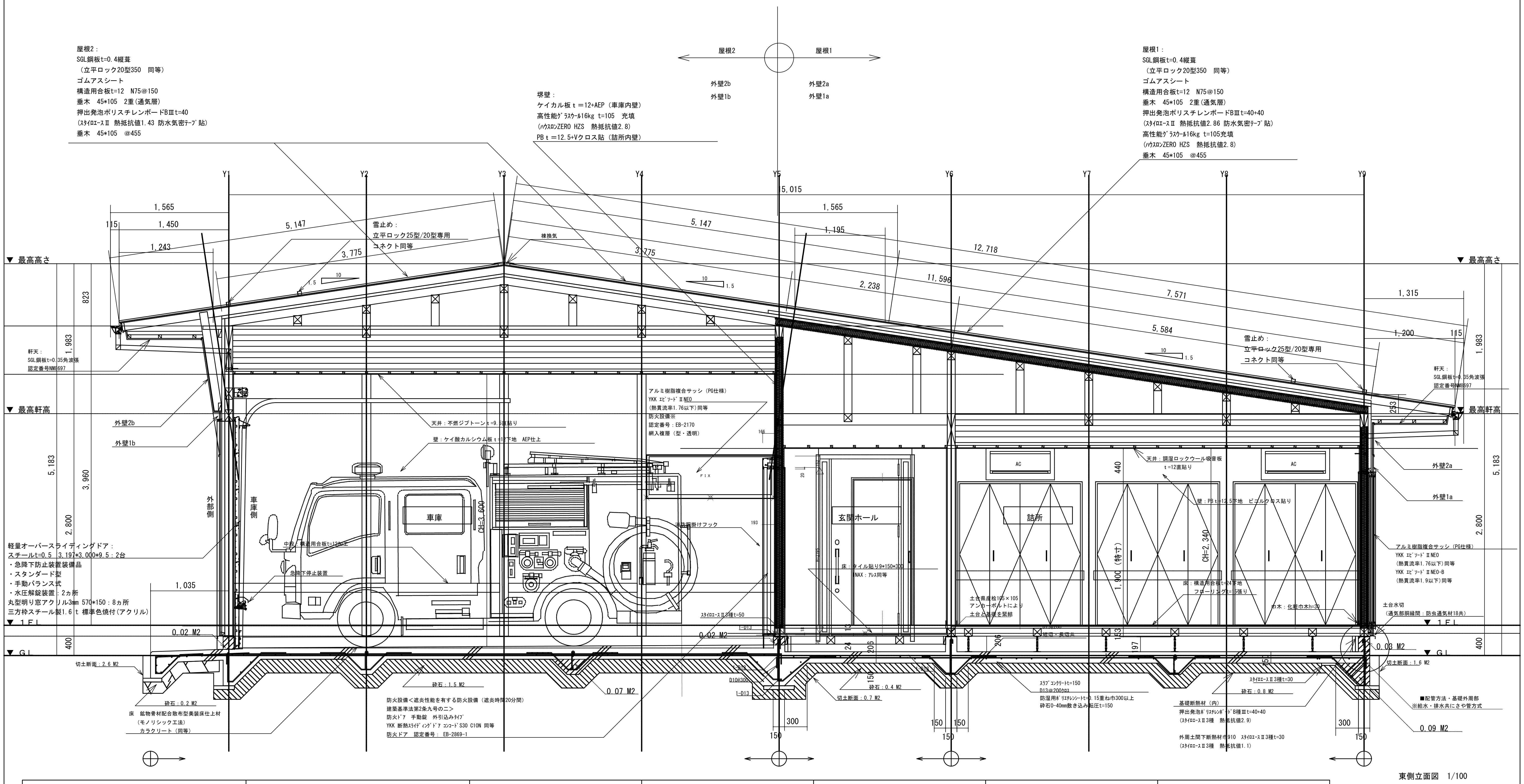
詰所部床面積：75.05 M2

南側断熱立面図　1/100

北側断熱立面図　1/100

屋根断熱面積	r1:5.521*10.2375 ＝56.521 ＝56.21㎡ r2:2.3005*8.4175 ＝19.364 ＝19.36㎡			r： ＝75.885 ＝75.88㎡
壁断熱面積	We：（3.9605+2.8）/2*7.735 ＝26.146 Ww：（3.9605+2.8）/2*7.735 ＝26.146 Ws1：3.619*0.91 ＝3.293 Ws2：3.619*0.91 ＝3.293 Wn：2.8*10.2375 ＝28.665		W1： ＝87.543 ＝87.54㎡	Ms：3.9605*8.418 ＝33.339	Ms： ＝33.339 ＝33.33㎡

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	省エネ計算用求積図	DATA	SCALE	DW NO.
				20260516	1/100	A-15



屋根1 :
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350　同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12　N75@150
垂木　45*105　2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40+40
(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ　熱抵抗値2.86 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8)
垂木　45*105　@455

屋根2 :
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350　同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12　N75@150
垂木　45*105　2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40
(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ　熱抵抗値1.43 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
垂木　45*105　@455

外壁1a :
塗壁（アクリルシリコン樹脂）
無塗装板　t=14
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ　t=40
・ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ　熱抵抗値1.43
・防水気密ﾃｰﾌﾟ貼）
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105　充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8)
PBｔ＝12.5+Vクロス貼(内壁)

外壁1b :
塗壁（アクリルシリコン樹脂）
無塗装板　t=14
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ　t=40
加工パッキン
ケイカル板ｔ＝12+AEP（内壁）

外壁2a :
SGL　t=0.4立平張り　@＝300
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ　t=40
・ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ　熱抵抗値1.43
・防水気密ﾃｰﾌﾟ貼）
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105　充填
(ﾊｳｽﾛﾝZERO HZS　熱抵抗値2.8)
PBｔ＝12.5+Vクロス貼（内壁）

外壁2b :
SGL　t=0.4立平張り　@＝300
胴縁18×45(通気層)
押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞBⅢ　t=40
加工パッキン
ケイカル板ｔ＝12+AEP（内壁）

軒天 :
SGL鋼板t=0.35角波張
認定番号NM8697

アルミ樹脂複合サッシ（PG仕様）
YKK ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO
(熱貫流率1.76以下)同等
YKK ｴﾋﾟｿｰﾄﾞⅡNEO-B
(熱貫流率1.9以下)同等

敷地面積：996.65 ㎡

詰所：　77.11 ㎡
車庫：　92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	矩計図	20250527	1/50	A-16

敷地面積：996.65 ㎡

詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m

境界ブロック：既成コンクリート製

通路部：アスファルト舗装

床： タイル貼り9*150*300 INAX：ﾌﾛｽ同等

TV置場

ﾊﾟｲﾝ集成材カウンター t=30

カウンター足 ﾊﾟｲﾝ集成材t=30

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

床： ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15*303*1818 張り

詰所

FL±0

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

AC移設：MSZ-XD2522-W×2有

床： ｶﾗｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15*303*1818 張り

収納 1.66 M2

収納 1.66 M2

収納 1.66 M2

玄関

GL±0

GL+125

GL+250

GL+262

GL+200

床： タイル貼り9*150*300 INAX：ﾌﾛｽ同等

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

GL+293

GL+400
(FL±0)

手洗い

GL+140

FL±0

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

WC

AC移設：MSZ-XD2522-W×2有

床： CF t=2.3 貼り

壁：PBt=12.5下地 ビニルクロス貼り

K

AC移設：MSZ-XD2522-W×2有

FL±0

壁：PBt=12.5下地
キッチンパネルt=6貼り

流し台：システムキッチン（電化仕様）

中段：構造用合板t=12加工

収納棚

収納棚

収納棚

収納棚

中段：構造用合板t=12加工

床 鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
（モノリシック工法）カラクリート 同等）

壁：ケイ酸カルシウム板 t＝12 AEP仕上

車庫：91.09M2

軽量オーバースライディングドア：
スチールt=0.5 3,197*3,000*9.5：2台
・急降下防止装置装備品
・スタンダード型
・手動バランス式
・水圧解錠装置：2ヵ所
丸型明り窓アクリル3mm 570*150 9ヵ所
三方枠スチール製1.6 t 標準色焼付(アクリル)

床 鉱物骨材配合散布型美装床仕上材
（モノリシック工法）カラクリート 同等）

壁：ケイ酸カルシウム板 t＝12 AEP仕上

中段：構造用合板t=12加工

収納棚

収納棚

収納棚

収納棚

立水栓+排水桝

※雨水排水は浸透桝のみ
（雨水配管無し）

犬走

GL+100

GL+50

GL±0

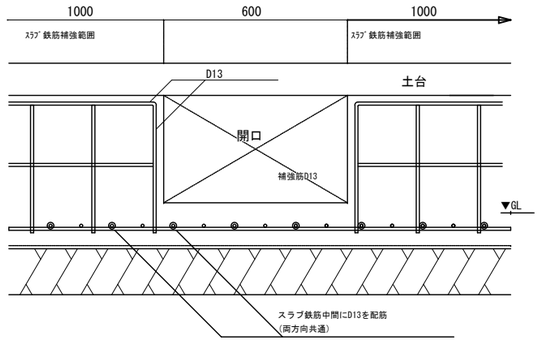
犬走

犬走

9-3詰所：待機所北西角・南東角AC移設
(MSZ-XD2522-W) ×2

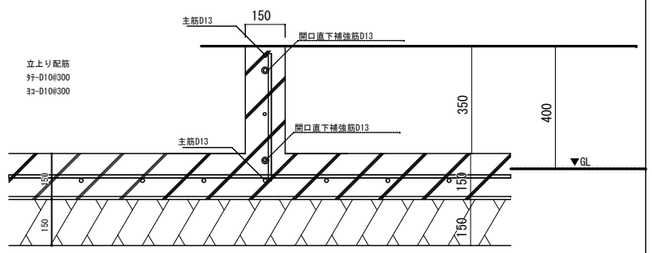
PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	平面詳細図	20260623	1/50	A-17

■人通口補強



※スラブ鉄筋補強範囲は、開口周り両方向1000mmの範囲とする

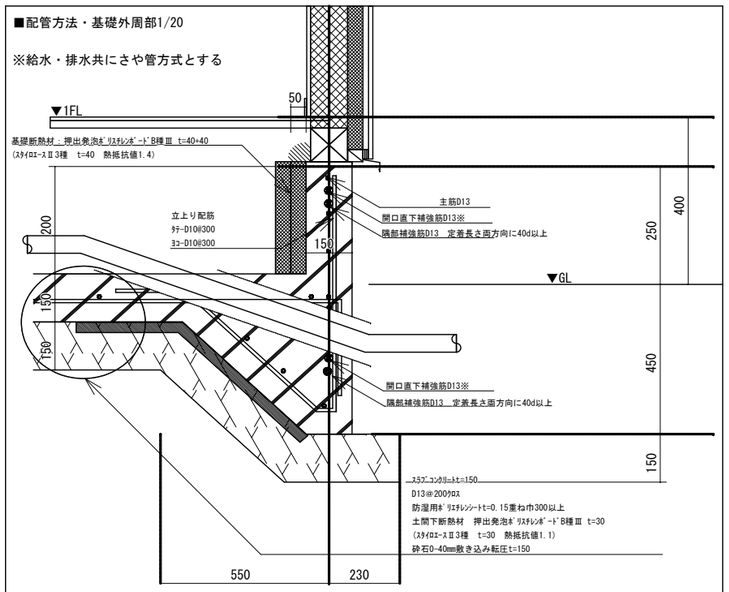
■内部



※開口直下補強筋は基礎立上り上部に開口を設ける箇所に取付ける
※鉄筋量決定は建設省告示第1347号による。

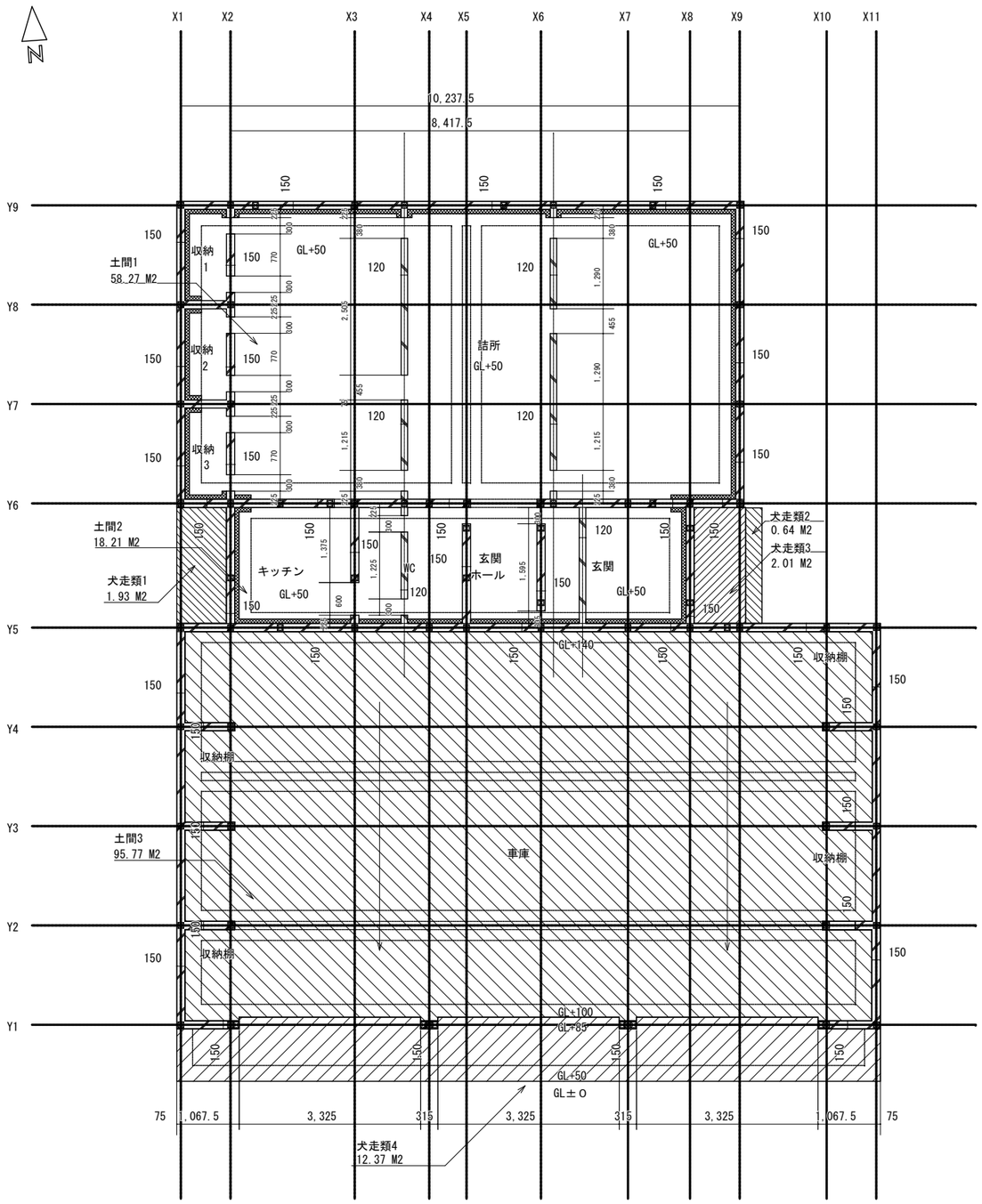
■配管方法・基礎外周部1/20

※給水・排水共にさや管方式とする



※開口直下補強筋は基礎立上り上部に開口を設ける箇所に取付ける
※鉄筋量決定は鉄筋量決定は建設省告示第1347号による。

基礎部分詳細図 1/20



0.08 M2

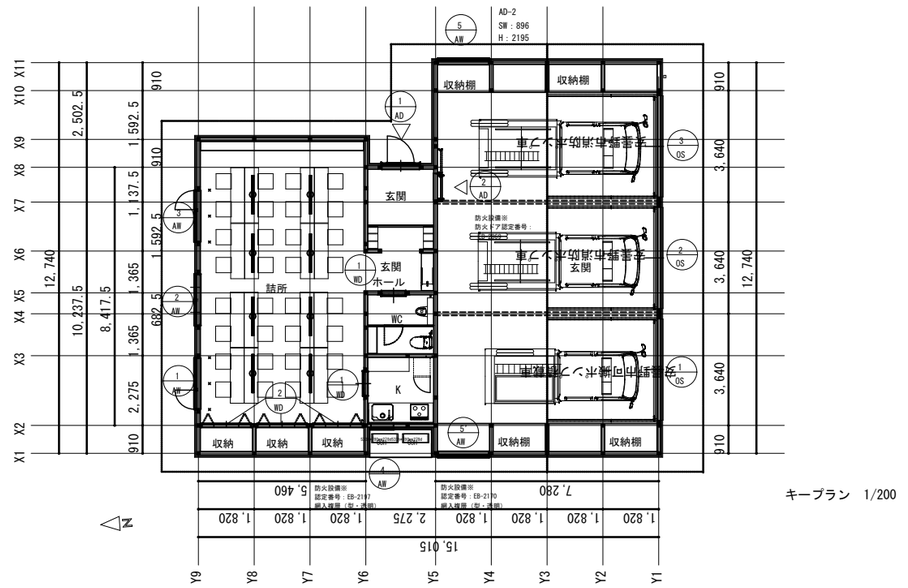
基礎伏せ図 1/100

基礎断熱材：押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞB種Ⅲ t=40+40
(ｽﾀｲﾛｴｰｽⅡ3種 t=40 熱抵抗値1.4)

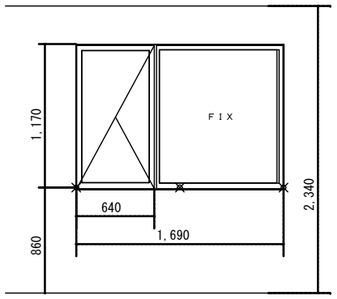
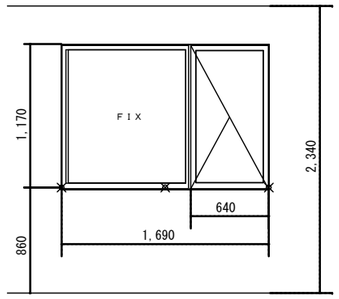
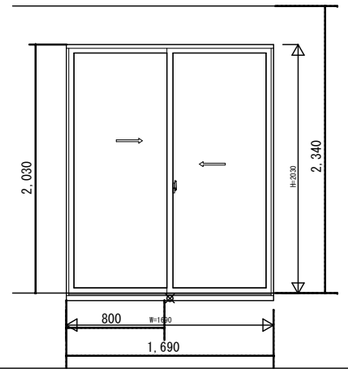
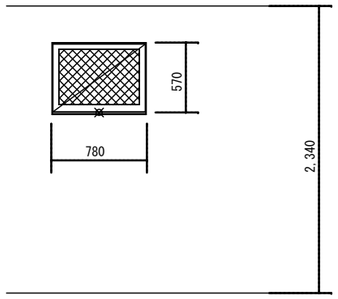
PR NAME	令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	基礎伏図・基礎部分詳細図	DATA	20260910	SCALE	1/100 1/20	DW NO.	A-18

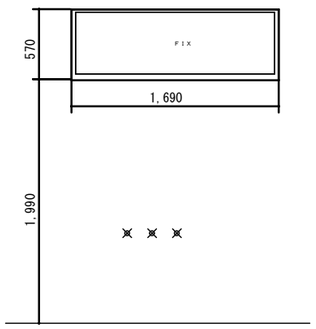
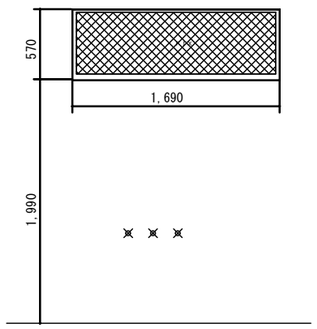
記号・数量	1 / AD　玄関	2 / AD　車庫-玄関（防火設備）
姿図	※YKK　ヴェナートD30手動錠 両袖FIX D2仕様C10 N左勝手フラット枠アングル付H2プラチナステン 3ED　同等	防火ﾄﾞｱ　手動錠　外引込みﾀｲﾌﾟ YKK 断熱ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ｺﾝｺｰﾄﾞS30 C10N 同等 防火ドア　認定番号：EB-2869 防火設備＜遮炎性能を有する防火設備（遮炎時間20分間）　建築基準法第2条九号のニ＞
形式・見込	玄関　1235*2330	断熱スライディングドア　戸厚　42（オートクローザー装備）
材料・仕上	丸型ストレートハンドルシルバーPS	アルミ製断熱タイプ　プラチナステン（鋼板・アルミ）
硝子	両袖FIX D2仕様	
金物	下枠ステンレスカバー	手動鍵　シリンダー錠(同一key)
		引戸ハンドル　シルバー色　規格金物一式
備考		

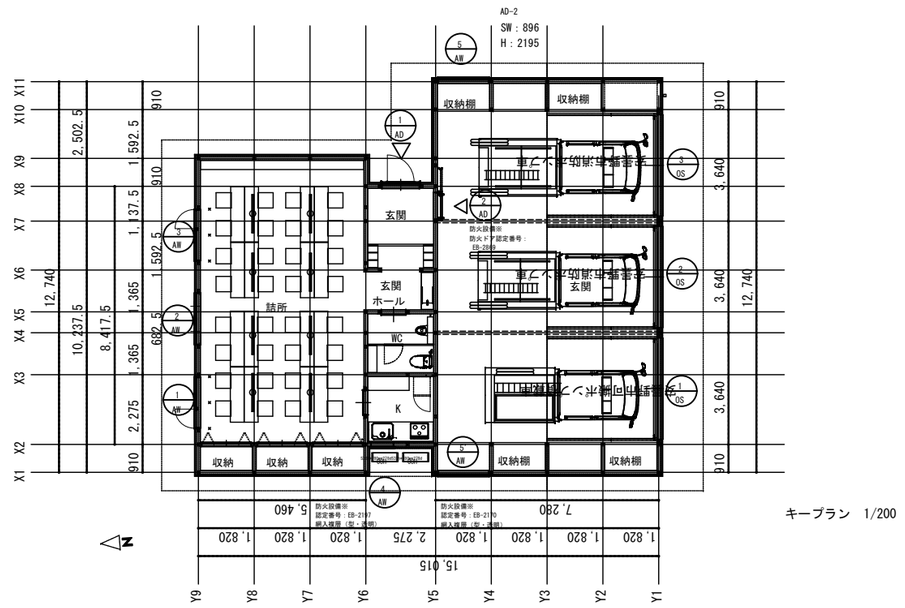
記号・数量	1 / WD　詰所　*2	2 / WD　詰所　*3
姿図	woodone：ウッディーライン　室内引戸　アウトセット方式 片引戸標準・幅狭タイプ　化粧縁なし　同等	woodone：ラシッサ　クローゼットドア 折れ戸　ピボットタイプ　ノンレール仕様　同等
形式・見込	WAK−CFA／CFE W＝1644　H＝2030	ACN−LAD／LAE W＝1644　H＝1900(特寸)
材料・仕上		
硝子		
金物		
備考		



PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	キープラン・建具表1	20231110	1/50 1/100	A-19

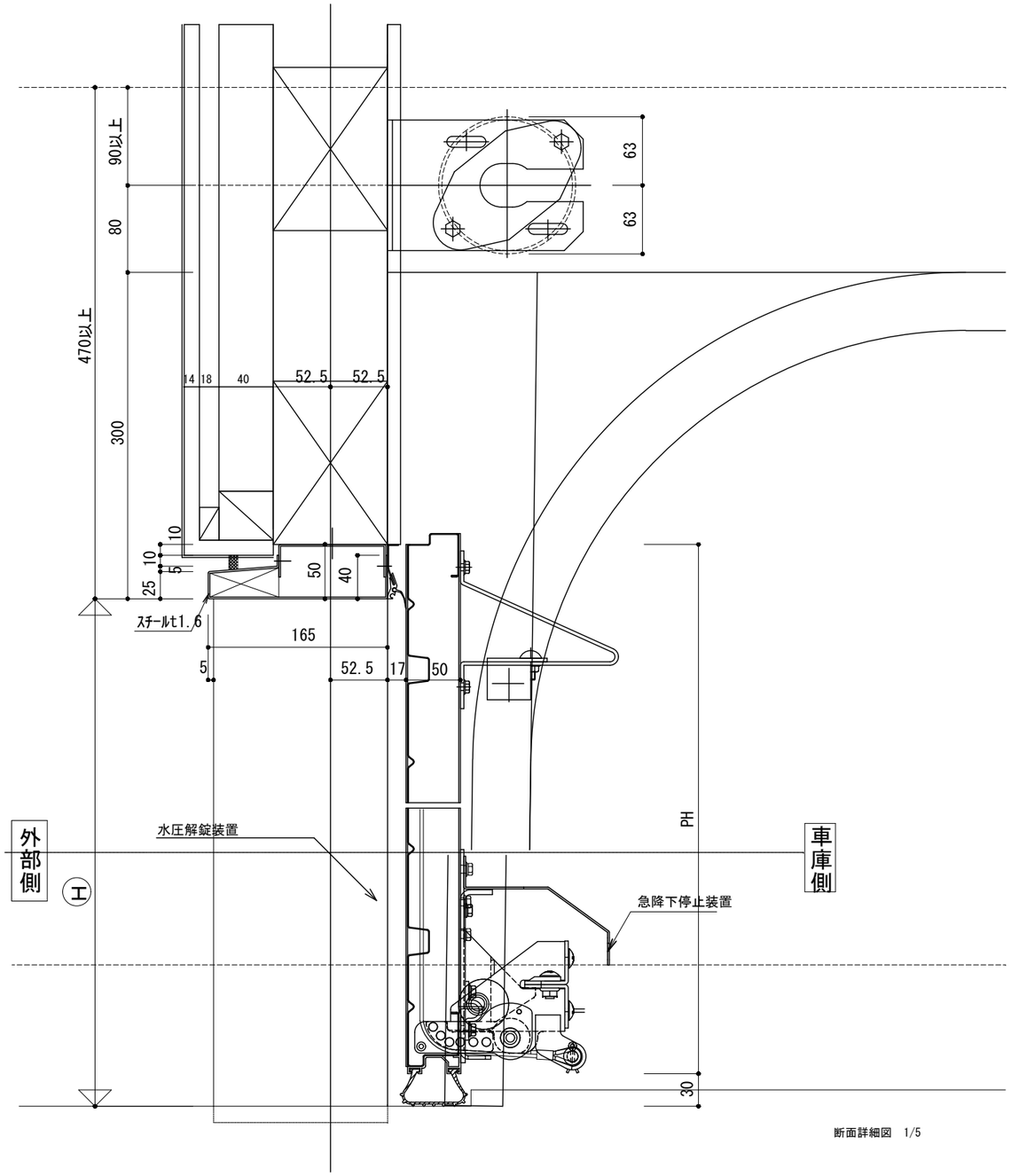
記号・数量	1 AW	3 AW	詰所	詰所	4 AW	キッチン
姿図						
形式・見込	たてすべり出し窓Fix連窓（左勝手・右勝手）	アングル付	引違土間引戸(2枚建)	アングル付	すべり出し窓（防火設備）	アングル付
材料・仕上	アルミ樹脂複合断熱サッシ		アルミ樹脂複合断熱サッシ		アルミ樹脂複合断熱サッシ	
硝子	Low-E3+A12+3/0.2/Low-E　ｱﾙｺﾞﾝｶﾞｽ　樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ		Low-E4+A11+3/0.2/Low-E　ｱﾙｺﾞﾝｶﾞｽ　樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ		6.8+A12+Low-E3　防火設備　認定番号：EB-2197	
金物						
	規格金物一式		規格金物一式		規格金物一式	
備考						

記号・数量	5 AW	5' AW	車庫
姿図			
形式・見込	FIX窓	アングル付	FIX窓（防火設備）	アングル付
材料・仕上	アルミ樹脂複合断熱サッシ		アルミ樹脂複合断熱サッシ	
硝子	Low-E3+A12+3/0.2/Low-E　ｱﾙｺﾞﾝｶﾞｽ　樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ		6.8+A12+Low-E3　防火設備　認定番号：EB-2170	
金物				
	規格金物一式		規格金物一式	
備考				

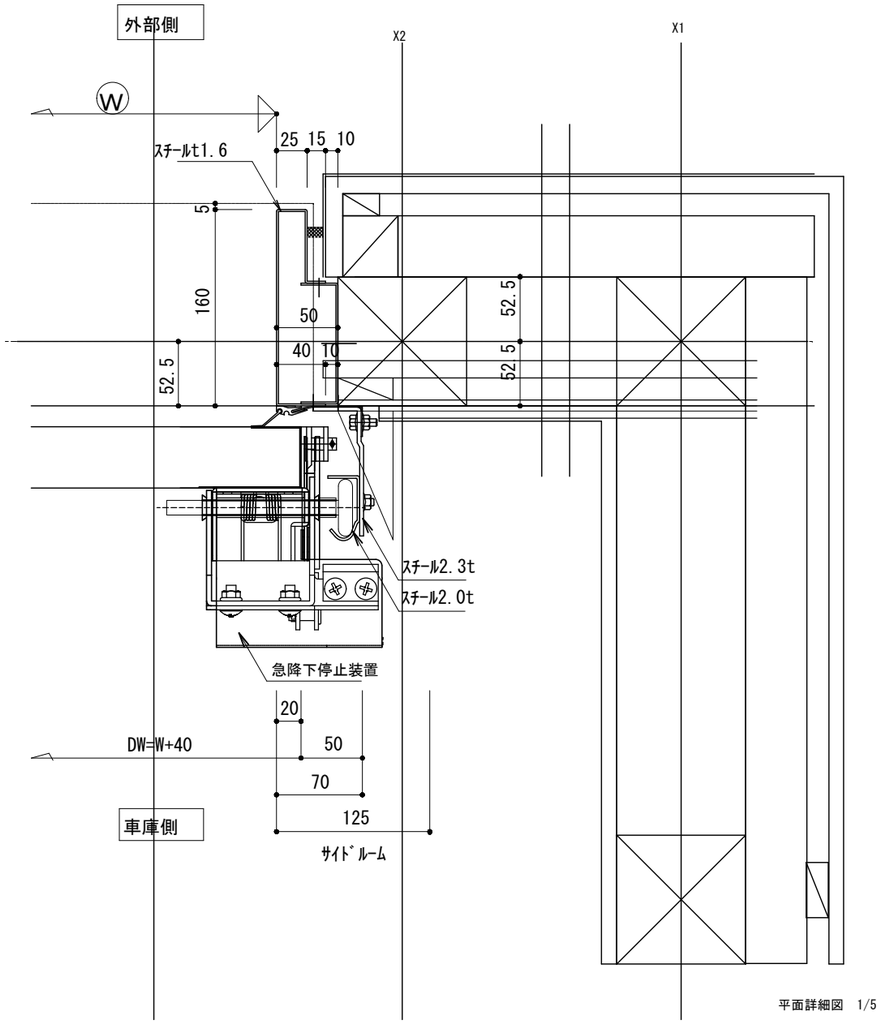


キープラン　1/200

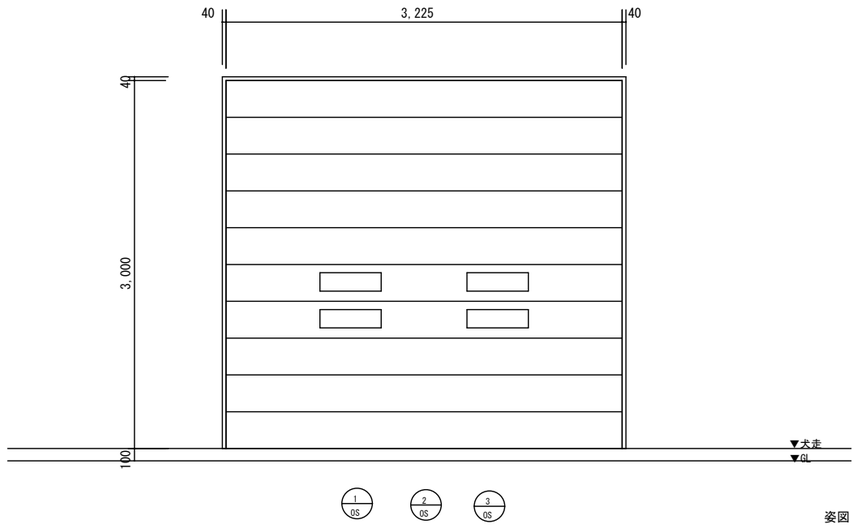
PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	キープラン・建具表2	DATA	20231110	SCALE	1/50 1/100	DW NO.	A-20



断面詳細図　1/5



平面詳細図　1/5

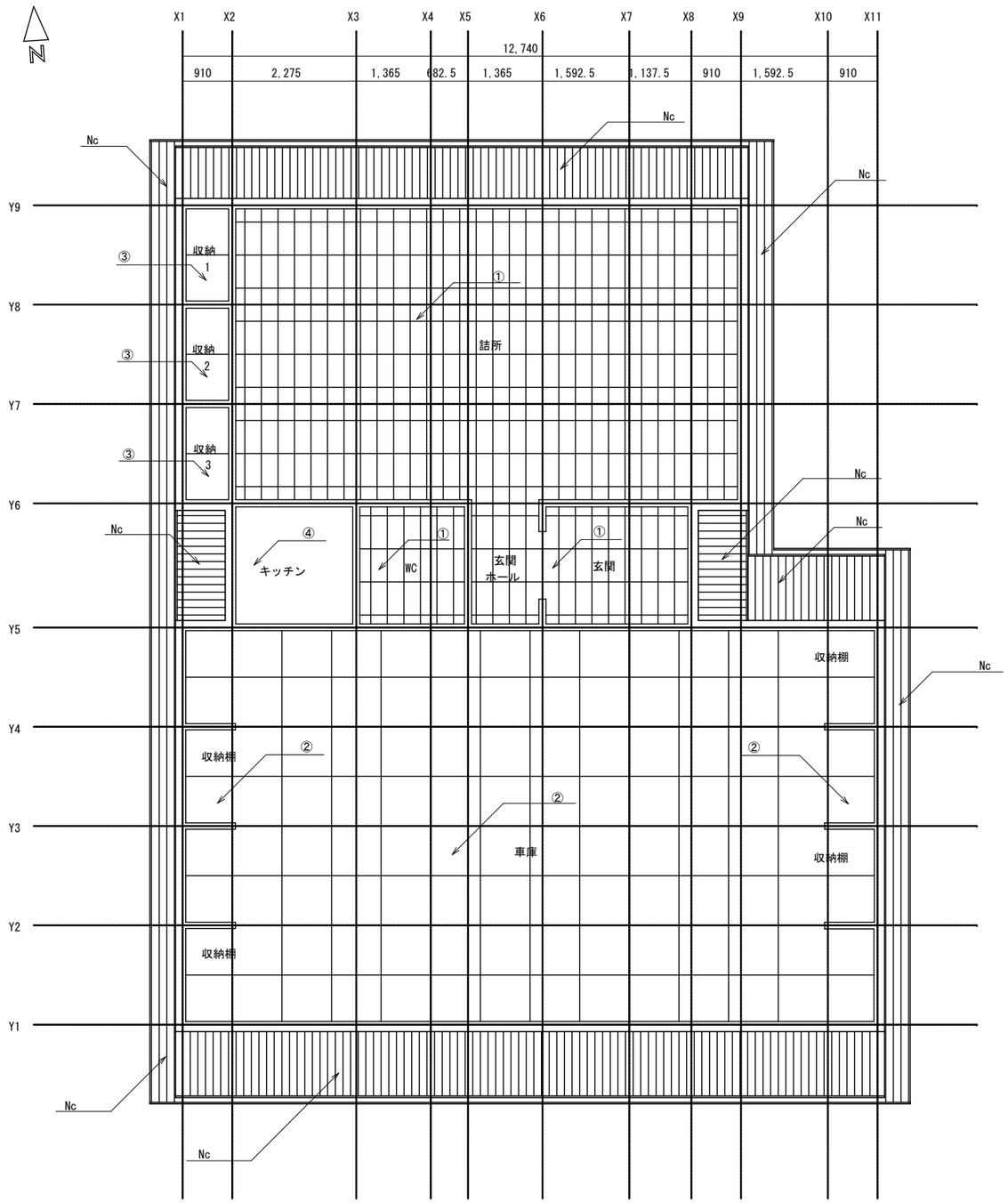


姿図　1/50

OSD-1：オーバースライディングドア　スタンダード型（文化シヤッター）参考

軽量オーバースライディングドア スチールt=0.5　3,197*3,000*9.5：3台
・急降下防止装置装備品
・スタンダード型
・手動バランス式
・水圧解錠装置：3ヵ所
丸型明り窓アクリル3mm 570*150：12ヵ所
三方枠スチール製1.6 t 標準色焼付(アクリル) 3,197*3,000：3本
三方枠下地　9,197：3本

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	キープラン・建具表3（オーバースライディングドア詳細図）	20260702	1/5 1/50	A-21



天井仕上：
①：クリアトーン9ラインアート303*606　t=9
②：不燃化粧せっこうボード t=9.5　直張り
③：化粧せっこうボード t=9.5　直張り
④：ビニルクロス仕上

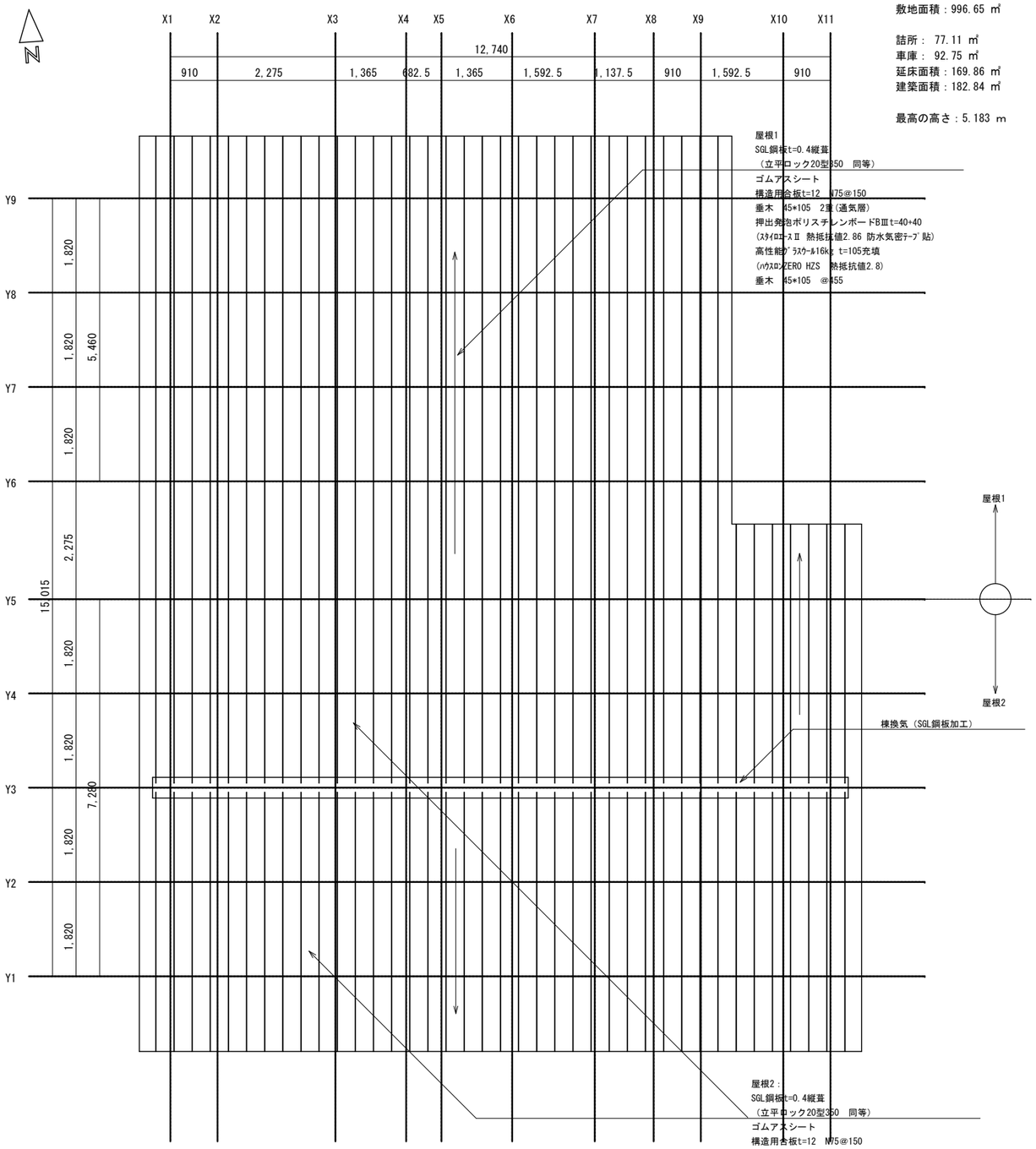
軒天仕上：
Nc：SGL鋼板t=0.35角波張　認定番号NM8697

天井伏図　1/100

敷地面積：996.65 ㎡

詰所：　77.11 ㎡
車庫：　92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

最高の高さ：5.183 m



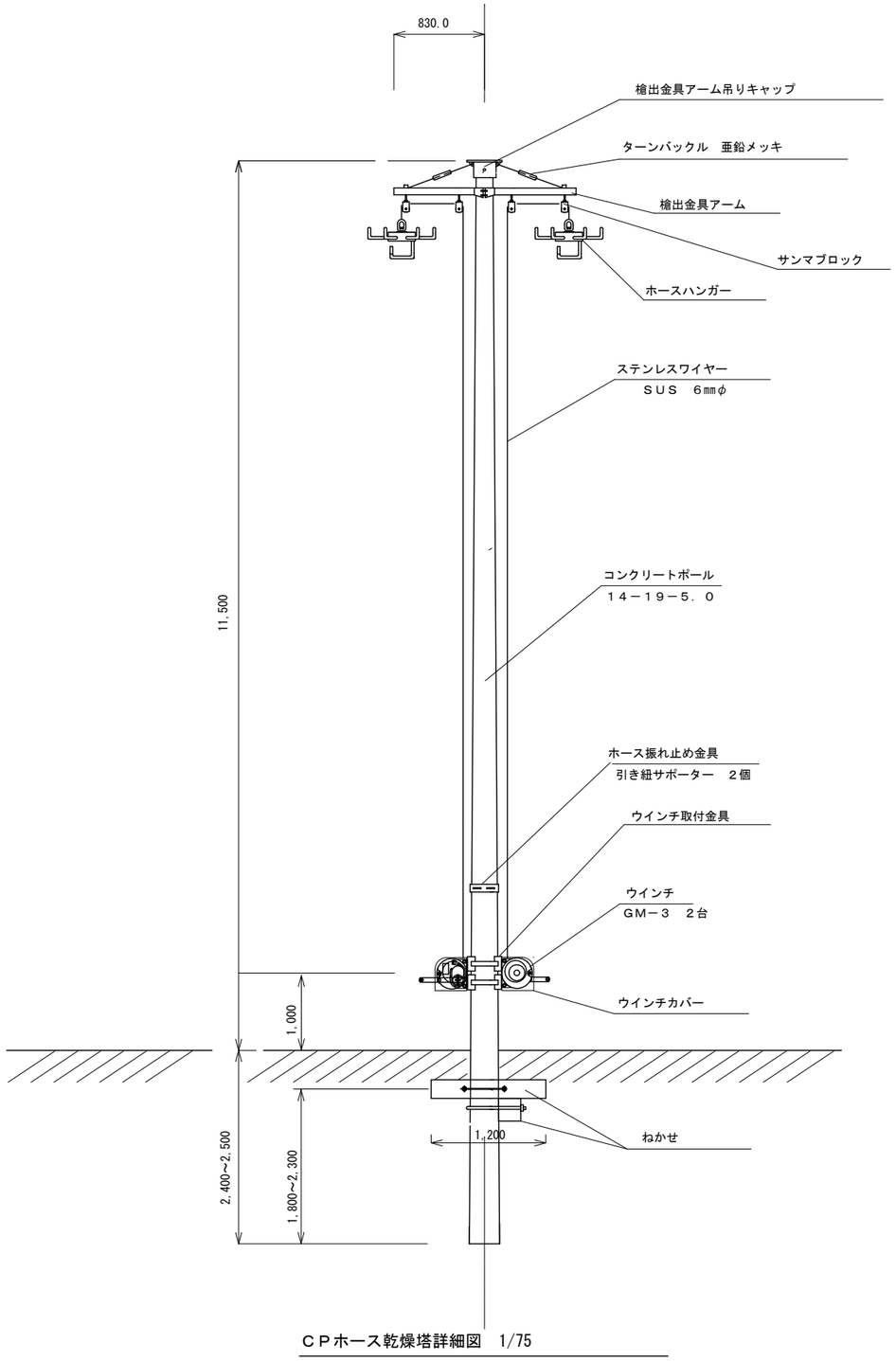
屋根1
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350　同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12　N75@150
垂木　45*105　2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40+40
(ｽﾀｲﾛｰｽⅡ　熱抵抗値2.86 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16kg t=105充填
(ﾊｳｽﾛZERO HZS　熱抵抗値2.8)
垂木　45*105　@455

屋根2：
SGL鋼板t=0.4縦葺
（立平ロック20型350　同等）
ゴムアスシート
構造用合板t=12　N75@150
垂木　45*105　2重(通気層)
押出発泡ポリスチレンボードBⅢt=40
(ｽﾀｲﾛｰｽⅡ　熱抵抗値1.43 防水気密ﾃｰﾌﾟ貼)
垂木　45*105　@455

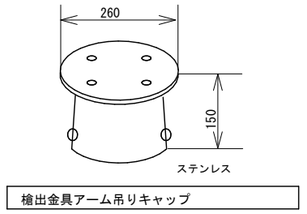
屋根伏図　1/100

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	天井伏図・屋根伏図	20260313	1/100	A-22

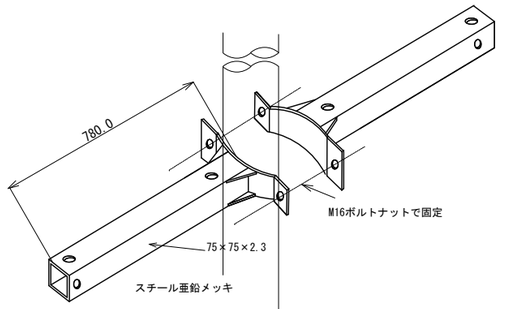
※9-3分団消防詰所より移設



ＣＰホース乾燥塔詳細図　1/75



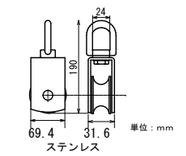
槍出金具アーム吊りキャップ



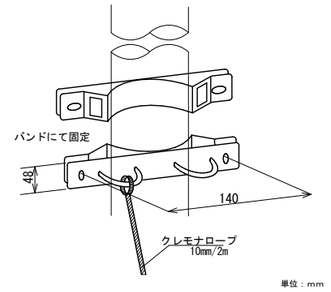
槍出金具アーム

現況写真

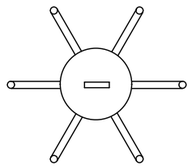


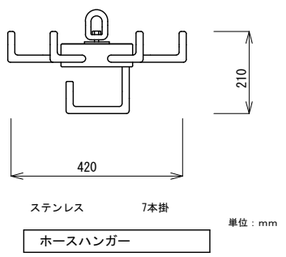


サンマブロック

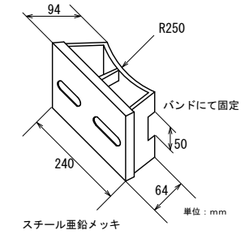


ホース振れ止め金具
引き紐サポーター

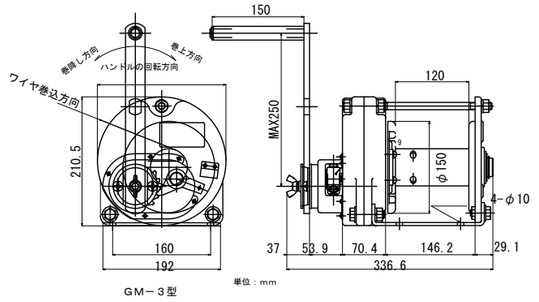




ホースハンガー



ウインチ取付金具

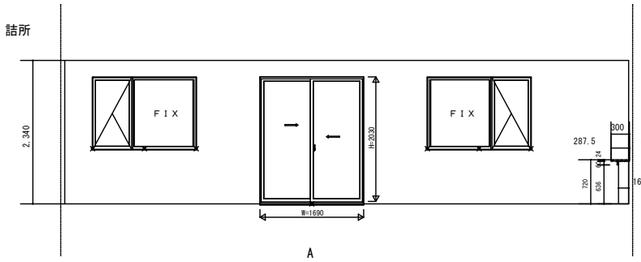


巻き上げウインチ　手動式

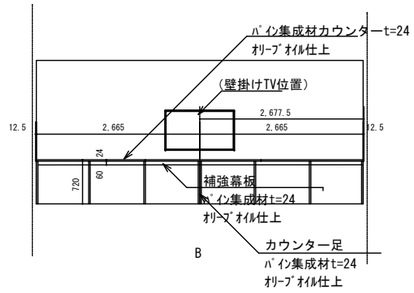
資機材詳細図　1/15

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	ＣＰホース乾燥塔図（参考）	20261010	1/75 1/15	A-23

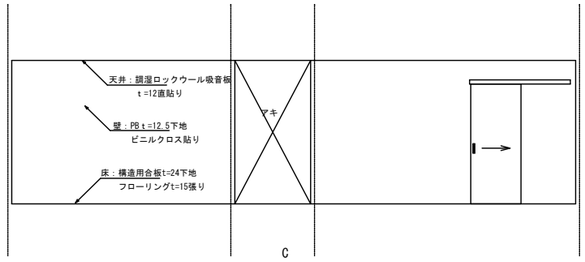
詰所



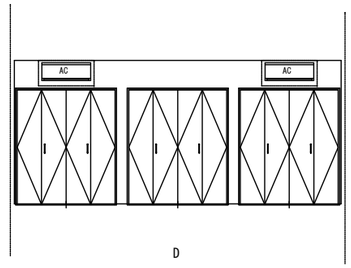
A



B

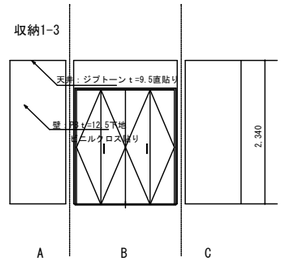


C



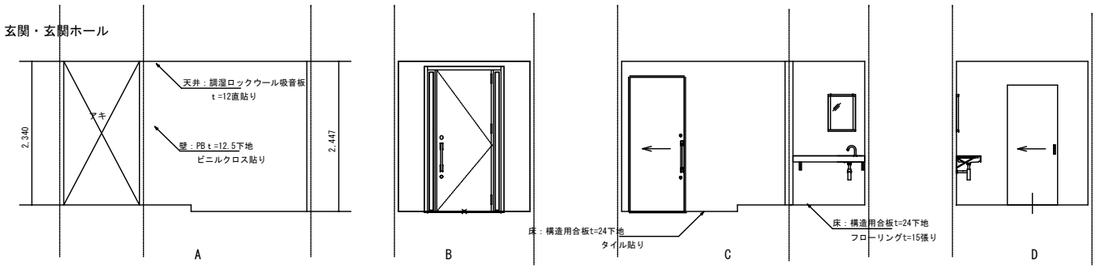
D

収納1-3

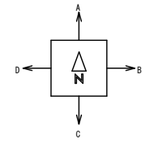


A B C

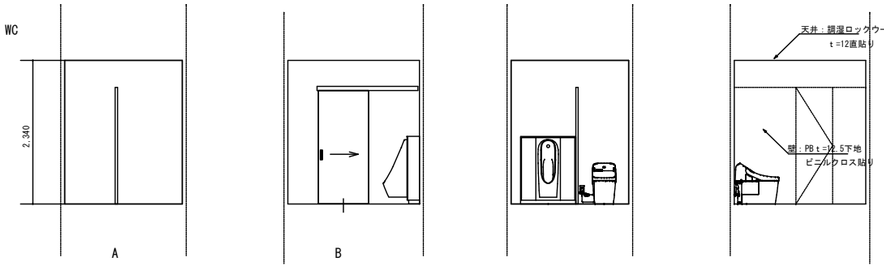
玄関・玄関ホール



A B C D

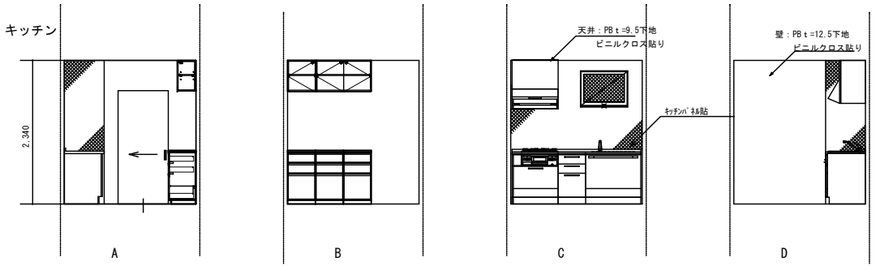


WC



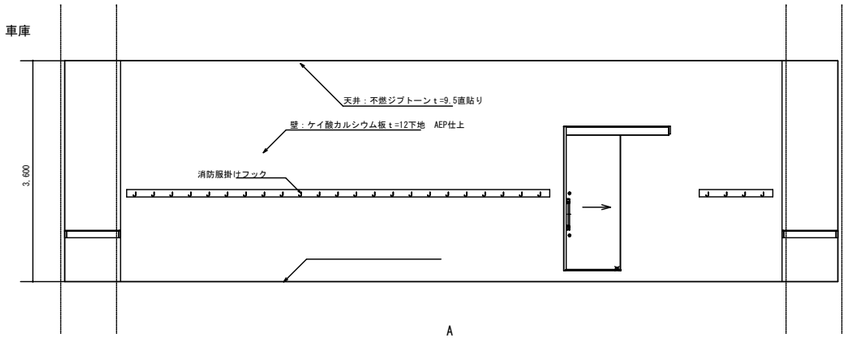
A B

キッチン

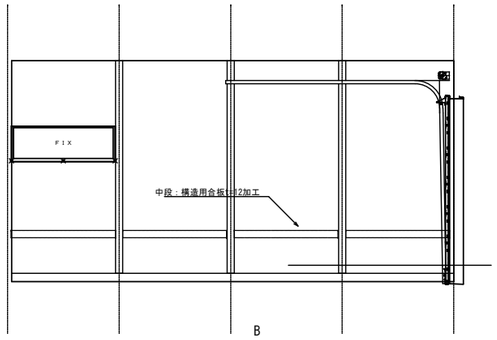


A B C D

車庫

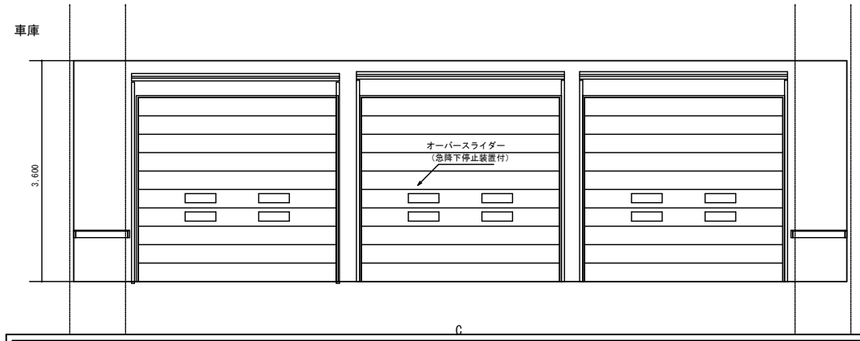


A

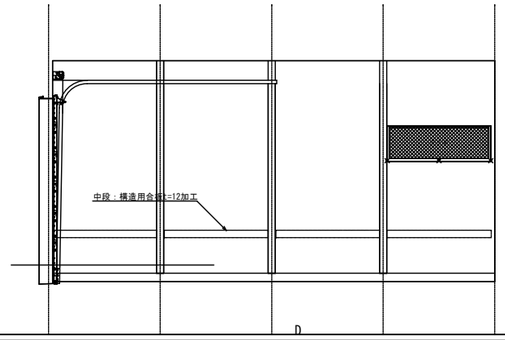


B

車庫

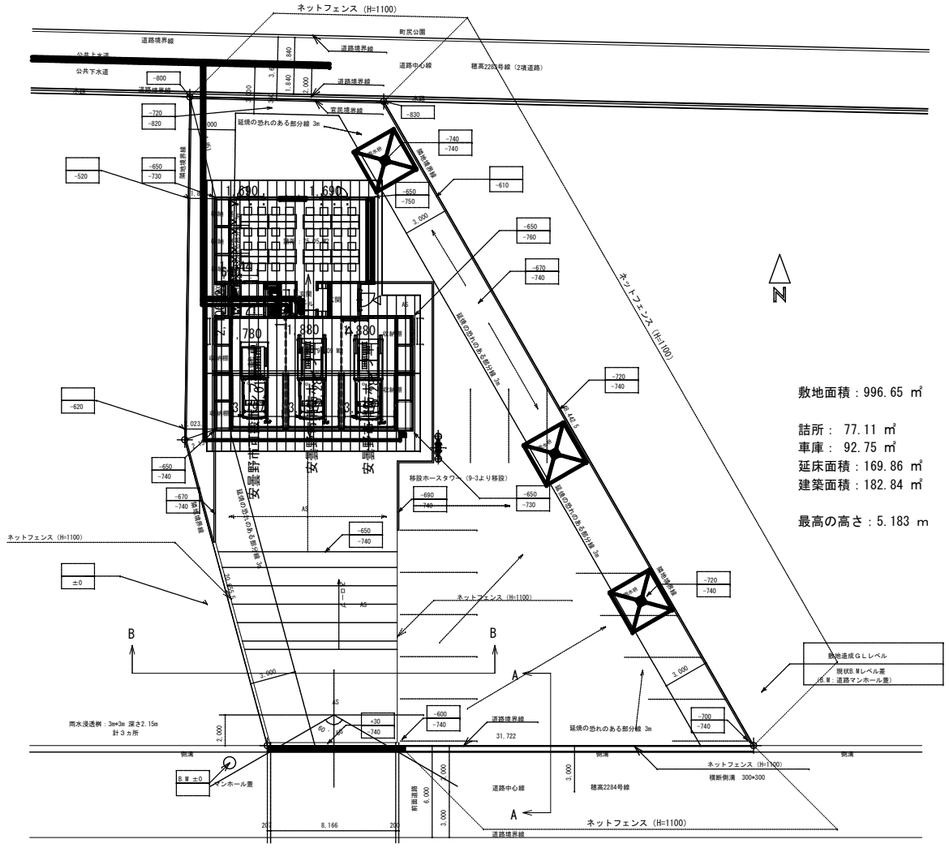


C



D

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	展開図	20260920	1/100	A-24



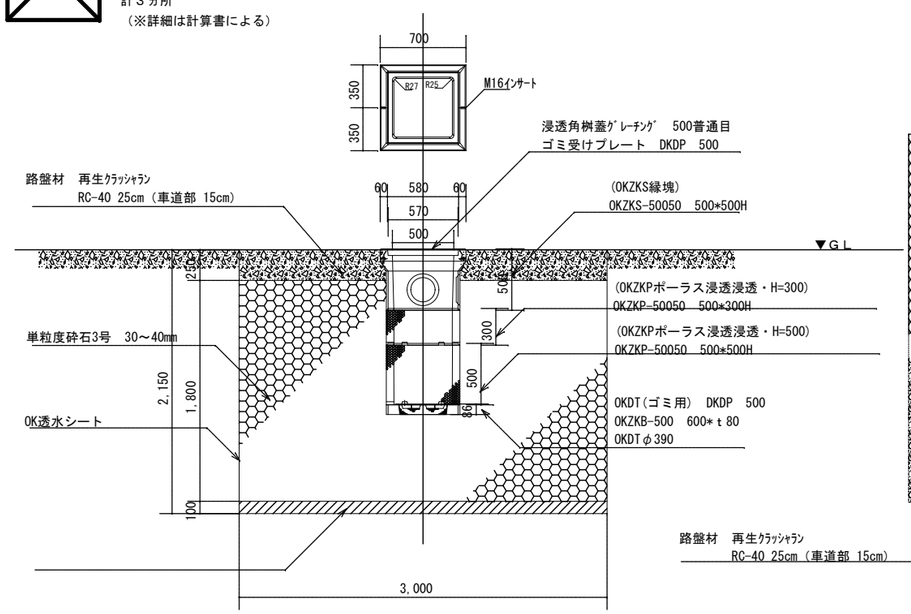
敷地面積：996.65 ㎡

詰所： 77.11 ㎡
車庫： 92.75 ㎡
延床面積：169.86 ㎡
建築面積：182.84 ㎡

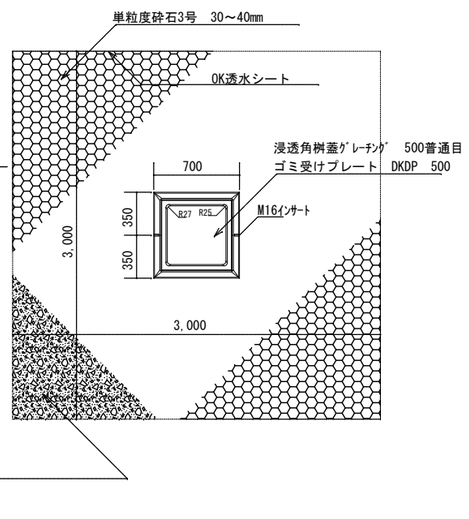
最高の高さ：5.183 m

配置図 1/400

雨水浸透桝：3m*3m 深さ2.15m
計３ヵ所
（※詳細は計算書による）

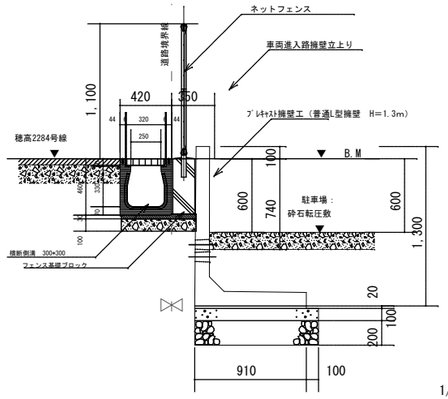


雨水浸透桝断面詳細図 1/50



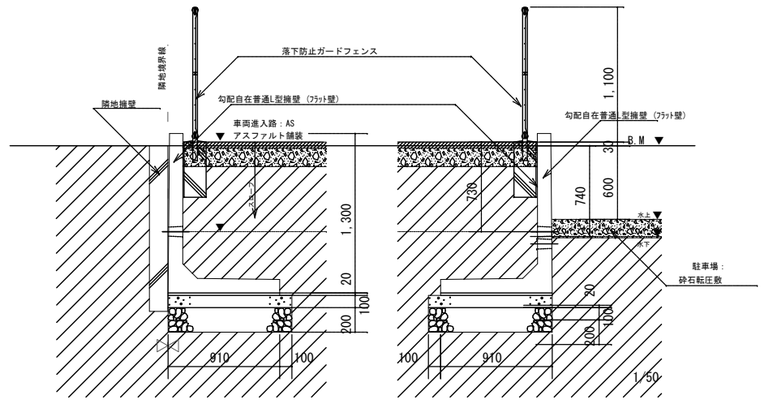
雨水浸透桝平面詳細図 1/50

道路（穂高2284）境界断面詳細図：A-A



1/50

進入斜路・隣地境界断面詳細図：B-B

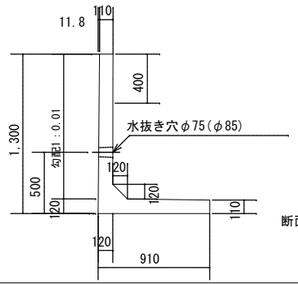


1/50

材 料 表

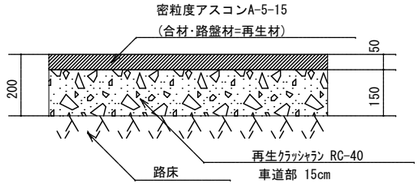
10m当たり

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
SL擁壁Ⅳ型	1300x910x2000	個	5	参考質量： 1ｔ80
敷モルタル	1:3 t= 20mm	m^3	0.18	
基礎コンクリート	18-8-25 t=100mm	m^3	1.11	
同上型枠		m^2	2.00	
基礎材	RC-40 t=200mm	m^2	11.10	



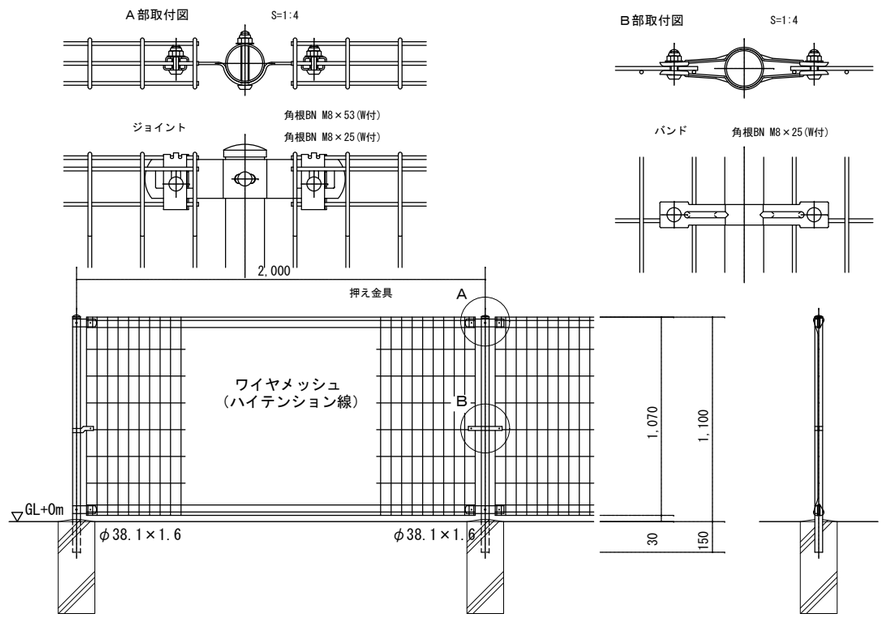
断面形状図 1/50

構内アスファルト舗装 詳細図 1/20



ＦＭフェンス （めっき＋樹脂コート製品）1/30

（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



基礎条件・・・長期許容地耐力 ９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

S=1:30

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	外構詳細図	20260930	1/400・50 1/30・20	A-25

令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団

第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

（電気設備）

202610

令和８年度（債務負担行為）安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事（電気設備工事 特記仕様書）

Ⅰ 工事概要

1 工事場所　長野県安曇野市穂高５６３８－２

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	備考
消防団詰所	木造	地上1階		

3 工事種目　（○印のついたものを適用する。）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別 / 工事種目				
受変電設備				
電灯設備	○			
コンセント設備	○			
動力設備				
避雷設備				
自家発電設備				
電話配管・配線設備	○			
構内交換設備				
電気時計設備				
拡声設備				
表示設備（非常押釦）				
インターホン設備	○			
テレビ共同受信設備	○			
火災報知設備				

4 図面目録

No.	図面名	縮尺
E-01	電気設備特記仕様書	
E-02	盤結線図	
E-03	幹線、外灯設備図	
E-04	照明器具姿図	
E-05	電灯設備図	
E-06	コンセント設備図	
E-07	弱電設備図	

Ⅱ 工事仕様

1 共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、原則として下記による。

・国土交通省大臣官房官庁営繕部の　「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」
「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）最新版」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版」

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事は
それぞれの工事仕様書一最新版を適用する。

2 特記仕様

（１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 器材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。 設備機材等指定表で製造業者等を定めている機材については、設備機材等指定表又は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けた材料・機材等によるほか、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 機材の品質・性能証明 使用する機材が設備機材等指定表による製造業者等のもの又は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けたものである場合は、共通仕様書第１編 １章 第４節 １．４．１ （ｂ）の品質および性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、共通仕様書に規定される製作図、試験成績書は除く。
2 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
3 電気工事士	契約電力５００ｋW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
4 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署、その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は、請負者の負担とする。
5 監督員事務所	(・)設けない　　・設ける
⑥ 足場・さん橋類	・備品等 ・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・改修工事共通仕様書 第１編 第２章 第１節 ２．１．２ によるほか、下記による。 ・内部仮設足場等（・　　種　・　　種　　） ・外部仮設足場等（・　　種　・　　種　　）
7 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが　・できる　・できない
⑧ 保険	工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その費用は請負者の負担とする。 建物（施設）引渡しまで請負者は工事目的、工事材料等について火災保険をかけるものとする。
⑨ 被害届等	暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
⑩ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの　　(○)無 ・有　（　　） (2)引渡しを要するもの以外 (・)構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 ※産業廃棄物の処理については、工事着手前に廃棄物の収集運搬・処分者を明記した廃棄物処理計画書を監督員に提出すること。
⑪ 施工計画書	施工計画書は契約後速やかに提出し、製作図、施工図の提出時期を明示する。
⑫ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第２版）の建築設備編」による。 また工事着手前に写真撮影計画を提出する。
⑬ 竣工時提出物	別表による。
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等仕様に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑮ 電線・ケーブル	EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ﾀｲｼｶﾞｲｾﾝ EM-EEF」と表記されたものを使用する。
16 金属製電線管の塗装	
17 呼び線	長さ１m以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑱ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き　(・)ﾜｲﾄﾞ形 (・)金属製　・樹脂製
19 ﾌﾛｱﾍﾞｰｽ・ﾌﾛｱﾌﾞﾚｰﾄ	・図面に特記なきものは直付（ビス止め）型とする。
20 フロアコンセント	フロアコンセントは、直付（ビス止め）型垂直上下式（黄銅製）とする。
21 ケーブル埋設票	地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製　　・コンクリート製
㉒ 色彩の決定	監督員と協議のうえ決定する。
㉓ プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックスおよび機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
㉔ プレートの塗装	プルボックス等のプレートおよび函体で露出するものは、焼付塗装とし化粧ビス止めとする。
㉕ 施工管理	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事監理指針」（最新版）による 自主施工　管理に努めること。
㉖ 施工	施工は全て設計図書に示された設備が、機能を完全に発揮するように誠実に行うこと。
㉗ 参考図書	長野県電設業協会発行「電気設備工事施工の手引」（最新版）
㉘ 非常用照明装置の照度測定	全箇所の照度測定をする。
29 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
㉚ 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。（＊ﾜｲﾄﾞ形ｽｲｯﾁ、ｺﾝｾﾝﾄとする。） 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、２口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
31 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合(25)を１本５個以上の場合は(25)を２本、天井まで立上げる。
32 複合防災盤	・盤および組込機器は一体形製作とし、その機能保証はすべて盤製作メーカーとする。 ・電源は非常用と一般用の２系統とし、降圧トランスおよびバッテリー等は原則として別々に設置する。 ・組込機器に電源からの耐サージ機能がない場合は、電源側に避雷器等を設けること。
33 機器収容箱（総合盤）	・函体および扉の鋼板厚は１．６mm以上とし、鳴動用穴は直接扉に明けたものとする。 ・標準形　（ただし鳴動用穴は直接扉に明けたもの）

3 接地極（※ 既存の接地極を再使用する。）

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

	Ａ種接地	銅板１．５ｔ×９００×９００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ ２m　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
	Ｂ種接地	銅板１．５ｔ×６００×６００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ ２m　埋設標（黄銅製又はステンレス製）
	Ｃ種接地	銅板１．５ｔ×５００×５００　補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） リード端子付　堀削埋戻中心深さ１．５m 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
	Ｄ種接地	接地棒（１０φ×１、５００）　リード端子付　打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製）

（別表）　竣工時提出物　（　○　印のついたものを提出する。）
竣工書類は監督員、監理者と協議により提出する。

○	実施工程表	1部	○ 機器保証書（各メーカー書式） 1部
○	総合施工計画書	1部	○ 官公署届出書等（官公署書式） 1部
○	工種別施工計画書	1部	火災保険等の証書の写し　（保険会社の書式） 1部 工期より１５日程加算した日まで加入のこと。
	産業廃棄物処理計画書	1部	
○	機材メーカーリスト	1部	廃棄物処理マニュフェスト（Ｅ票の写し） 1部
	下請け業者リスト	1部	○ 予備品・付属品リスト 1部
	月間工事報告書　（市書式）	1部	完成写真（カラーサービスサイズ） 1部
○	完成図（決裁済機器製作図）	1部	○ 工事工程写真（カラーサービスサイズ） 1部
○	社内検査報告書	1部	竣工図・施工図の青焼製本 2部 （主要機器一覧表を含む）
○	試験成績書（機材・施工）	1部	
○	検査済証（官公署書式）	1部	竣工届　（市書式） 1部
	総合取扱い説明書（設備工事施工者作成）	1部	市請求書（市書式） 1部
○	機器取扱い説明書（各メーカー書式）	1部	引渡書 1部
○	主要機器一覧表（完成図機器表に準ずる）	1部	○ 竣工図・施工図のＣＡＤデータ 1部 （ＦＤ，ＣＤ－Ｒ等）
	保証書（工事全般）	1部	

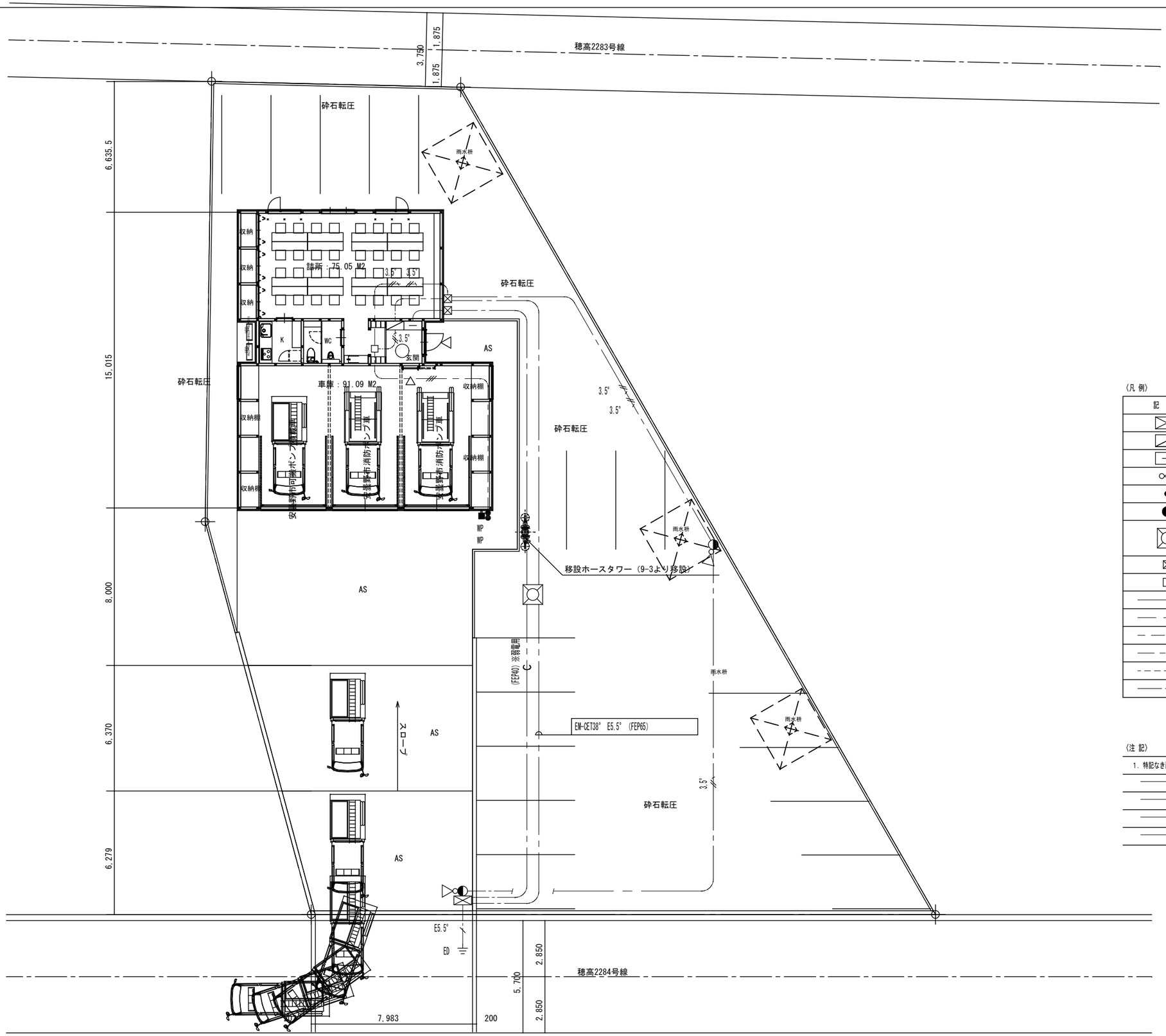
訂正	月・日		設計年月日		製図	工事名称	令和８年度（債務負担行為）安曇野市消防団第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	縮尺	図面番号
	・					図面名称	電気設備工事 特記仕様書	Non	E－01
	・								
	・								

盤結線図

盤名称・盤仕様 電気方式 幹線 負荷容量合計 盤内機器類	分電盤内結線	回路番号	配線用ブレーカ 種類	配線用ブレーカ 極数	配線用ブレーカ 定格電流（A）	回路記号	リモコン番数	負荷容量（VA） 電灯	負荷容量（VA） コンセント	負荷容量（VA） 空調機	負荷容量（VA） OA機器等（番数要キープ）	負荷名称
引込開閉器盤				3P2E	100/50	A						電灯
（形式） 壁掛露出型 屋外 鋼板製 防雨型 屋根付 標準色塗装 （設置場所） 外部												

盤名称・盤仕様 電気方式 幹線 負荷容量合計 盤内機器類	分電盤内結線	回路番号	配線用ブレーカ 種類	配線用ブレーカ 極数	配線用ブレーカ 定格電流（A）	回路記号	リモコン番数	負荷容量（VA） 電灯	負荷容量（VA） コンセント	負荷容量（VA） FC用コンセント	負荷容量（VA） OA機器等（番数要キープ）	負荷名称
分電盤 （形式） 壁掛露出型 屋内 樹脂製 メーカー標準色 （設置場所） 玄関 一般 AC 1φ 3W 100/200V L1 EM-CET36*	ELCB 3P 100/60AT	イ	M	2P1E	50/20	A						誘導灯
		1	M	2P1E	50/20	A						赤色灯
		2	M	2P1E	50/20	A						詰所電灯
		3	M	2P1E	50/20	A						車庫、外壁、軒天電灯
		4	M	2P1E	50/20	A						駐車場電灯
		5	M	2P1E	50/20	A						詰所エアコン-1
		6	M	2P1E	50/20	A						詰所エアコン-2
		7	M	2P1E	50/20	A						詰所コンセント（インターホン）
		8	M	2P1E	50/20	A						詰所コンセント（TV）
		9	M	2P1E	50/20	A						TV増幅器用コンセント
		10	M	2P1E	50/20	A						玄関コンセント
		11	M	2P1E	50/20	A						郵コンセント
		12	M	2P1E	50/20	A						Kコンセント
		13	M	2P1E	50/20	A						Kコンセント（冷蔵庫用）
		14	M	2P1E	50/20	A						車庫コンセント
		15	M	2P1E	50/20	A						車庫コンセント
		16	M	2P1E	50/20	A						予備
		1	M	2P1E	50/20	A						K電気温水器用コンセント
		2	M	2P1E	50/20	A						手洗い電気温水器用コンセント
		3	M	2P1E	50/30	A						IH用コンセント
		17	M	2P1E	50/20	A						予備

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	盤結線図	DATA 20260910	SCALE N.S	DW NO. E-02



N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

（凡例）

記　号	名　称	摘　要
	引込開閉器盤	
	電灯分電盤	
	弱電端子盤	
	LEDスポットライト	
● WP	防水スイッチ	1P15A×1
	鋼管ポール	
	ハンドホール	セパレーター付
	プルボックス	500×500×500MP
	ジョイントボックス	
———	天井隠ぺい配線	
—— – ——	天井ふところ内配線	
– — — –	床隠ぺい配線	
—— – – ——	床面露出配線及び二重床内配線	
– – – – – –	露出配線	
——– ——–	地中配線	

（注 記）

1．特記なき配管・配線は下記による。

////	EM-EEF1.6-3C
//// 3.5°	EM-CE3.5°-3C（1Cアース）
/ 5.5°	EM-IE5.5°
C (FEP40)	空配管 FEP40

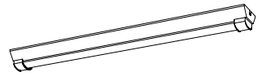
PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	幹線・外灯設備図	2026	1/200	E-03

A402	LEDベースライト直付型40形 W150 5200lmタイプ	A402W	LEDベースライト直付型40形 防雨型 W150 5200lmタイプ	B100	LEDダウンライト φ100	B100S	LEDダウンライト φ100 人感センサー付	B100SF	LEDダウンライト φ100 人感センサー付 換気扇連動可能



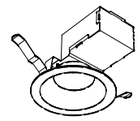
LEDユニット UN4404RH 32.1W 5000K
巾150 長1,250 高53
高演色LED Bluetooth調光 コントローラー別売

オーデリック XL501002R4H 相当品



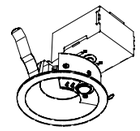
LEDユニット UN1404BR 31.8W 5000K
巾150 長1,250 高86
防雨・防湿型

オーデリック XG505002P4B 相当品



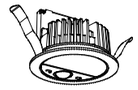
LED 6.8W 5000K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高80
高演色LED 準耐火構造対応

オーデリック OD261886R 相当品



OD261738R
LED 8.5W 2700K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高83
高演色LED 人感センサー付

オーデリック OD261738R 相当品



LED 5.3W 2700K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高75
高演色LED 人感センサー付

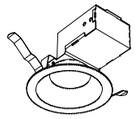
オーデリック OD261967R 相当品

C201	LEDキッチンライト コンセント付	D60W	LEDダウンライト 軒下用	E60W	LEDブラケット 人感センサー付	F400W	LED投光器		



LED 6.8W 5000K
巾65 長617 高90
高演色LED

オーデリック OB255181R 相当品



LED 4W 2700K
巾φ114 埋込穴φ100 埋込高80
高演色LED 防雨型

オーデリック OD261796R 相当品



LED電球ミニクリプトン形 7.1W 2700K
巾口125 出155
高演色LED 人感センサー付 防雨型

オーデリック OG254799LCR 相当品



LED 130W 5000K
巾260
防雨型

オーデリック XG454037 相当品

イC1	LED避難口誘導灯 C級 天井・壁直付型 片面型	ロC1	LED通路誘導灯 C級 天井・壁直付型 片面型		LED赤色表示灯 壁直付型				



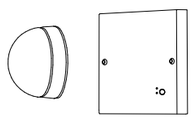
LED誘導灯コンパクトスクエア
C級 片面型
壁・天井直付型
一般型（20分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：1AS111−3618

パナソニック FA10312CLE1+FK10300 相当品



LED誘導灯コンパクトスクエア
C級 片面型
壁・天井直付型
一般型（20分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：1AS111−3618

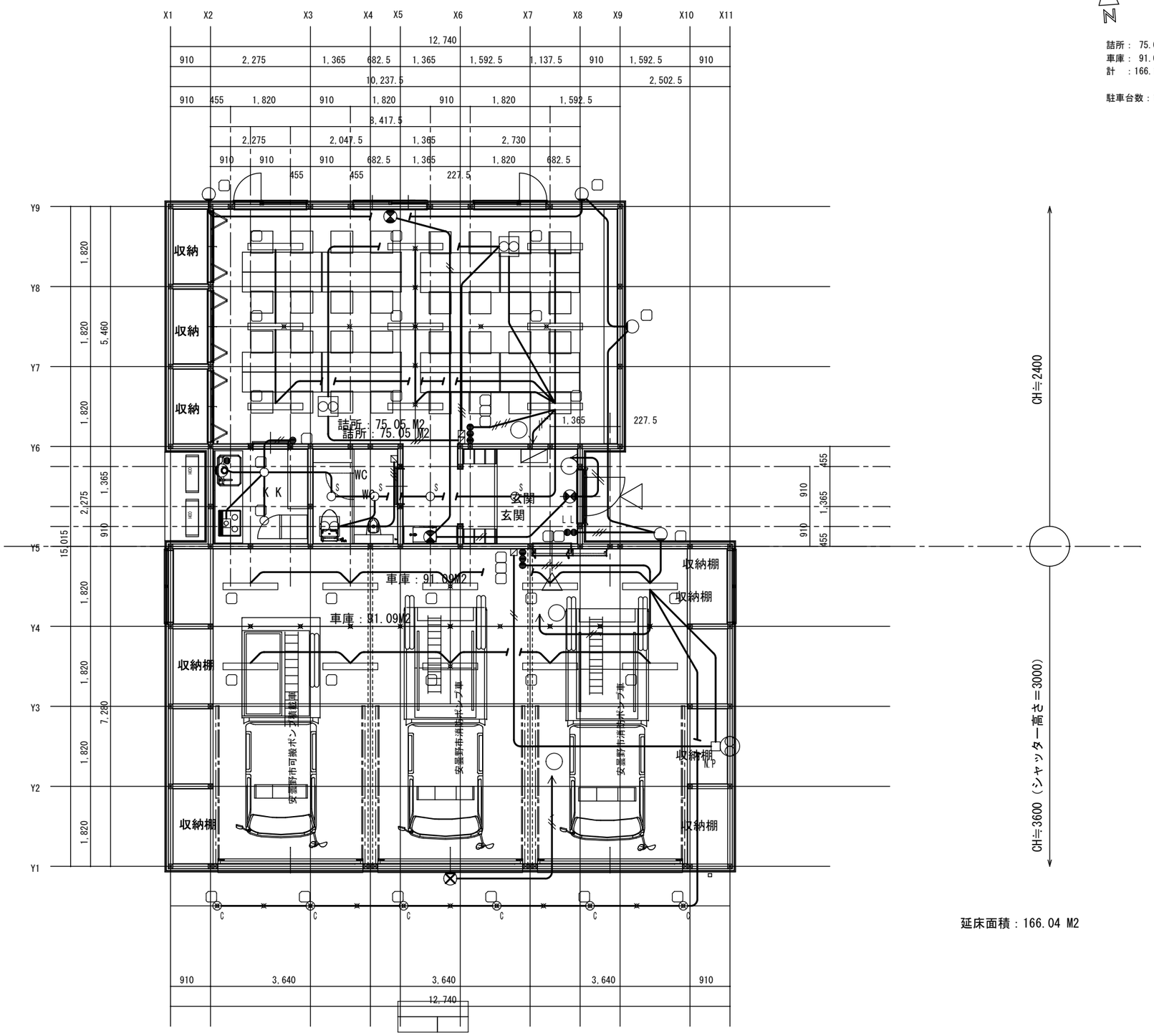
パナソニック FA10312CLE1+FK10316 相当品



電池内蔵型（ニッケル水素蓄電池）
電源部分離タイプ・非常用LED併用型
光束維持時間60000時間
壁直付型
防雨型

パナソニック NNF20247Z 相当品

□	PR NAME	令和８年度（債務負担行為）安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	□	DW NAME	照明器具姿図	□ DATA	2026	□ SCALE N.S	□ DW NO. E-04



N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

延床面積：166.04 M2

（凡例）

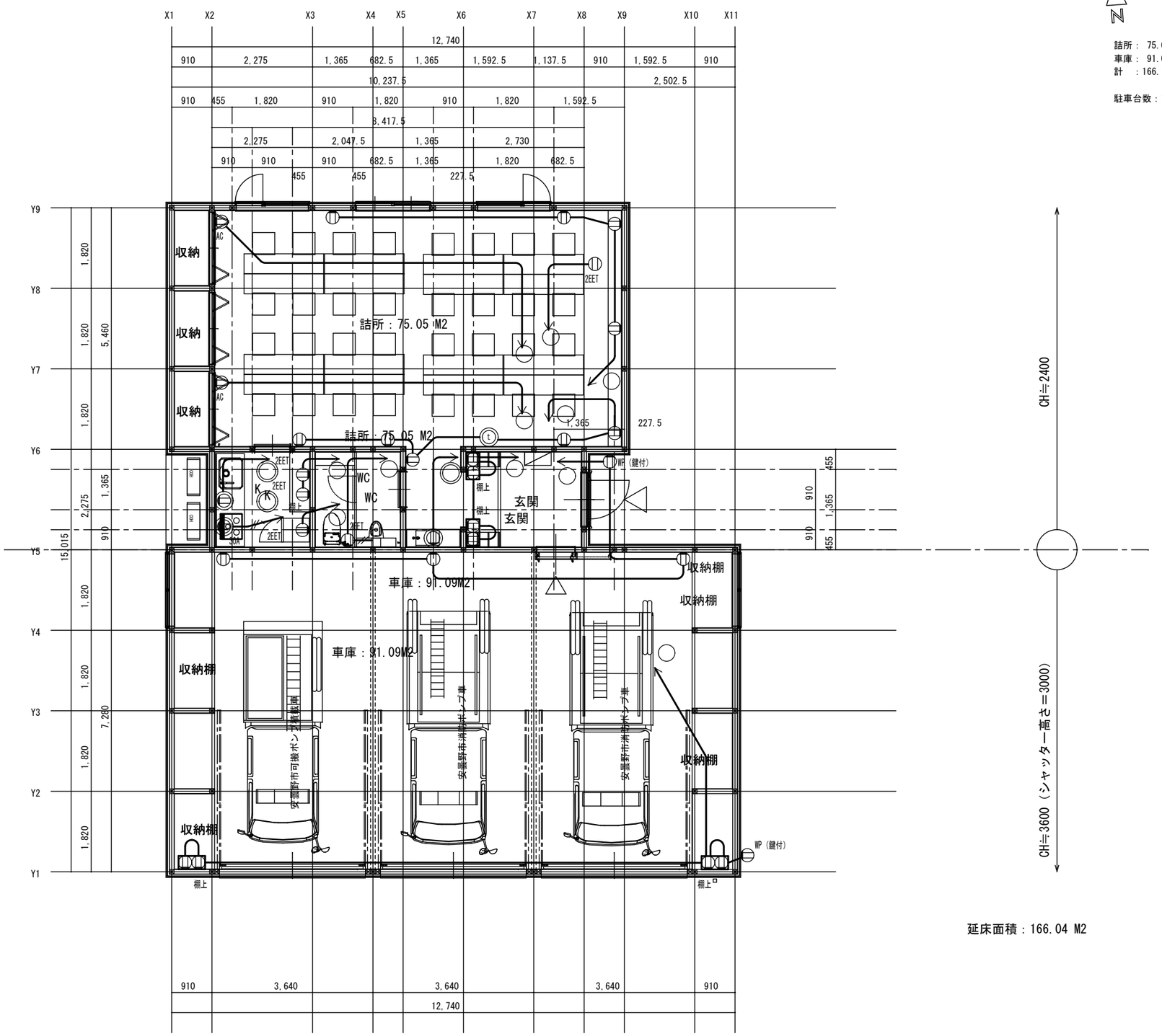
記号	名称	摘要
	電灯分電盤	
	ベースライト 天井直付	
○	ダウンライト	
○ S	ダウンライト 人感センサー付き	
○ C	シーリングライト	
	ブラケット	
	キッチンライト 手元スイッチ付き	
⊗	赤色灯	
⊗	避難口誘導灯	
⊗	通路誘導灯	
●	片切スイッチ	1P15Ax1
● L	パイロットスイッチ	1P4Ax1
	換気扇	機械設備工事
⊠	換気扇用スイッチ	機械設備工事支給品
□ N.P	ノズルプレート	
	天井隠ぺい配線	
	天井ふところ内配線	
	床隠ぺい配線	
	床面露出配線及び二重床内配線	
	露出配線	
	地中配線	

（注記）

1. 特記なき配管・配線は下記による。

//	EM-EEF1.6-2C
///	EM-EEF1.6-3C
////	EM-EEF1.6-2C x2
	EM-EEF1.6-3C（1Cアース）
//	EM-EEF2.0-2C
//	EM-EEF2.0-3C（1Cアース）

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	電灯設備図	2026	1/100	E-05



N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

延床面積：166.04 M2

（凡 例）

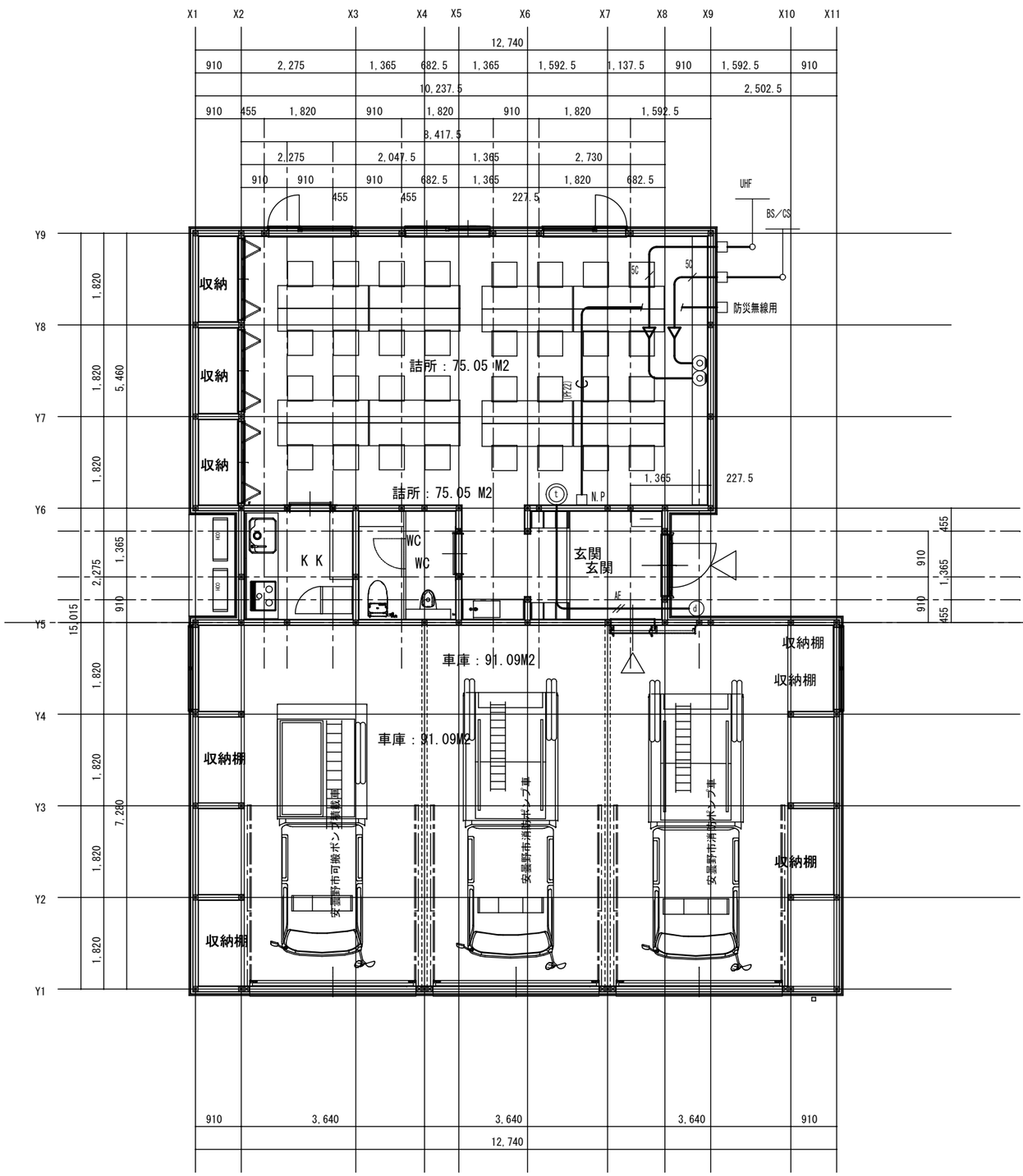
記 号	名 称	摘 要
	電灯分電盤	
	壁付コンセント	2P15Ax2 接地極付
2EET	壁付コンセント	2P15Ax2 接地極、接地端子付
AC	壁付コンセント	2P15A/20A兼用x1 接地極、接地端子付
WP（鍵付）	防水コンセント（鍵付）	2P15Ax2 接地極、接地端子付
	壁付コンセント	2P20Ax1 250V 接地極付
30A	壁付コンセント	2P30Ax1 250V 接地極付
2EET	天井内コンセント	2P15Ax2 接地極、接地端子付
t	インターホン親機	弱電設備工事
	天井隠ぺい配線	
	天井ふところ内配線	
	床隠ぺい配線	
	床面露出配線及び二重床内配線	
	露出配線	
	地中配線	

（注 記）

1. 特記なき配管・配線は下記による。

//	EM-EEF1.6-2C
//	EM-EEF2.0-3C（1Cアース）
//△	EM-EEF2.6-3C（1Cアース）

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	コンセント設備図	2026	1/100	E-06



N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

延床面積：166.04 M2

（凡 例）

記 号	名 称	摘 要
—	弱電端子盤	
(t)	インターホン親機	
T	テレビアンテナ	
◎	壁付テレビ直列ユニット	
▽	テレビ増幅器	
□	防雨入線カバー	
□ N.P	ノズルプレート	
———	天井隠ぺい配線	
———	天井ふところ内配線	
———	床隠ぺい配線	
———	床面露出配線及び二重床内配線	
———	露出配線	
———	地中配線	

（注 記）

1. 特記なき配管・配線は下記による。

////AE	EM-AE0.9-2C
//5C	EM-S-5C-FB
C(PF22)	空配管 PF22

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	弱電設備図	2026	1/100	E-07

令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団

第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

（機械設備）

202610

＜機械設備工事＞　特記仕様書

●印を適用する。

工事名称	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事
工事場所	安曇野市穂高有明1762-4ー部
建物概要	構　造　：　●木造　　○鉄骨造　　○鉄骨鉄筋コンクリート造 規　模　：　延べ面積　167.79　㎡　　建築面積　182.84　㎡　　○　別紙参照 防火構造：○一般　○準耐火　○耐火構造　　内装制限：●有○無
工事項目	●　衛生器具設備 ●　給　水　設　備 ●　給　湯　設　備 ●　排　水　設　備 ●　冷　暖　房　設　備 ●　換　気　設　備
施工基準	本工事は、図示によるほか、『国土交通省営繕部機械設備工事共通仕様書及び標準図(最新版)』関連・関係法規に従い入念に施工すること。 ●機械設備工事共通仕様書・標準図（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ●長野県機械設備工事施工手引　（最新版）長野県住宅部施設課監修 ●電気設備工事共通仕様書・標準図（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ●建築工事共通仕様書　（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ●　図示無き箇所についても、技術上当然必要と思われる事項については係員と協議の上、請負業者の負担にて施工する事。
一般事項	○　本工事は上記施工基準によるほか及び工事請負契約者の記載事項による。 ●　本工事の責任保証は、工事竣工引渡し後２年間とし故意または重大な過失による場合は、10年間とする。 ●　穴開・補強筋・天井補強等は、（●本工事　・別途工事）とする。 ○　上・下水道の負担金は、（・本工事　・別途工事）とする。 ○　施工計画書を提出し、係員の承諾を得てから着工する。 ●　給水・給湯は、図示箇所にて水抜きができるよう水抜き位置に向かって下がり勾配とする。 ●　工事中、既設の設備を損傷した場合は、係員の指示に従い現状復旧を行う。 ●　管理上操作等を必要とする弁類・機器類には、プラスチック製名札又は説明板を取付ける。 ●　配管については、所定の試験を実施の上成績表および写真を提出すること。 ●　土中埋設はサンドクッションにて埋め戻し、要所には埋設票を係員の指示に従い設置する。 ●　本工事に使用する材料は、予めメーカーリストを作成し、また製作を要する物については、製作図を作成の上係員に提出し承認を得てから着手する。 ●　竣工時提出物は係員の指示による。 ●　管の切断及びネジ切り・接続：ネジ切機は自動切り上げ装置付とする。ネジ切に際しては、ネジゲージを使用してネジが適正に切られているか確認する。 接合材はペーストシール材とし、ネジ山・管内部及び端面に付着している切断油・水分・ほこりなど十分に除去した後、おねじ部のみ適量塗布する。 ●　また鋼管接続後のネジ切部及び傷跡等は全てさび止めペイント２回塗布又はプラスチックテープ１回巻きを行う。 ●　ライニング鋼管用管端防食継ぎ手については、コア挿入型は使用しないこと。 ●　管の埋設：土中埋設管は、管の上下をサンドクッション厚１００mmで保護する。 給水管の埋設深さは、凍結深度以上とする。

特記事項

●　工事区分

図示によるほか、下記による。

	本工事	電気工事	建築工事	
●　機器類の基礎	○			
●　給気・排気ガラリ類	○			
●　穴開・スリーブ入れ補修	○			
●　同上用補強	○			
○　天井・床点検口			○	
○　自動制御配管・配線(給湯機・冷暖房機)				
●　洗面器・手洗い器	○		○	
○　雨水立管・浸透桝			○ 雨水立管	
○　ユニットバス				
●　流し台、水栓、ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ、食洗機	○		○	
●　換気扇・ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ・自然給気口	○			

●　衛生器具設備

●　衛生器具の色は、指定色とする。
●　給水栓は、（・普通コマ　●吊コマ　・自動給気コマ）とする。
○　給湯栓のハンドルは（・陶器製　・クリスタル製）とし並列の給水栓も同様とする。

●　給水設備

●　給水管埋設深度は　600　㎜以上とする（管上）・凍結深度以上
●　給水設備に使用する弁類は供給管直結部はＪＩＳ１０kg／cm2他は５kg／cm2とする。
○　給水引込みに要する負担金は、（・本工事　●別途工事）とする。
●　安曇野市給水条例に準ずる。
●　配管はサヤ管ヘッダー方式

●　給湯設備

○　使用する弁類は、給水設備に準ずる。
○　温水器と給水管の接続には、ステンレス製フレキシブルチューブを使用してもよい。
○　配管はサヤ管ヘッダー方式

●　排水通気設備

●　衛生器具との接続は（・排水用鉛管・ゴム製ジョインター・差込継手）を使用する。
●　排水勾配は、屋外１/50以上・屋内１/50とする。
○　床下内露出配管は保温を施工する。
●　安曇野市下水道条例に準ずる。

●　雨水設備

○　雨樋（横・縦管）建築工事
○　雨水浸透桝設備工事

○　ガス設備

○　ガス（１３Ａ・４６ＭＪ／M3）とする。
○　ガス　　LPG
○　使用器具は、都市ガス用とし検定を受けたものとする。
『都市ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律』『都市ガス事業法』に基づき
○　有資格者の下に確実な施工を行うものとする。
○　都市ガス供給者の責任施工とする。
○　使用器具は、都市ガス供給者の認定品とする。
ガス洩れ警報器は、（○本工事　・別途工事）とする。
ﾏｲｺﾝｶﾞｽﾒｰﾀｰ連動

●　消火設備

○　消火器は、（●本工事　・別途工事）とし、（●粉末　・強化液）とする。
○　関係官庁への届出は、遅滞なく行う。

○　厨房器具設備

○　厨房器具は、水平に設置すること。
○　燃焼器具及び高さ１．５ｍ以上の器具は、床・壁に固定する。

○　し尿浄化槽設備

し尿浄化槽は、（・単独式　○合併式　・　　）とし、容量は下記による。
　　人槽　m3／日　流入ＢＯＤ　　ＰＰＭ　　ＳＳ　　ＰＰＭ
　　放流ＢＯＤ　　ＰＰＭ　　ＳＳ　　ＰＰＭ

○　関係官庁への届出は遅滞なき様行うこと。
○　薬品等については、　ケ月分を納品する。
○　竣工時には、放流水を採取し、検査報告書を提出する。

○　冷房設備　○　暖房設備　●　冷暖房設備

○　設計条件は、下記による。

	室外条件		室内条件	
	温度　℃	湿度　%	温度　℃	湿度　%
冷　房	３３		２６	
暖　房	－５		２２	

○　床暖房・パネル暖房温水系統には、不凍液（メンテナンスフリー）を装置内充填する。
○　床暖房・パネル暖房は、メーカー（専門業者）責任施工とする。
○　ダクトは、（・亜鉛鉄板製　・　　）とし板厚は、下記による。
　ダクト寸法　　～　４５０㎜　０．５㎜
　４５１㎜～　７５０㎜　０．６㎜
　７５１㎜～１２００㎜　０．８㎜
　１２０１㎜～　１．０㎜
○　ダクトの吹出口内部は、黒色塗装を施す。
○　ダクト分岐部分、機器まわりには、係員の指示に従い風量測定口を設ける。
○　吹出口類は、（・アルミ製　・鋼板製　・　　）とする。
○　電気パネルヒーター
●　冷暖房：寒冷地ルームエアコン

○　給油設備

○　消防法、市町村条例に従い施工すること。
○　弁類は、マレブル弁を使用する。
○　給油設備用の消火器は、本工事にて設置する。
○　貯油量　　種別　　-灯油ℓ　（○地上式　・地下式）
○　オイルタンクは既成品（機器表参照）を使用する。

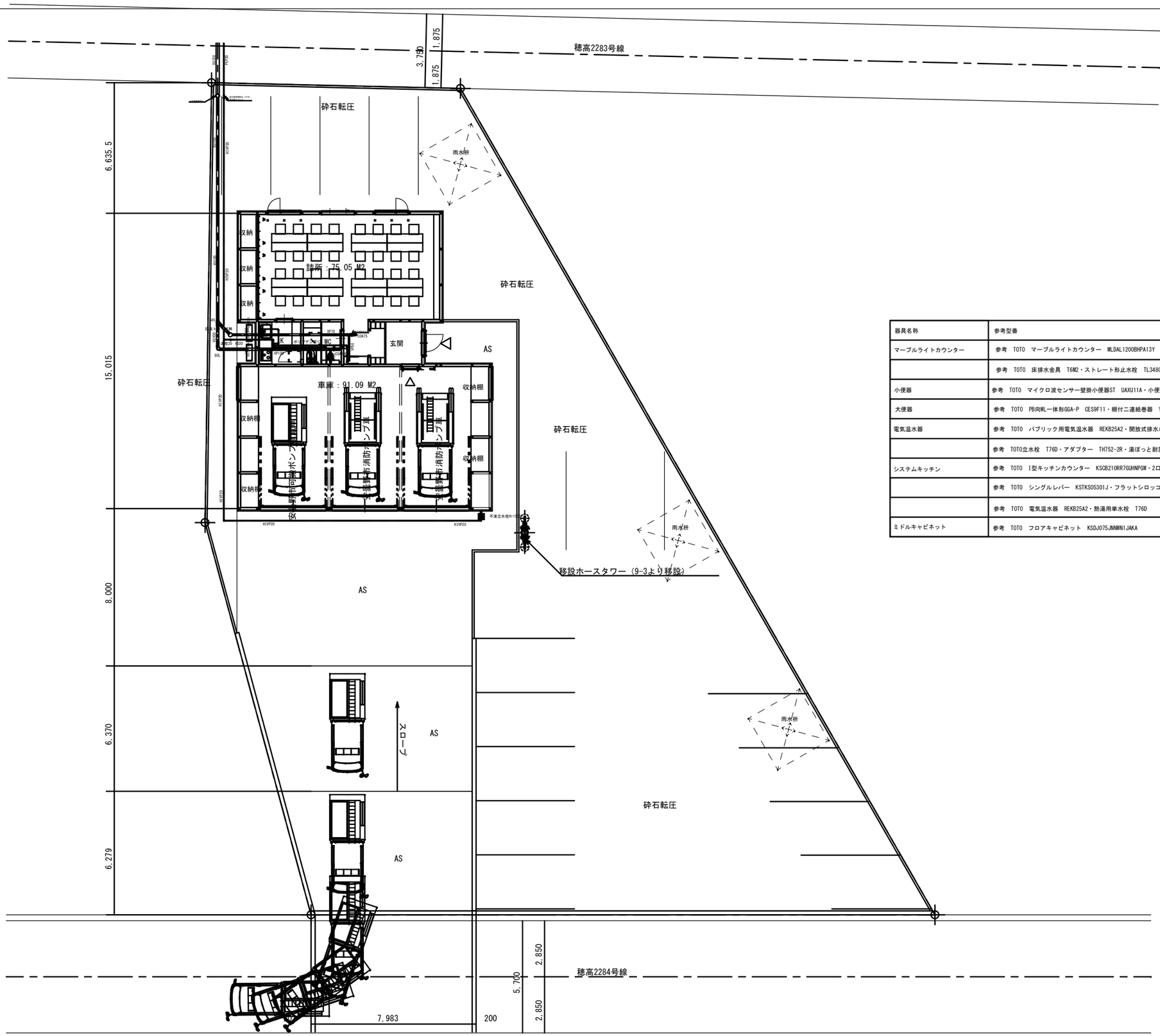
●　換気設備

○　丸形ダクトは、（●スパイラル　・塩ビ製【ＶＵ】　・　　製）とする。
●　ウエザーカバーは、（・鋼板製　・樹脂製　・アルミ製　●　ステンレス製）とする。
指定色
●　木枠取付け及び天井扉の補強は、（●本工事　・別途工事）とする。

メーカーリスト　　（下記同等品以上とし、係員の承諾を受ける。）

品目	機材名	適用範囲	製造業者名等
配管機材類	機器リスト参照	設計図参照	JIS規格品
配管継手類	機器リスト参照	設計図参照	JIS規格品
弁類	機器リスト参照	設計図参照	JIS規格品
不凍栓 小口径塩ビ桝	機器リスト参照 機器リスト参照	設計図参照 設計図参照	水道局指定品 下水道局指定品
衛生器具	機器リスト参照	設計図参照	TOTO　LIXIL
換気扇	機器リスト参照	設計図参照	三菱　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
暖房機	機器リスト参照	設計図参照	日本シーズ線
冷暖房機	機器リスト参照	設計図参照	三菱　ダイキン　日立

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	機械設備特記仕様書	DATA 20240210 / SCALE	DW NO. M-01



N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計　：166.14 M2

駐車台数：16台+a

器具名称	参考型番
マーブルライトカウンター	参考　TOTO　マーブルライトカウンター　MLDAL1200BHPA13Y
	参考　TOTO　床排水金具　T6M2・ストレート形止水栓　TL348CU　・ブラケット　MX201
小便器	参考　TOTO　マイクロ波センサー壁掛小便器ST　UAXU11A・小便器用点検口付ライニング　UAUN81NA2W・側板　UTR143
大便器	参考　TOTO　PB向ﾙｰ体形GGA-P　CES9F11・棚付二連紙巻器　YH600FMR・一般鏡YM3580AC
電気温水器	参考　TOTO　パブリック用電気温水器　REKB25A2・開放式排水ホッパーRHE22H-50N・ストレート形止水栓TL348CU
	参考　TOTO立水栓　T76D・アダプター　TH752-2R・湯ぼっと耐震用脚　RHE708R
システムキッチン	参考　TOTO　I型キッチンカウンター　KSCB210RR7GUHNPGW・2口IH+ラジエントヒーター　KSME063NPSBNXXH
	参考　TOTO　シングルレバー　KSTKS0530IJ・フラットシロッコファンフード　KSKR075BGSNXXXB
	参考　TOTO　電気温水器　REKB25A2・熱湯用単水栓　T76D
ミドルキャビネット	参考　TOTO　フロアキャビネット　KSDJ075JNNMN1JAKA

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	配置図	20260430	1/200	M-02

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

TV置場

詰所：75.05 M2

玄関

手洗い

WC

K

収納

収納

収納

収納棚

収納棚

収納棚

収納棚

収納

収納

収納

収納棚

収納棚

収納棚

収納棚

車庫：91.09M2

安曇野市消防ポンプ車

安曇野市消防ポンプ車

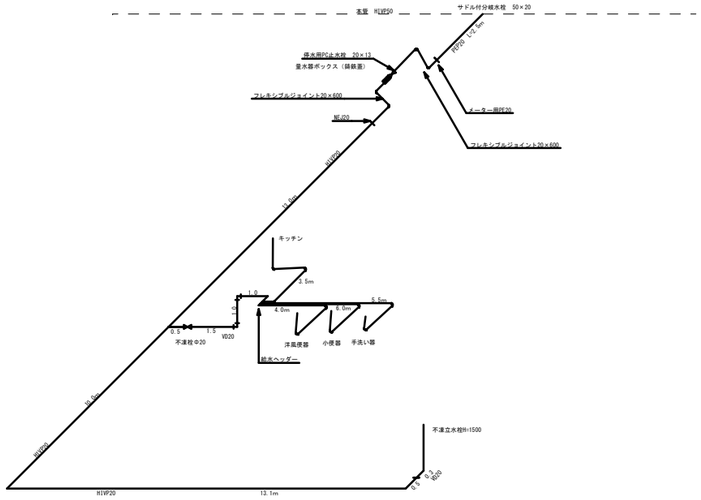
安曇野市可搬ポンプ積載車

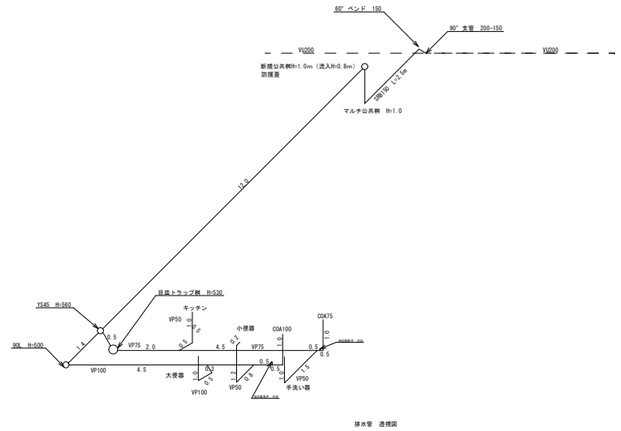
立水栓+排水桝

※雨水排水は浸透桝のみ
（雨水配管無し）

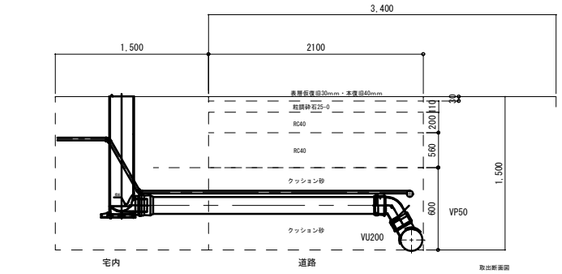
9-3：待機所北西角・南東角AC移設
又は（MSZ-X02522-W）×2有
9-1：待機所AC移設（RAS-712JDR）×1有

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	平面詳細図	20260623	1/50	M-03

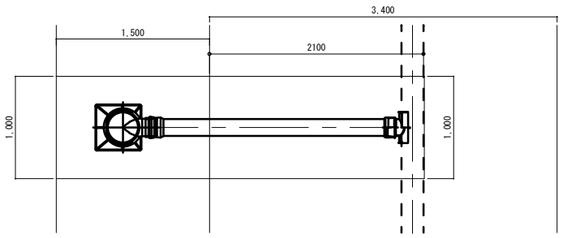




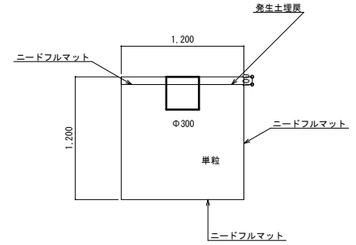
排水管 透視図



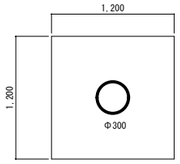
取出断面図



取出平面図



屋外立水栓排水浸透桝 断面図



屋外立水栓排水浸透桝 平面図

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	給水・排水 アイソメ・取出し断面図・浸透桝（図面）	20260430	1/200	M-04

冷暖房機器表

記号	名称	設置場所 室名	数量	品番仕様	電源 相φ	電源 電圧V	電源 容量kw	備考
ACR－1	ルームエアコン	詰所	2	型式 壁掛形	1	100	1.98	室外機コンクリート基礎 ※建築工事
				冷房能力 2.5(0.6～3.3)kw 冷房能力 3.2(0.6～7.1)kw			(暖房最大)	
				付属品他 ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ				架台：溶融亜鉛ﾒｯｷ平地架台 高さ300mm
				参考 三菱 MSZ-XD2522-W				
								既存移設

換気機器表

記号	名称	設置場所 室名	数量	品番仕様	電源 相φ	電源 電圧V	電源 容量W	備考
FE－1	天井換気扇	詰所	2	型式 低騒音形 ｲﾝﾃﾘｱ格子ﾀｲﾌﾟ 24時間換気機能付 定風量ﾀｲﾌﾟ	1	100	急速:100	
				換気量 風量：強 460m3/h × 150Pa				
				ダクト径 150φ				
				その他 天吊金具、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、ｽﾃﾝﾚｽ深型ﾌｰﾄﾞ ｷﾞｬﾗﾘ付				
				参考 三菱 VD-23ZVX$_7$-C				
FE－2	天井換気扇	便所	1	型式 低騒音形 定風量24時間換気機能付	1	100	急速：24	
				換気量 風量：24H 強 300m3/h × 65Pa				
				ダクト径 150φ				
				その他 天吊金具、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ ｷﾞｬﾗﾘ付				
				参考 三菱 VD-18ZVC$_7$				
F－1	レンジフードファン	湯沸室	1	型式 ブース形（深形）、自然給気タイプ、電気式ｼｬｯﾀｰ付	1	100	強：90	
				風量 強：575m3/h 中：335m3/h 弱：225m3/h				
				ダクト径 150φ				
				その他 ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ用側板、ｽﾃﾝﾚｽ製深型ﾌｰﾄﾞ ｷﾞｬﾗﾘ付（×2ヶ）				
				参考 三菱 V-604KQE$_9$				
FP－1	有圧換気扇	倉庫	1	型式 低騒音形、排気タイプ	1	100	390	
				風量 6,370m3/h				
				羽根径 45cm				
				その他 ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ、鉄線製ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ、風圧式鋼板製ｼｬｯﾀｰ 木枠、ｽﾃﾝﾚｽ製ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ 防鳥網付				
				参考 三菱 EWF-45ESA$_2$				
	給排気グリル	倉庫	2	型式 フィルター付風量調節形				
				その他 ｽﾃﾝﾚｽ製深形ﾌｰﾄﾞ ｷﾞｬﾗﾘ付				
				参考 三菱 P-18GLF6				

PR NAME 令和８年度（債務負担行為） 安芸野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事

DW NAME 冷暖房・換気設備 機器表

DATA 20260623 SCALE 1/50 DW NO. M-05

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

部屋名：詰　所	
自然給気ｸﾞﾘﾙ　(ﾈｯﾄﾌｨﾙﾀｰ付)	
品番：P-18GLF6	2

FE 1 24H

FE 2 24H

FP 1

F 1

TV置場

詰所：75.05 M2

玄関

手洗い

WC

K

給気 φ150

排気 φ150

φ150

立水栓+排水桝

※雨水排水は浸透桝のみ
（雨水配管無し）

収納棚

収納

安曇野市消防ポンプ車

安曇野市消防ポンプ車

車庫：91.09M2

安曇野市可搬ポンプ積載車

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	換気設備　平面図	20260623	1/50	M-06

N

詰所： 75.05 M2
車庫： 91.09 M2
計 ：166.14 M2

駐車台数：16台+a

TV置場

詰所：75.05 M2

玄関

手洗い

WC

K

収納棚

車庫：91.09M2

安曇野市消防ポンプ車

立水栓+排水桝

※雨水排水は浸透桝のみ
（雨水配管無し）

ACR 1

φ9.5×φ6.4

20A

25A

D

R

30A

ドレンは外部放流

冷媒管サイズ表	
ガス管(φ)	液管(φ)
9.52	6.35

9-3：待機所北西角・南東角AC移設
又は（MSZ-XD2522-W）×2有
9-1：待機所AC移設（RAS-712JDR）×1有

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	冷暖房設備 平面図	20260623	1/50	M-07

構造計算書

建築基準法施行令第46条第4項 壁量と偏心率の計算

（別途計算書参照）

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造図01：構造計算書　壁量・偏芯率　（別途計算書）	20261010		S-01

構造計算書

構造図02：構造計算書　接合金物　（別途計算書）

（別途計算書参照）

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	構造図02：構造計算書　接合金物　（別途計算書）	DATA	202610110	SCALE		DW NO.	S-02

プレカット仕様確認書

在来仕口

木出し　梁入り　梁おろし　柱　束　隅木　羽柄　手加工　金物仕口

管理番号 WK260387　受付日 令和8年6月10日　CAD担当　サポート　営業

履歴 ① 6/24 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

工務店名称		TEL	
物件名称	令和８年度安曇野市消防団第9分団第1部・第3部統合詰所新築工事	FAX	
		メール	
基本モジュール	910.0 mm	担当者様	岡江社長 様
		携帯	

加工面積					加工坪数合計
	1F	50.85 坪	バルコニー	坪	
	2F	坪	ポーチ	1.25 坪	52.10 坪
	3F	坪	吹抜け	坪	

屋根					落込根太					
	1F	1.50 /10	2F	/10	/10	1F	ピッチ	＠９１０	(21.49)坪	落込根太合計
	〃	/10	〃	/10	/10				( )坪	21.49
屋根坪 (69.46)坪	軒の出	1400 mm	勾配カット						( )坪	坪
		1200 mm	◯ 有り							
	桁の出	600 mm	◉ 無し		樹種とサイズ	1F	桧	KD	105 × 105	
		mm							×	
									×	

垂木							
	サイズ	全て	45×120 mm	ピッチ	227.5 mm	レベル	1F (±0.0)mm
		mm		mm		ホールダウン穴あけ加工	◯ 有 ◉ 無 キリの太さ
	垂木のくち欠き (芯基準)					ホールダウン座彫り加工	◯ 有 ◉ 無 座彫り形状

金物	◉ 有り ◯ 無し ◯ リストのみ	金物設定条件	
座金	◯ 角座金 ◉ SW付丸座 ◯ Ωシュリンク座金 ◯ その他		

横架材加工

部位名	仕様一覧				化粧材種・備考
土台	桧 KD	基本サイズ	幅 105 × 高 105	化粧 ◯ 有 ◉ 無	
大引き	桧 KD	基本サイズ	幅 105 × 高 105	◯ 大入れ ◉ 蟻	
梁・桁	米松 KD	基本幅	外周り・内部 １０５	化粧 ◉ 有 ◯ 無	
	米松集成 集成	基本外周材成	1F 240 ・ 2F	300以上は集成材	
登り梁	米松 KD	バルコニー桁組	◯ フラット ◯ 下がり ( )mm		
	◉ 有 ◯ 無	サイズ	105 × 150 × ×	化粧 ◯ 有 ◉ 無	
母屋	米松 KD	基本サイズ	105 × 105	化粧 ◯ 有 ◉ 無	
棟木	米松 KD	基本サイズ	105 × 105	化粧 ◯ 有 ◉ 無	
火打土台	◯ 木製	◯ 金物	◉ 無		
火打梁	◯ 木製	◉ 金物	Z 火打金物HB ◯ 無	化粧 ◯ 有 ◉ 無	
隅木		サイズ ×	上加工 箇所	化粧 ◯ 有 ◯ 無	
	◯ 有 ◉ 無	軒先加工 ◯ 立水 ◯ 曲切 ◯ 伸し	下加工 箇所		
丸太梁	◯ 有 ◉ 無	末口 寸 丁、 寸 丁		化粧 ◯ 有 ◯ 無	
ケラバ落し	◯ 有 ◉ 無	残量 ( )mm	◯ 直落 ◯ 斜落 ( )箇所	化粧 ◯ 有 ◯ 無	
間柱欠き	材上端 外周	◉ 通欠き ◯ 加工無 ◯ 合板以外通欠き	材下端 外周	◉ 通欠き ◯ 角穴(30角) ◯ 加工無	
	内周	◉ 通欠き ◯ 加工無 ◯ 合板以外通欠き	内周	◉ 通欠き ◯ 角穴(30角) ◯ 加工無	
	間柱設定条件	＠９１０で幅４５mm			

羽柄材加工　◉ 加工有り ◯ 加工無し

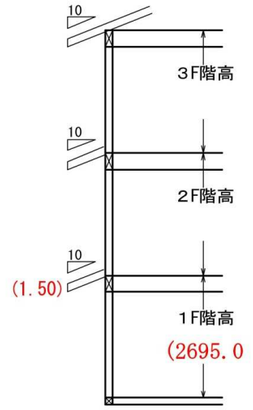
間柱	○	45 × 105	杉 KD	筋かい	○	45 × 90	米松 KD	
加工範囲	○	30 × 105	杉 KD	(合板上切断)		×		
(壁部分のみ)		×		窓台まぐさ		×		
垂木	○	45 × 120	米松 KD	間柱受け		×		
先端加工		×	(上下２段)	根太		×		
( )		×				×		
		×				×		

合板加工　◉ 加工有り ◯ 加工無し

床合板	○	針葉樹	910×1820 T=24mm 平	割付箇所	☑ 1F ☐ 2F ☐ 3F ☐ 小屋裏 ☐ バルコニー		
				割付方法	◯ 揃い ◉ 千鳥	パッキン材	◯ 有 ◉ 無
野地合板	材出	針葉樹	910×1820 T=12mm 平	間柱角抜き	◉ 有 ◯ 無	金物角抜き	◯ 有 ◉ 無

階高

3F梁桁上端～梁桁上端	mm
2F梁桁上端～梁桁上端	mm
1F土台上端～梁桁上端	2695.0 mm



柱材加工

部位名	区分	樹種・等級	仕上げ寸法
管柱	大壁柱	杉 特一等	105 × 105
	車庫	ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ 集成	105 × 105
	車庫	ﾚｯﾄﾞｳｯﾄﾞ 集成	105 × 150
隅柱	大壁柱		×
通し柱	大壁柱		×
小屋束	通常	杉 特一等	105 × 105
	妻面	杉 特一等	105 × 105

柱紙巻き	◯ 有り ◉ 無し	通し柱芯寄せ	◉ 無し ◯ 内合 ◯ 外合
柱仕上げ	◉ 無し	隅シャクリ	◯ 有り ◉ 無し
	◯ 超仕上げ有り	階段柱上り	桁上端より ( )mm
	◯ サンダー仕上げ有り	ポーチ柱下り	土台上端より ( )mm
手摺柱	桁上端より ( )mm		〃 ( )mm

※柱の木取りにつきましては万全を期しておりますが、時期により割れが生じることがありますのでご了承ください。

柱シャクリ加工　◯ 有り ◉ 無し

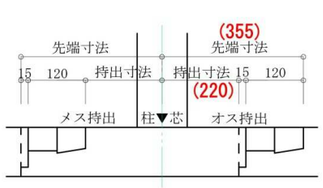


	和室	押入れ	額縁
チリ (mm)			
シャクリ (mm)			
芯返り (mm)			

根太彫り

部屋名			
サイズ (mm)			
彫り込み (mm)			
ピッチ (mm)			
個所数			

床断熱材		断熱材仕様	
割付図作成	◯ 有り ◉ 無し		
土台ジョイント寸法		特殊材	有り
◯ メス持出し ◉ オス持出し		梱包サイズ指示	◉ 無 ◯ 有



土台継手先端寸法 (355)mm

◉ 在来 ◯ HSS ◯ テックワン

※車庫側の階高⇒2695+200+1160.25＝4055.25㎜
(階高が高すぎるので筋かいは基本ＮＧです)
(座屈や細長比ＮＧの為、柱をレッド集成材としています)
(大スパン部分と絡む材は米松集成材としています)

※別紙「特殊材先行発注確認書」を御確認ください

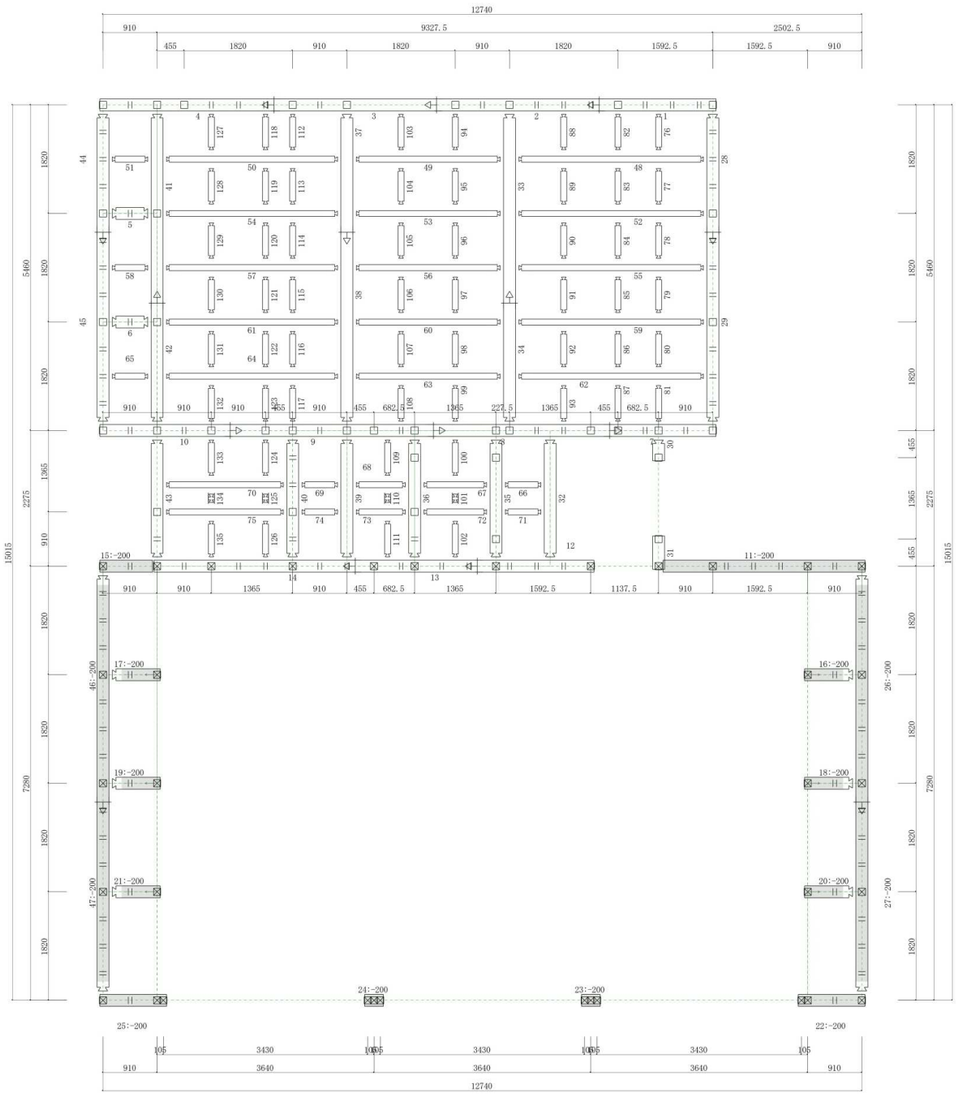
計算等

構造計算	◯ 有り	◉ 無し
基礎計算	◯ 有り	◉ 無し
壁量計算	◯ 有り	◉ 無し
Ｎ値計算	◯ 有り	◉ 無し

出荷等

出荷	◯ 配送	◯ 引取り	案内図	◯ 有り	◯ 無し ◯ 確認中
出荷予定日	( ) 積込み	⇒	( ) 現場着		
上棟日	( )				
現場					

☐	PR NAME	令和８年度（債務負担行為） 安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	☐	DW NAME	構造（プレカット）図01	☐ DATA 20261010	☐ SCALE 1/50 1/100 ☐ DW NO. S-03



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

継手・仕口

- 鎌継
- 蟻継
- 乗継
- 追掛
- 蟻掛
- 蟻大入掛け
- 逆さ蟻大入
- 桁差し
- 兜蟻大入
- 茶臼蟻大入
- 胴差し
- 横差し
- 金物掛
- 金物継

柱 (◇ マークはｽﾘｯﾊﾟｲﾌﾟ)

- 通し柱
- 大通し柱
- 管柱
- 半柱
- 特殊柱
- 小屋束
- 吊束
- 束立
- 床束
- 下部軸組柱
- 通し柱
- 大通し柱
- 管柱
- 特殊柱 (ｸﾞﾘｯﾄﾞ柱)
- 下部軸組柱
- 小屋束

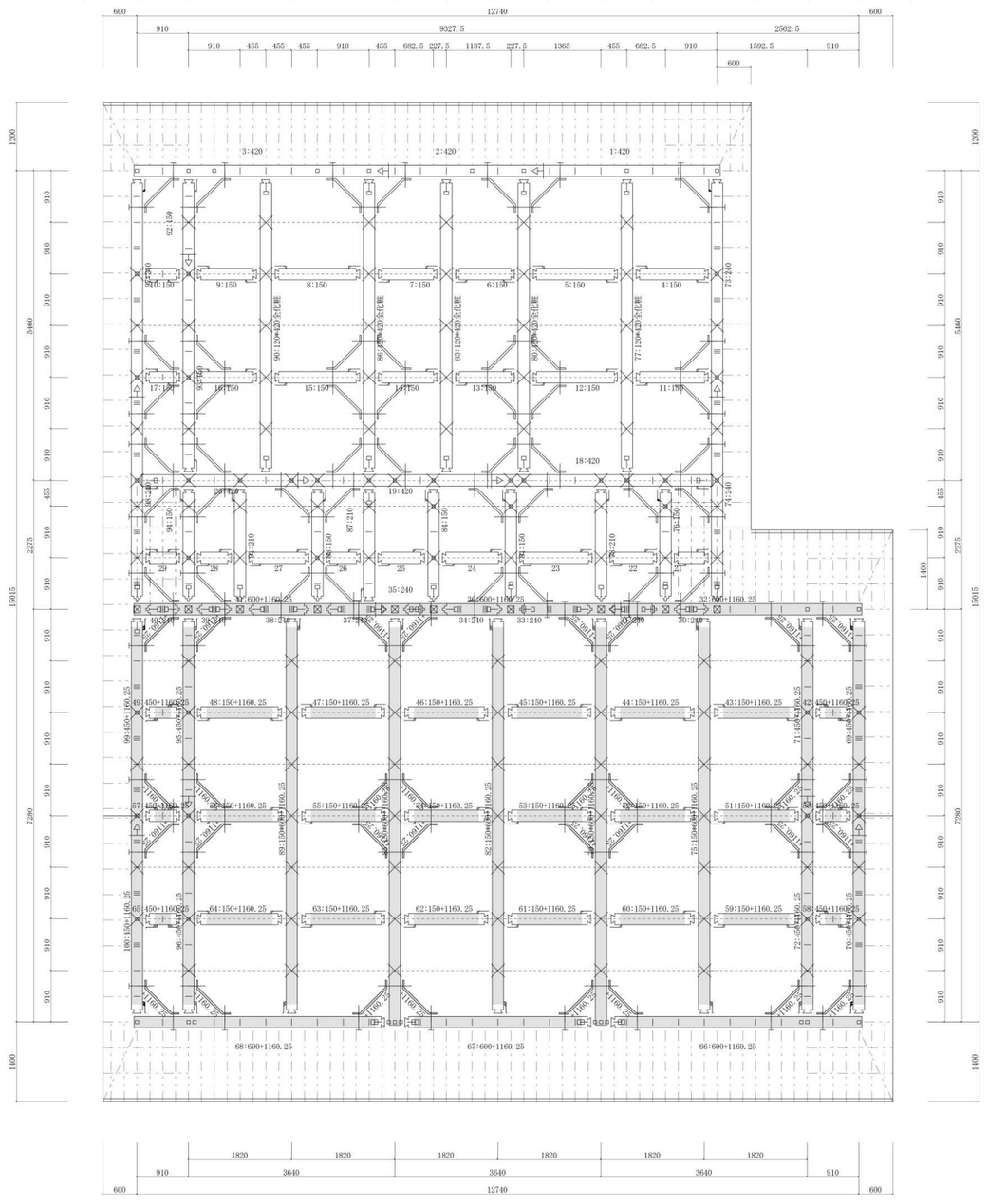
筋かい

柱脚側 柱頭側

工事名称	令和 8 年度安曇野市消防団第9分団統合詰所			基本ピッチ	910.0	図面名称	1 階床構造平面図　1/90			最終処理日時	2026-06-24 13:53
横架材省略寸法	105*105	屋根勾配		垂木寸法		階高	1 階:2695	隅木寸法		作成者	

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造（プレカット）図02	20261010	1/50 1/100	S-04

た よ か わ を る ぬ り ち と へ ほ に は ろ い ー



継手・仕口

- 鎌継
- 蟻継
- 乗継
- 追掛
- 蟻掛
- 蟻大入掛け
- 逆さ蟻大入
- 桁差し
- 兜蟻大入
- 茶臼蟻大入
- 胴差し
- 横差し
- 金物掛
- 金物継

柱
（◇ マークはホゾパイプ）

- 通し柱
- 大通し柱
- 管柱
- 半柱
- 特殊柱
- 小屋束
- 吊束
- 束立
- 床束
- 下部軸組柱
- 通し柱
- 大通し柱
- 管柱
- 特殊柱（ｸﾞﾘｯﾄﾞ柱）
- 下部軸組柱
- 小屋束

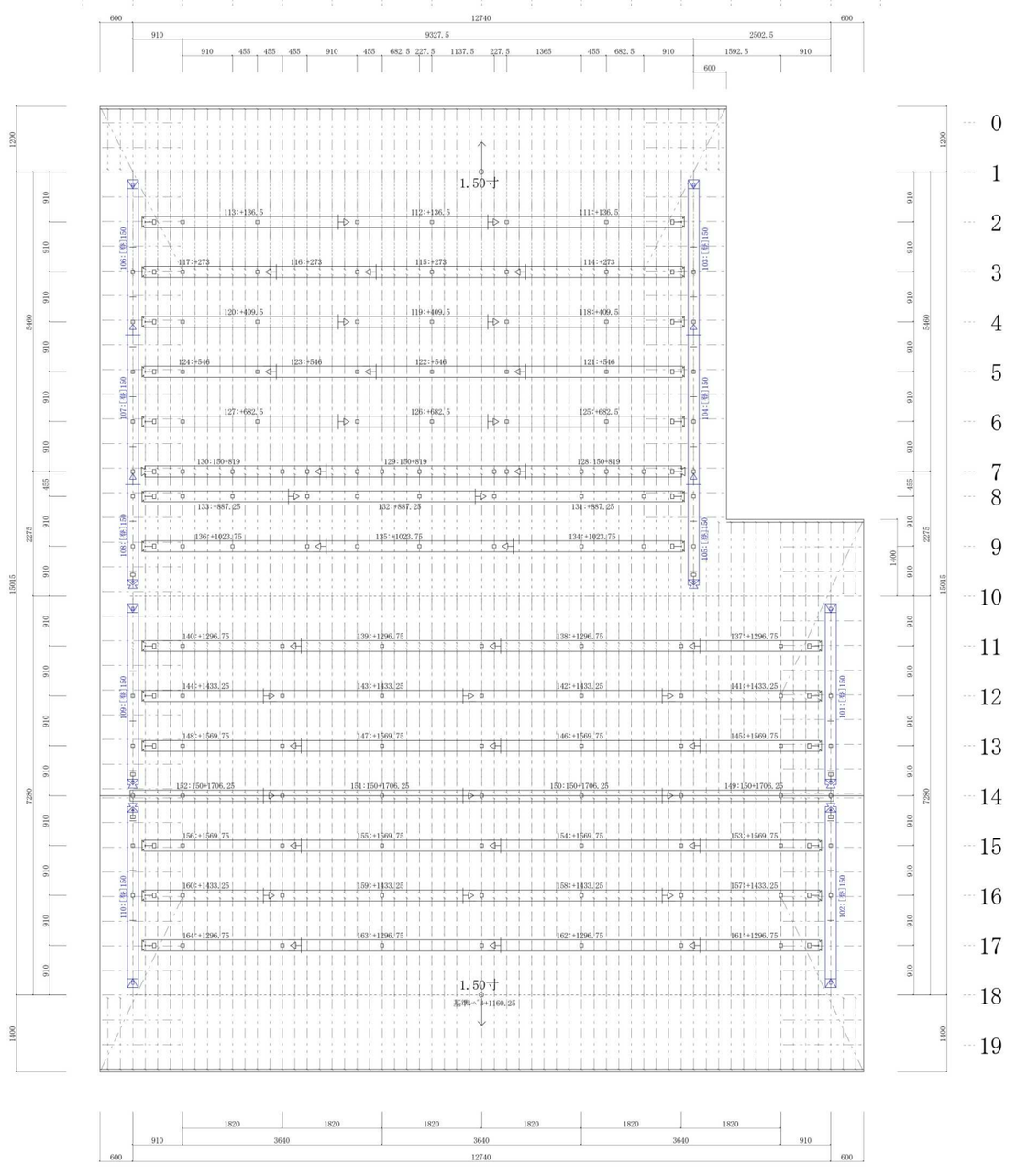
筋かい

柱脚側 ／ 柱頭側

工事名称	令和８年度安曇野市消防団第9分団統合詰所			基本ピッチ	910.0	図面名称	１階小屋構造平面図　1/90			最終処理日時	2026-06-24 13:53
横架材省略寸法	105*105	屋根勾配	1.5	垂木寸法	45*120	階高	１階:2695	隅木寸法		作成者	

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造（プレカット）図03	20261010	1/50 1/100	S-05

た よ か わ を る ぬ り ち と へ ほ に は ろ い ー



継手・仕口
鎌継
蟻継
乗継
追掛
蟻掛
蟻大入掛け
逆さ蟻大入
桁差し
兜蟻大入
茶臼蟻大入
胴差し
横差し
金物掛
金物継

柱 (◇ マークはオプション)
通し柱
大通し柱
管柱
半柱
特殊柱
小屋束
吊束
束立
床束
下部軸組柱
通し柱
大通し柱
管柱
特殊柱 (ｸﾞﾘｯﾄﾞ柱)
下部軸組柱
小屋束

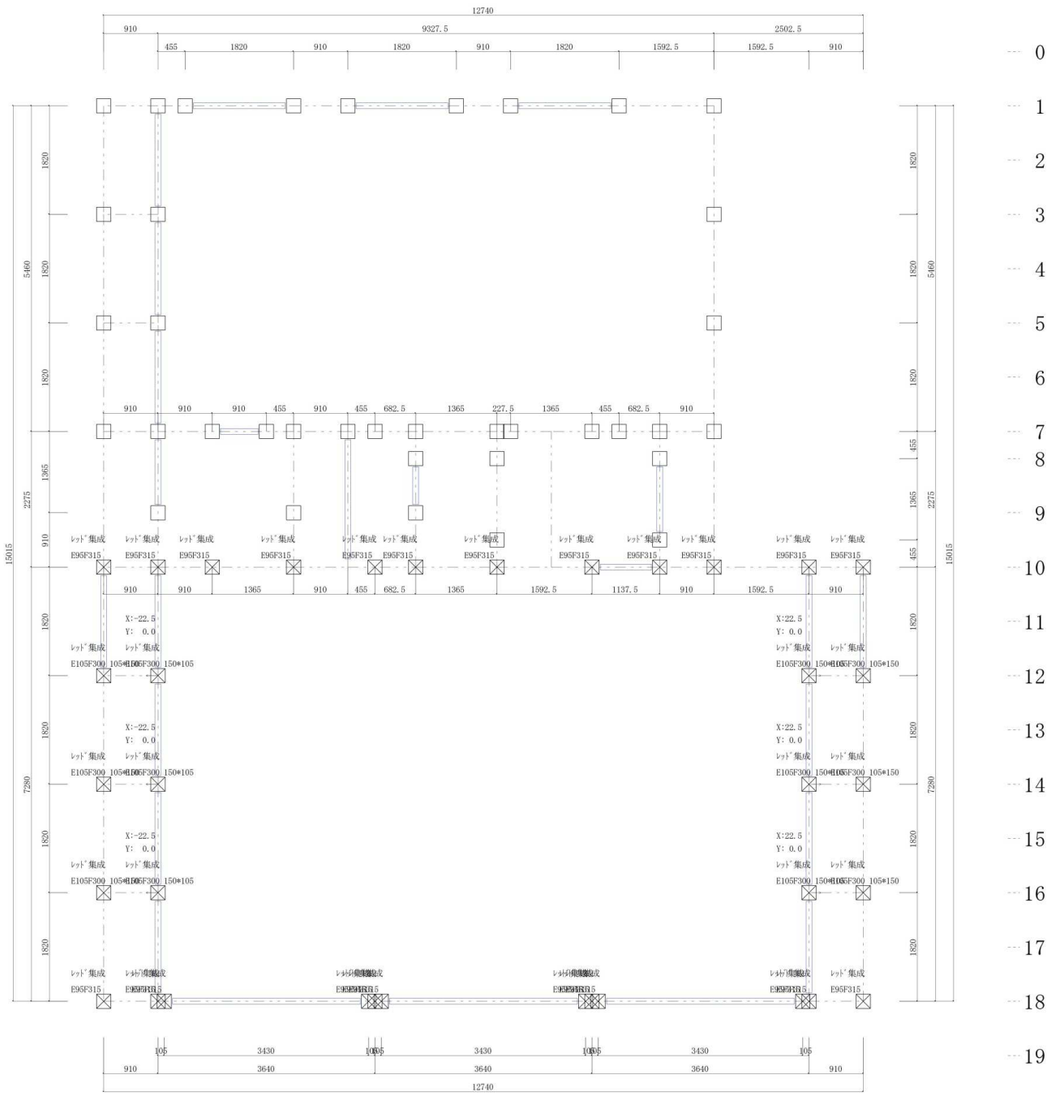
筋かい

柱脚側 / 柱頭側

工事名称	令和８年度安曇野市消防団第9分団統合詰所			基本ピッチ	910.0	図面名称	1階母屋構造平面図　1/90	最終処理日時	2026-06-24 13:53
横架材省略寸法	105*105	屋根勾配	1.5	垂木寸法	45*120	階高	1階:2695	隅木寸法	作成者

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造（プレカット）図04	20261010	1/50 1/100	S-06

たよかわをるぬりちとへほにはろいー

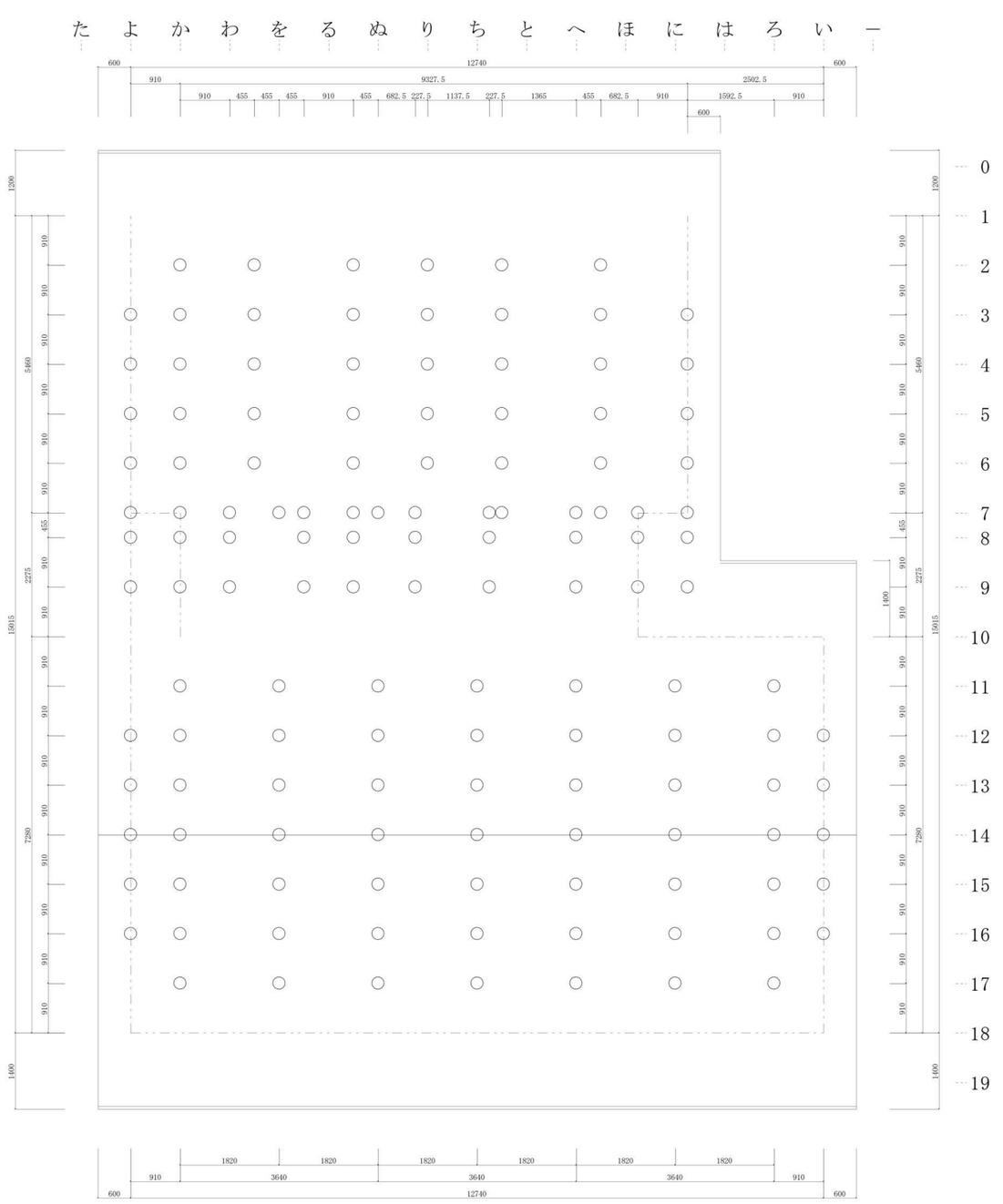


柱

- 通し柱
- 大通し柱
- 管柱
- 半柱
- 特殊柱
- 親柱
- 階段柱
- ポーチ柱
- 小屋束
- 吊束
- 束立

工事名称	令和８年度安曇野市消防団第9分団統合詰所		基本ピッチ	910.0	図面名称	１階床柱割付図　1/90				最終処理日時	2026-06-24 13:53
階高	１階:2695	通し柱標準寸法	105*105	管柱標準寸法	105*105	特殊柱標準寸法	105*105	小屋束標準寸法	105*105	作成者	

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造（プレカット）図05	20261010	1/50 1/100	S-07



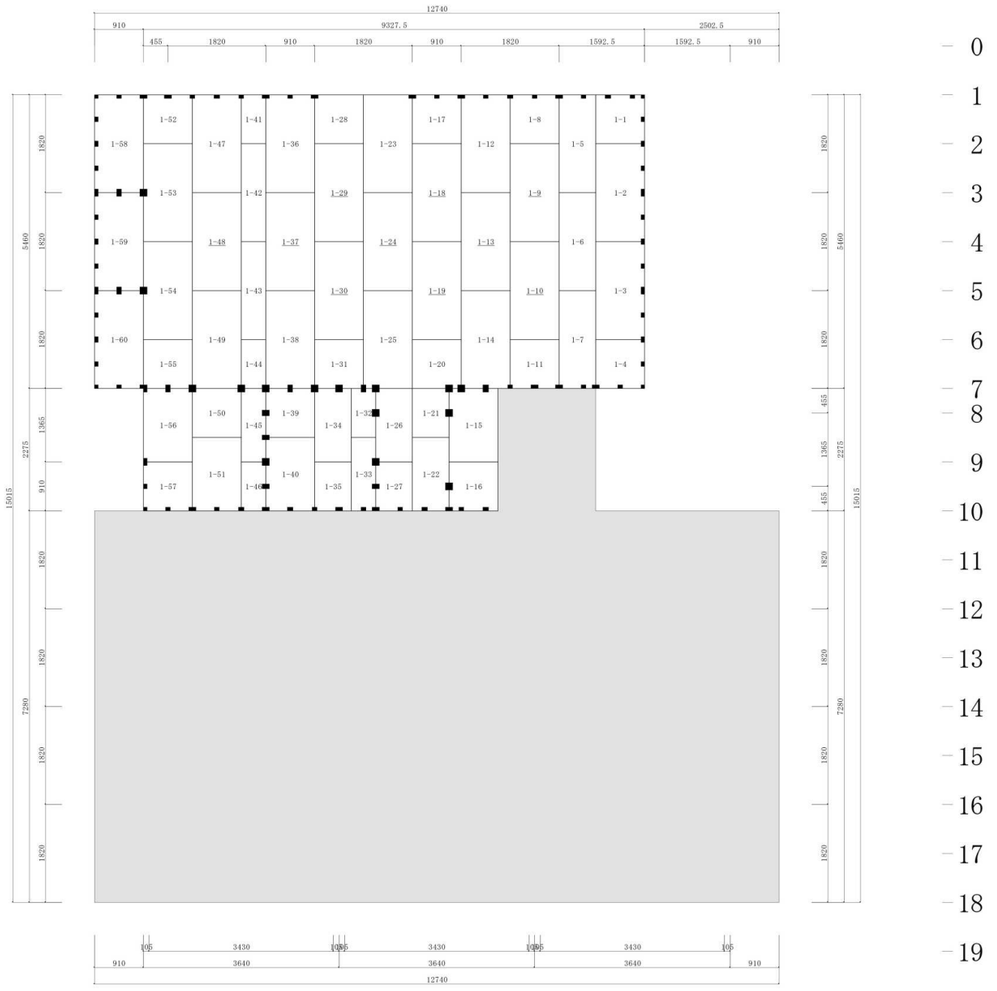
柱

	通し柱
	大通し柱
	管柱
	半柱
	特殊柱
	親柱
	階段柱
	ポーチ柱
	小屋束
	吊束
	束立

工事名称	令和８年度安曇野市消防団第9分団統合詰所	基本ピッチ	910.0	図面名称	最上層柱割付図　1/90					最終処理日時	2026-06-24 13:53
階高	１階:2695	通し柱標準寸法	105*105	管柱標準寸法	105*105	特殊柱標準寸法	105*105	小屋束標準寸法	105*105	作成者	

PR NAME	令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	DW NAME	構造（プレカット）図06	DATA	20261010	SCALE	1/50 1/100
DW NO.	S-08						

たよかわをるぬりちとへほにはろいー



1階床 床パネル割付図　　1/100

工事名称	令和8年度安曇野市消防団第9分団統合詰所	作成者			
階層名称	1層	基本ピッチ	910.0		
図面名称	床パネル割付図	パネル素材（厚x幅x長）	24.0 x 910.0 x 1820.0		
最終処理日時	2026-06-24 13:53				

PR NAME	DW NAME	DATA	SCALE	DW NO.
令和８年度（債務負担行為）　安曇野市消防団 第９分団第１部・第３部統合詰所新築工事	構造（プレカット）図07	20261010	1/50 1/100	S-09